NTT docomo

F-04G

ARROWS NX

取扱説明書　’15.5

はじめに

「F-04G」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

「クイックスタートガイド」(冊子)

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

「取扱説明書」アプリ(eトリセツ)(本端末に搭載)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
〈操作手順〉ホーム画面で▦→[取扱説明書]
初回起動時は、eトリセツアプリケーション使用許諾契約書をご確認の上、同意いただく必要があります。画面の指示に従って「取扱説明書」アプリをダウンロードしてください。

「取扱説明書」アプリを削除した場合には、Playストアで Google Play™のサイトにアクセスして再度インストールすることができます。
〈操作手順〉ホーム画面で[Playストア]→「取扱説明書 F-04G」を検索して「取扱説明書」アプリを選択→[インストール]

「取扱説明書」(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
〈パソコンから〉https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※最新情報がダウンロードできます。

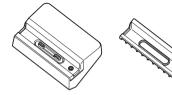
本書の見かた

- 本書においては、「F-04G」を「本端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は端末色が「Iris Green」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」、きせかえが「Iris Green」の場合で説明しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作、または虹彩認証を行う操作を表しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

■ F-04G本体（保証書付き）

■ クイックスタートガイド

■ 卓上ホルダ F50（保証書付き）

- 本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/product/option/

目　次

本体設定 118

ファイル管理 159

データ通信 162

外部機器接続 169

海外利用 176

付録／索引 182

本端末のご利用について

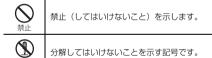
- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用になれます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモード、音量の設定に関わらず、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音とキャプメモ／なぞってコピーのキャプチャ音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音が鳴ります。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は、ホーム画面で → ［設定］ → ［プロフィール］ → ［マイプロフィール］をタップしてご確認いただけます。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P191
- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードや本体メモリの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Google™が提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一本端末を紛失した場合は、Gmail™、Google PlayなどのGoogleサービスや、SNSなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- 紛失に備えセキュリティ解除方法を設定し、端末のセキュリティを確保してください。→P137
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットI以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケットパック／パケット定額サービスの加入をおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

◆本端末、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードの取り扱い（共通）

危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

防水性能について→P21「防水／防塵性能」

水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子、ステレオイヤホン端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

防水性能について→P21「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、ステレオイヤホン端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く**
- **本端末の電源を切る**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けが、感電の原因となります。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらアプリや通話、動画、テレビの視聴などを長時間行うと本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆本端末の取り扱い

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

火の中に投下したり、熱を加えたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモnanoUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部には強化ガラス、カメラのレンズにはプラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸などで洗い流してください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P13「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

◆ ドコモnanoUIMカードの取り扱い

⚠注意

指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

◆材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AFコーティング
外装ケース	フロントケース	PC-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	リアケース	PC+ABS-GF樹脂／PET
	TOPパーツ	アルミ／アルマイト処理
TV／FMトランスミッタアンテナ	先端部	アルミ／アルマイト処理
	パイプ部	ステンレス鋼／なし
	根元屈曲部	ステンレス鋼／なし
	根元回転部（上側、下側）	ステンレス鋼／なし
レシーバメッシュ		ポリエステル
アウトカメラパネル		アクリル樹脂／なし
ライトレンズ部		PC樹脂／なし
電源キー		アルミ／アルマイト処理
音量キー		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子／スロットキャップ		PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ステレオイヤホン端子		PA樹脂／なし
イヤホンジャックリング		PA樹脂／なし
IMEIシート	シート	PET／なし
	バーコード	PET／なし
ドコモnanoUIMカードのトレイ		POM樹脂／なし
充電端子	磁性体ブロック	ステンレス鋼／アクリル系UV硬化塗装処理
	端子	りん青銅／金メッキ処理
	樹脂部	PPS樹脂／なし
外部接続端子		ステンレス鋼／錫メッキ

■ 卓上ホルダ F50

使用箇所	材質／表面処理
本体ケース	ABS樹脂／シボ加工
アタッチメントF50A／F50B	ABS樹脂／シボ加工
ハウジング	PBT樹脂／なし
スプリングコネクタ（ピン）	黄銅／金メッキ
マグネット	ネオジム／ブラスト
SWレバー	POM樹脂／なし
ネジ	鉄／三価クロメート
ラベル	PS樹脂／なし
ゴム足	ウレタン／なし
外部接続端子	ステンレス鋼／錫メッキ

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **F-04Gは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を入れたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  - アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末などに無理な力がかからないように使用してください。
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

◆本端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子／スロットキャップを閉じた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 内蔵電池は消耗品です。
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

  内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40%程度の状態をおすすめします。

◆アダプタ、卓上ホルダについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタや卓上ホルダ（マグネットを含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。
- 卓上ホルダのアタッチメントの取り付け／取り外しには、無理な力を入れないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 卓上ホルダのマグネットは磁石を使用しています。砂鉄や金属製の異物（クリップなど）が付着していないことをお確かめの上、本端末を取り付けてください。異物がある場合、柔らかい布などで取り除いてからご使用ください。
- 磁気カードなどを卓上ホルダに近づけないでください。
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 医用電気機器や電子機器などの磁力の影響を受ける場所の近くでは使用しないでください。
- 落としたり、重いものをのせたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- 付属のアタッチメントを無理に取り外そうとすると、指や爪などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。
- 卓上ホルダは、必ず付属のアタッチメントを取り付けて充電してください。アタッチメントを取り付けないで卓上ホルダに本端末を取り付けても充電できません。

◆ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

  本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
② FH/XX：変調方式がFH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

ご利用の国によってはBluetooth機能の利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。**

- **無線LANについて**

  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

- **周波数帯について**

  本端末の無線LAN機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ▭▭▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ドコモnanoUIMカードが挿入されていない場合や挿入されていても圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャネルおよび5GHz帯の120～128チャネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHzでご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
本端末が日本で使用できる周波数とチャネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯：5180～5240MHz（36、38、40、42、44、46、48Ch）
- 5.3GHz帯：5260～5320MHz（52、54、56、58、60、62、64Ch）
- 5.6GHz帯：5500～5700MHz（100、102、104、106、108、110、112、116、118、120、122、124、126、128、132、134、136、140Ch）

◆FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター，P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター，P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**
- **航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。**
  その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆FMトランスミッタについて

- 本端末のFMトランスミッタ機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は78.4～89.6MHz帯です。ご利用の際は、周囲のFMラジオ使用者への影響を避けるため、ご利用の地域のFM放送局と重ならない周波数に設定してください。
- ドコモnanoUIMカードが挿入されていない場合や、電源を入れてから一度も圏内に入っていない状態では、FMトランスミッタ機能を利用できません。

◆注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク〒」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
  ホーム画面で▦→［設定］→［端末管理］→［端末情報］→［認証］
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で利用してください。**
  本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご利用になると罰せられることがあります。
- **FMトランスミッタは日本国内で利用してください。**
  本端末のFMトランスミッタは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご利用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

F-04Gは、外部接続端子／スロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 F-04GにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-04Gを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します（水中においてカメラ機能は使用できません）。

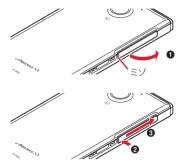
※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

❖F-04Gが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話やテレビの視聴ができます。**
  - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、外部接続端子／スロットキャップの開閉はしないでください。
- **常温の水道水で手洗いすることができます。**
  - 外部接続端子／スロットキャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
  - 規定（→P21）以上の強い水流を直接当てないでください。
  - ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
  - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
  - 洗った後は所定の方法（→P23）で水抜きしてください。
- **風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P23）で水抜きしてください。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
  - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
  - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
  - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時、また外部接続端子を使用するときには、ミゾに指先をかけて外部接続端子／スロットキャップを矢印（❶）の方向に開け、使用後は外部接続端子／スロットキャップを矢印（❷）の方向に押し込み、矢印（❸）に沿って指でなぞりながらしっかり押して閉じます。外部接続端子／スロットキャップの浮きがないことを確認してください。

- 外部接続端子／スロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイク、外部接続端子／スロットキャップなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子／スロットキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。卓上ホルダ（付属品）に本端末を差し込んだ状態でテレビの視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P21）以上の強い水流を直接当てないでください。F-04GはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。充電端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイクに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 外部接続端子／スロットキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子／スロットキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

③ ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイク、キー、充電端子、TV／FMトランスミッタアンテナなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。

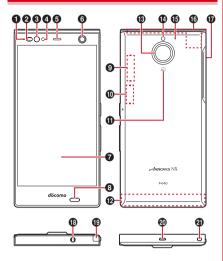
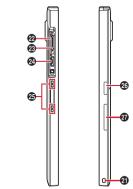
④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子／スロットキャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子／スロットキャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子／スロットキャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタや卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

次のイラストは外部接続端子／スロットキャップを省略しています。

❶ **お知らせLED（イルミネーション）**

❷ **近接センサー／RGBセンサー※1**

近接センサーは通話中に顔の接近を検知し、タッチパネルの誤動作を防いだり、虹彩認証操作時に端末と目の距離を計測したりします。RGBセンサーは周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイの色味やバックライトの明るさを自動調節します。

❸ **虹彩認証用LED**

虹彩登録時や虹彩認証操作時に使用します。

❹ **インカメラ**

❺ **受話口／スピーカー**

❻ **虹彩認証用カメラ**

虹彩登録時や虹彩認証操作時に使用します。

❼ **ディスプレイ（タッチパネル）**
❽ **赤外線ポート**
❾ **Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部**※2
❿ **Wi-Fiアンテナ／TransferJetアンテナ**※2
⓫ **マーク**
⓬ **Xi／FOMAアンテナ部**※2
⓭ **アウトカメラ**
⓮ **フラッシュ／ライト**
⓯ **背面マイク**
通話時に騒音を抑えるために使用します。ふさがないようご注意ください。
⓰ **Xi／GPSアンテナ部**※2
⓱ **外部接続端子／スロットキャップ**※3
⓲ **ステレオイヤホン端子（防水）**
⓳ **TV／FMトランスミッタアンテナ**※4
テレビ視聴／モバキャス視聴／FMトランスミッタ出力時に伸ばします。
⓴ **送話口／マイク**
㉑ **ストラップホール**
㉒ **microSDカードスロット**
㉓ **ドコモnanoUIMカードスロット**
㉔ **外部接続端子（MHL兼用）**
充電時やパソコンなどの接続時に使用します。
㉕ **充電端子**
㉖ **電源キー** ⏻
電源操作のほか、スリープモードの設定／解除を行います。携帯電話オプションメニューが表示されるまで⏻を押し続けて再起動の操作、機内モードやマナーモードの設定／解除、チャイルドロックの設定、非常用節電モードの設定／解除を行います。チャイルドロック設定中は、⏻を1秒以上押してチャイルドロックを解除します。
㉗ **音量キー**
音量調節のほか、音量キーの下を1秒以上押してマナーモードの設定／解除を行います。

※1 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。
※2 本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
※3 水や粉塵の侵入を防ぐために、しっかりと閉じてください。
※4 TV／FMトランスミッタアンテナを伸ばした状態でも防水／防塵性能を有しています。

ドコモnanoUIMカード

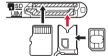
ドコモnanoUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

- 本端末ではドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- ドコモnanoUIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話の発着信やSMSの送受信などの機能を利用することができません。
- ドコモnanoUIMカードについて詳しくは、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外し

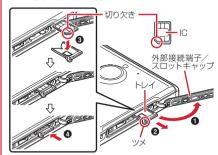
- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- ドコモnanoUIMカードの取り付けには、必ずトレイを使用してください。ドコモnanoUIMカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

■ 取り付けかた

① **本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけて外部接続端子／スロットキャップを開ける（❶）**
- 外部接続端子／スロットキャップを開けると、本端末の裏面側にmicroSDカードスロット、ディスプレイ側にドコモnanoUIMカードスロットがあります。取り付ける際は、差し込む位置と方向を確認してください。

microSDカード　ドコモnanoUIMカード

② **トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す（❷）**
- トレイはドコモnanoUIMカードスロットから外れる構造になっています。

③ **ドコモnanoUIMカードのIC面を上にしてトレイに乗せる（❸）**
- 切り欠きの方向にご注意ください。

④ **本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、トレイをドコモnanoUIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む（❹）**

⑤ **本端末の外部接続端子／スロットキャップをしっかり押して閉じる→P22**

■ 取り外しかた

① **本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけて外部接続端子／スロットキャップを開ける**

② **トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出してドコモnanoUIMカードを取り外す**

③ **本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、トレイをドコモnanoUIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む**

④ **本端末の外部接続端子／スロットキャップをしっかり押して閉じる→P22**

✔お知らせ

- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモnanoUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモnanoUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイをドコモnanoUIMカードスロットに抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。トレイが破損する恐れがあります。
- ドコモnanoUIMカードスロットの下部には、IMEI番号とバーコードが印字されているIMEIシートが差し込まれています。IMEIシートは、本端末が故障したときなどにドコモ指定の故障取扱窓口で必要となるため、引き出さないようにしてください。また、次の点にご注意ください。
  - IMEIシートを引き出してしまった場合は、そのまま差し込んでください。
  - 破損の原因になるため、IMEIシートを無理に引き出さないでください。
  - IMEIシートを紛失した場合は、故障修理をお受けできない場合があります。

◆ ドコモnanoUIMカードの暗証番号

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P145

充電

❖充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 内蔵電池または端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになり、お知らせLEDが点滅または消灯します。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電器から本端末を取り外して、充電し直してください。
- 内蔵電池の電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせLEDが点滅します。アプリを使用中の場合は、直ちに終了してください。充電器から本端末を取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、充電器から本端末を取り外して、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→P194

❖内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら通話などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 「端末情報」から内蔵電池の性能（充電能力）を確認することができます。→P158
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

Li-ion 00

❖ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 05／F06（別売品）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

DCアダプタ 04（別売品）：自動車の中で充電する場合に使用します。

◆ 卓上ホルダを使って充電

卓上ホルダ F50（付属品）とACアダプタ 05（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

- 必ず卓上ホルダ付属のアタッチメント（アタッチメントF50AまたはアタッチメントF50B）を取り付けて充電してください。

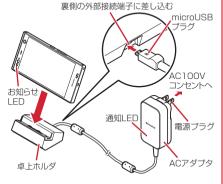
① ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、卓上ホルダ裏側の外部接続端子に水平に差し込む

② 本端末を卓上ホルダに接続し「カチッ」と音がするまで左右に動かす

- 卓上ホルダの表側に本端末のディスプレイ側が向くように接続してください。
- 接続方向をよくご確認ください。無理に接続すると破損の原因となります。

③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電中は本端末のお知らせLEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。

④ **充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、本端末を卓上ホルダから取り外す**
⑤ **卓上ホルダからACアダプタのmicroUSBプラグを抜く**

✔お知らせ

- 本端末と卓上ホルダの間にストラップの紐などを挟み込まないようにしてください。
- 液晶画面保護フィルムをご使用の際は、厚さ約0.43mm以下（粘着層厚み含む）のものをご使用ください。フィルムが干渉して正しく接続できない場合があります。
- ホーム画面（スリープモード、ロック画面含む）表示中に卓上ホルダでの充電を開始すると、横画面専用メニューが表示されます（シアターモード）。
  - 本端末を卓上ホルダから取り外すとシアターモードは終了しますが、シアターモードから起動したアプリは引き続き表示されます。
  - 本端末を卓上ホルダに接続した状態で電源を入れた場合は、シアターモードは起動しません。
  - シアターモード表示中は1分後にスリープモードになります。スリープの設定時間が「2分」「5分」「10分」の場合は、スリープの設定に従ってスリープモードになります。
  - シアターモードの表示／非表示や、配置するアプリを設定できます。→P124
- 卓上ホルダ裏側の外部接続端子は充電専用です。指定のACアダプタ以外は接続しないでください。

❖アタッチメントの取り付け／取り外し

卓上ホルダ付属のアタッチメントは2種類あります。

- アタッチメントF50Aは、お買い上げ時に取り付けられています。
- アタッチメントF50Bは、卓上ホルダ F50に対応している端末カバー（市販品）を取り付けた状態でご利用ください。

■ 取り付けかた

① **アタッチメントの前後の形状と卓上ホルダの取り付け部分の形状をよく確認して、アタッチメントを卓上ホルダに合わせる**
② **アタッチメントをまっすぐしっかりと押し込む**
- 卓上ホルダとアタッチメントにすき間がないことを確認してください。

■ 取り外しかた

① アタッチメントの片側のくぼみに指先をかけ、卓上ホルダを押さえながら斜めに持ち上げて取り外す

◆ ACアダプタを使って充電

ACアダプタ 05（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

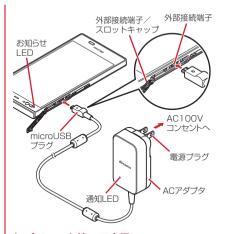
① **本端末のディスプレイ側を上に向け、ミゾに指先をかけて外部接続端子／スロットキャップを開ける**

② **ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、外部接続端子に水平に差し込む**

③ **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む**

- 充電中は本端末のお知らせLEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。

④ **充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

⑤ **本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に抜き、本端末の外部接続端子／スロットキャップをしっかり押して閉じる→P22**

◆ パソコンを使って充電

PC接続用USBケーブル T01（別売品）やmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、［キャンセル］を選択してください。

電源を入れる／切る

◆ 電源を入れる

1 お知らせLEDが緑色に点灯するまで⏻を押し続ける(2秒以上)

本端末が振動した後、起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。→P41

2 ロック画面で🔒

ロックが解除されます。

- セキュリティ解除方法の設定（→P137）によっては、ロック画面での認証操作になります。

◆ 電源を切る

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで⏻を押し続ける

2 [電源を切る]→[OK]

本端末が振動して電源が切れます。

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

本端末は、タッチパネルに直接指を触れて操作します。

- タッチ操作が認識されているときに、振動でお知らせするかを設定できます（はっきりタッチ→P118)。

❖ タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

❖タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてからすぐに離します。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。

例：タップ

❖ロングタッチ

画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

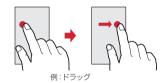
❖ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。
スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

- アプリによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

パン：Webページなどで一画面では表示しきれないときに、画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。

例：ドラッグ

❖ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。

❖フリック

画面に触れた指をすばやく払います。

◆ 縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P121）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。
- 見ている向きに合わせて縦／横画面の向きを固定できます（あわせるローテーション→P122）。

◆ スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 **と音量キーの下を同時に押す（1秒以上）**

スクリーンショットが保存され、ステータスバーにが表示されます。

- ステータスバーを下方向にフリックして通知パネルを開き（→P45）、スクリーンショットの通知をタップ→アプリを選択、またはホーム画面で→［ギャラリー］→［Screenshots］をタップすると、画像を確認できます。

◆ 非常用節電モード

災害などの非常時に、画面の明るさを抑えたり各種機能をオフにしたりして、電池の消費を抑えることができます。

1 **携帯電話オプションメニューが表示されるまでを押し続ける**

2 **［非常用節電モード］→［OK］**

本端末が再起動し、非常用節電モードが設定されます。

- 再起動後、セキュリティ解除方法の設定（→P137）によって、画面ロックを解除します。
- 設定を解除するには再度同じ操作を行うか、非常用節電モードのホーム画面で［節電解除］→［OK］をタップします。

✔お知らせ

- ホーム画面で→［災害用キット］→→［OK］をタップしても、非常用節電モードを設定できます。アプリ起動時に「ご利用にあたって」の画面が表示された場合は、内容を確認して［同意して利用する］をタップします。
- 非常用節電モード中は、電源をオフにしても設定は解除されません。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にSuper ATOK ULTIASでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P38
- 外付けキーボードを接続して入力ができます。→P40

◆ キーボードの使いかた

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書き入力で文字を入力できます。

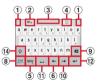
- 各キーボードから、音声入力を起動できます。→P36
- ［手書き入力］で上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボードやQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。→P38

■ テンキーキーボード

1つのキーに複数の文字が割り当てられています。

- フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力、2タッチ入力から入力方式を選択できます。→P37

■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。

■ 手書き入力

手書きで文字を入力します。

- 設定や状況により、表示が変わるキーがあります。

① 左右にドラッグしてキーボードの横幅を調整
② 上書き手書き入力の有効／無効
③ 上下にドラッグしてキーボードの高さを調整
④ 記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示
⑤ MENU：メニューの表示
- メニューを表示すると、次の操作ができます。
  テンキー：テンキーキーボードへ切り替え
  QWERTYキー：QWERTYキーボードへ切り替え
  手書き：手書き入力へ切り替え
  全画面手書き：全画面での手書き入力へ切り替え
  上書き手書き：上書き手書き入力の有効／無効

定型文：定型文の表示
記号／顔文字：記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示
引用アプリ：電話帳の引用、パスワードマネージャーの引用
［設定］をタップすると、キーを上にフリックしたときに起動するアプリを選択できます。
設定：Super ATOK ULTIASの設定→P38
オススメ機能：選べるキーボード、フリック学習モード、ATOK キーワード Express
- 上にフリックすると設定した引用アプリを起動します。右にフリックして郵便番号を入力→［変換］をタップすると、郵便番号に対応した住所を入力できます。

MENU（ロングタッチ）：音声入力の起動
⟲：キーに割り当てられた文字を逆順に表示

⑥ カーソルを左に移動
- テンキーキーボードでは、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、右にフリックするとカーソルを右に移動します。
QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上に移動、右にフリックするとカーソルを下に移動します。

⑦ 記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示
⑧ かな／英字／数字入力モードの切り替え
⑨ Backspace（カーソルの左側の文字を削除）
- 文字確定後にキーを上にフリックするとカーソルの右側の文字を削除、左にフリックするとカーソルの左側にある文字を全削除します。
- 文字確定後に削除した文字を元に戻すには、キーを下にフリックします（縦画面の手書き入力では右にフリック）。

⑩ カーソルを右に移動
- テンキーキーボードでは、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、左にフリックするとカーソルを左に移動します。
QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上に移動、左にフリックするとカーソルを下に移動します。

⑪ ␣：空白の入力
- 上にフリックすると、全角入力時は半角の空白、半角入力時は全角の空白を入力します。

変換：文字の変換
⑫ ↵：確定または改行
次へ：次の入力欄へカーソルを移動
🔍：検索または実行
戻る：記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示からキーボード表示に戻る
⑬ ゛゜小：濁音付きの文字／半濁音付きの文字／拗音／促音に変換
A/a：英字の大文字と小文字の切り替え
⑭ 英字の大文字と小文字の切り替え
- タップするたびに、最初の1文字のみ大文字→大文字→小文字に切り替わります。

⑮ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力
- 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。認識された文字をタップして表示される補正候補一覧から文字を選択できます。補正候補一覧の上で文字を書き直すこともできます。

✔お知らせ

- キーボードを非表示にするには、▽をタップします。再度キーボードを表示するには、文字入力欄をタップします。
- 変換候補にない単語を入力して確定したとき、②の位置に が表示される場合があります。 をタップすると入力した単語をユーザー辞書に登録できます。
- パスワードなどの入力画面では、入力画面とパスワードマネージャーで登録したID（アカウント）やパスワードなどを関連付けし、引用入力することができます。
  キーボード上部に表示された［パスワードマネージャーへの登録］をタップし、パスワードマネージャーに認証情報を登録して入力画面と関連付けします。引用入力する場合は、［パスワードマネージャーからの引用］をタップします。
  - ブラウザでは、関連付けされた画面情報をもとに、ID、パスワードが自動で引用入力されます。ただし、ID、パスワードの画面構成によっては、自動で引用入力されない場合もあります。
  - その他のアプリケーションでは、関連付けされた画面情報をもとに、一覧画面から選択した項目が引用入力されます。

❖テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。

- ［テンキー］で入力方式を選択して利用します。→P38

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、フリックした後゛゜小を1回または2回タップします。

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、タップした後゛゜小を1回または2回タップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音／促音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

例：「ぱ」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字の切り替えができます。

■ 2タッチ入力

1回目に入力したい文字が割り当てられているキーをタップし、2回目に目的の文字をタップします。

◆ 入力方法の切り替え

Googleキーボードなど、他の入力方法に切り替えて入力できます。

- Googleキーボードは日本語入力に対応していません。
- 「NX!input 中国語（簡体字）」または「NX!input 韓国語」に切り替えたときは、手書き入力でのみ入力できます。

1 **ホーム画面で▦→[設定]→[言語･文字･入力]**

2 **[現在のキーボード]→入力方法を選択**

✔お知らせ

- ATOKの日本語キーボードに戻すには、入力方法の一覧で［日本語 Super ATOK ULTIAS］を選択します。
- 文字入力中に入力方法を切り替えるには、ナビゲーションバー（→P43）の▦をタップして、入力方法を選択します。

◆ 文字入力の設定

入力方法ごとに各種設定ができます。

1 **ホーム画面で▦→[設定]→[言語･文字･入力]**

2 **[Googleキーボード]／[ドコモ文字編集]／[Google音声入力]／[NX!input 韓国語]／[NX!input 中国語(簡体字)]／[Super ATOK ULTIAS]**

3 **各項目を設定**

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。

❖Super ATOK ULTIASの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語の登録（ユーザー辞書）や定型文の編集、設定の初期化などもできます。

1 **ホーム画面で▦→[設定]→[言語･文字･入力]→[Super ATOK ULTIAS]**

2 **各項目を設定**

ULTIASオススメ機能：選べるキーボード、フリック学習モード、ATOK キーワード Express（有効にする、ジャンルの選択、更新を通知、今すぐ受信、自動受信、受信間隔、Wi-Fi接続時のみ受信）を設定します。

操作音・バイブ：キー操作音、キー操作バイブを設定します。

テンキー：入力方式（フリック入力／ケータイ入力／ジェスチャー入力／2タッチ入力）、フリック入力（フリックガイド、フリック感度、「や」キーフリック、修飾キーフリック、英字キーフリック）、ケータイ入力の有効化、自動カーソル移動（自動カーソル移動、自動カーソル移動の速度）、ジェスチャー入力（ジェスチャーガイド、ジェスチャー感度、タッチ位置を中心に表示、高速表示、高速で閉じる、ジェスチャーガイドの表示時間、「や」キージェスチャー）、数字は確定入力を設定します。

QWERTYキーボード：英字は確定入力、数字キー表示（縦画面、横画面）を設定します。

手書き入力：上書き手書き入力（テンキー、QWERTYキーボード）、通常手書きまたは全画面手書きの枠数（縦画面、横画面）、確定速度（自動確定ON、確定速度）、線の表示（通常手書きまたは全画面手書きの太さ、色）を設定します。

共通設定：ひらがな入力時／英字入力時／数字入力時のキーボードの選択、使用するキーボード、MENUフリックの引用アプリ選択、推測変換、未入力時の推測候補表示、学習機能、スペースは半角で出力、自動スペース入力、文字削除キー、機能フリックガイド、バックキー、自動全画面化（横画面）、ハードキーボードを優先、マルチタッチを設定します。
- アプリによっては、文字入力時に推測変換候補が表示されません。
- ［自動全画面化（横画面）］を有効に設定しても、アプリによっては全画面表示にならないものがあります。

変換候補一覧の表示：文字サイズ、候補の表示行数（縦画面、横画面）、表現モード、句読点の表現、推測訂正候補の表示、校正支援の表示を設定します。
デザイン：選べるキーボード、テーマ、キーボードのサイズ調整（テンキー（縦画面／横画面）、QWERTY（縦画面／横画面）、手書き（縦画面／横画面））、フローティングキーボード（縦画面、横画面）を設定します。
- 「フローティングキーボード」の「横画面」を有効に設定しても、全画面表示のときはフローティングキーボードが無効になります。

ユーティリティ：辞書ユーティリティ、定型文ユーティリティ、ATOK Sync（有効にする、共有した単語の確認、今すぐ更新、自動更新、更新間隔、Wi-Fi接続時のみ実行）、設定の入出力（設定のエクスポート、設定のインポート）を設定します。
初期化：設定の初期化、学習データの初期化を行います。
- ［設定の初期化］を実行しても学習データや編集したユーザー辞書／定型文は削除されません。

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、単語登録、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。
- アプリの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖テキストの切り取り／コピー／単語登録

■ 文字入力欄での切り取り／コピー／単語登録

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。
- テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには［すべて選択］をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

2 ［切り取り］／［コピー］／［単語登録］

- 単語登録する場合は、単語の読みを入力し、品詞を選択して登録します。

■ Webサイトなどでコピー／単語登録

1 テキストをロングタッチ

テキスト範囲がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには［すべて選択］をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- Webサイトによっては、リンクをロングタッチして表示されるメニューから［リンクテキストをコピー］をタップなどの操作ができます。

2 ［コピー］／［単語登録］

- 単語登録する場合は、単語の読みを入力し、品詞を選択して登録します。

❖テキストの貼り付け

1 貼り付け位置をタップ→［貼り付け］

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

◆ 外付けキーボードの利用

本端末とBluetoothキーボード（HID／SPP）やUSBキーボードを接続して文字入力ができます。

- 101キーボード、104キーボード、106キーボード、OADG 109キーボード、OADG 109Aキーボードに対応しています。
- Bluetoothキーボードの接続方法については、「Bluetooth機器との接続」をご覧ください。→P164
- USBキーボードを利用する場合は、USBキーボードを本端末の外部接続端子に接続します。

❖外付けキーボードの設定

1 ホーム画面で▦→［設定］→［言語・文字・入力］

- 外付けキーボードが接続されていると、物理キーボード欄が表示されます。

2 物理キーボードで任意のキーボードを選択→［キーボードレイアウトの設定］→任意のキーボードレイアウトにチェック→◁（バック）→任意のキーボードレイアウトを選択

初期設定

本端末の電源を初めて入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

1 ［日本語］を選択して［→］

- Wi-Fiの選択画面が表示されます。必要に応じて設定してください。

2 「タップ&ゴー」画面または「アカウントの追加」画面でGoogleアカウントを設定

- 「タップ&ゴー」画面で［スキップ］を選択すると「アカウントの追加」画面が表示されます。
- 画面の指示に従ってGoogleアカウントを設定してください。後で設定することもできます。

3 ARROWS はじめに設定画面で各項目を設定

虹彩認証：虹彩を登録して認証操作に利用します。→P138

パーソナルアシスト：場所・時間・曜日などの情報をもとにアプリの候補を表示させる機能を設定します。

- 内容を確認して［利用開始］をタップすると、本端末の使用状況の学習が開始されます。学習が完了すると、ホーム画面にパーソナルアシストが表示されるようになります。→P149

自分からだ設定：健康系のアプリやウィジェットで利用する基本情報などを設定します。→P153

4 ［完了して進む］

- ［次回も表示］のチェックを外すと、次回から設定画面が表示されなくなります。

5 ドコモサービスの初期設定画面で［すべてのリンク先の内容に同意する］にチェック→［設定をはじめる］

6 各項目を設定→［進む］

docomo ID：ドコモアプリで利用するdocomo IDを設定します。

ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。

ドコモアプリパスワード：ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。

- ドコモアプリパスワードの初期値は「0000」に設定されています。

ドコモ位置情報：本端末の位置情報を提供するかを選択します。

遠隔初期化：遠隔初期化を設定します。

- ドコモアプリパスワードを設定すると表示されます。

アプリ一括インストール：契約中のドコモサービスに必要なアプリを一括でインストールすることができます。

7 ［使いはじめる］→［今すぐはじめる］

ホーム画面が表示されます。

✔お知らせ

- 端末エラー情報送信の確認画面が表示された場合は［OK］をタップします。
- ソフトウェア更新の確認画面が表示された場合は［OK］をタップします。
- 操作ガイドが表示された場合は、［以後表示しない］または［OK］をタップします。

❖かんたんお引越し

microSDカードに保存した携帯電話（富士通／東芝製のFOMA端末）のデータを本端末に移行します。

- 電話帳データ、リダイヤル／着信履歴、スケジュール帳、ブックマーク、アラーム、受信／送信／未送信メールのデータを移行できます。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[端末管理]→[バックアップとリセット]→[かんたんお引越し]

各データの移行先の案内を確認した後、［OK］をタップします。以降は画面の指示に従って操作してください。

- 次回起動時に移行先の案内画面を表示しない場合は、［OK］をタップする前に［以降表示しない］にチェックを付けてください。

✔お知らせ

- 通話履歴は移行元のリダイヤル／着信履歴で上書きされるため、データ移行前に本端末に保存されていた通話履歴は削除されます。
- 移行した受信／送信／未送信メールを表示するには、ホーム画面で✉→［その他］→［メール取り込み］をタップして、取り込み先を選択してください。
- 移行したスケジュールを表示するには、移行先のアカウントと同期してください。移行先のアカウントは、端末に最後に登録されたGoogleアカウントとなります。
- 富士通／東芝製のFOMA端末であっても、ご使用の機種によってはかんたんお引越しに対応していないため、データを移行できないことがあります。

お知らせLED

充電中や不在着信など、本端末の状態をお知らせLEDの点灯や点滅で通知します。

■ 主な通知の種類と点灯／点滅について

本端末起動時：緑色1回点灯
充電中：赤色点灯
充電異常：赤色点滅
新着SMS：点滅色は「メッセージ」アプリで設定→P72
不在着信、伝言メモ：点滅色は［不在着信LED］で設定→P119

✔お知らせ

- アプリ利用時の点灯／点滅は、アプリによって設定や動作などが異なります。
- お知らせLEDの点灯／点滅についてはイルミネーション設定が優先されますが、アプリによってはアプリ側の設定に従って動作する場合があります。ただし、本端末起動時は本機能が優先されます。

画面表示／アイコン

◆ ナビゲーションバーのアイコン

画面下部のナビゲーションバーに、画面を操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの名称と動作は次のとおりです。

ナビゲーションバー

◁バックアイコン

タップ：直前の画面に戻る、アプリの終了

○ホームアイコン

タップ：ホーム画面に戻る→P50

ロングタッチしてGoogleまでスライド：Googleの起動

□履歴アイコン

タップ：最近使ったアプリの表示→P49

／スライドディスプレイアイコン

タップ：画面全体をナビゲーションバーの方向に移動／元の表示に戻す→P43

◆ スライドディスプレイについて

片手で持っているときに画面全体をナビゲーションバーの方向に移動させることで、指が届かない部分も操作できるようになります。

をタップすると、画面全体がナビゲーションバーの方向に移動した状態（スライドディスプレイ）で表示されます。

- 横画面では、をタップすると、画面全体がナビゲーションバーの方向に移動した状態で表示されます。ただし、ステータスバーは移動しません。
- スライドディスプレイ表示中の空き領域をドラッグすると、スライド幅を調節できます。
- 次の操作や動作で元の画面（位置）に戻ります。
  - スライドディスプレイ表示中に／／／をタップ
  - 縦画面から横画面に、または横画面から縦画面に切り替え
  - シアターモード起動時
  - 電話着信時、または全画面表示で動作するアプリの表示
  - スリープモードに切り替わった後に再度画面を表示
  - 文字入力のキーボード表示
- スライドディスプレイアイコンの表示／非表示は、スライドディスプレイ表示中にをタップ、またはホーム画面で→［設定］→［便利機能］→［スライドディスプレイ］をタップして設定できます。
- 画面ロック中やスクリーンセーバー起動中など、画面によってはスライドできない場合があります。

◆ ステータスバーのアイコン

画面上部のステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンでさまざまな状態を確認できます。

■ 主な通知アイコン

: 新着Gmail
: 新着Eメール
: 新着ドコモメール
: 新着SMS
: 新着ハングアウト
: 新着エリアメール
: SMSの送信失敗
: Wi-FiがONでWi-Fiネットワークが利用可能
: Wi-Fiテザリングが有効
: USBテザリングが有効
: Bluetoothテザリングが有効
: 2つ以上のテザリングが有効
: 不在着信
: 伝言メモあり
: 留守番電話サービスの伝言メッセージ
／: データのアップロード完了／ダウンロード完了
: Google Playなどからのアプリがインストール完了
: Google Playのアプリがアップデート可能
: φ3.5イヤホン接続中
: ハイレゾ品質で再生中
: フルセグ／ワンセグ視聴中
／: フルセグ・ワンセグの録画中／録画予約中
: ソフトウェアアップデート
: スクリーンショットで画像を保存
: あわせるローテーションで画面の向きが変わった直後に本端末を2回振って向きを戻した状態
: FMトランスミッタON
: 競合によりFMトランスミッタOFF
: モバキャス受信中
: 位置提供設定ON
: おまかせロック設定中
: 本端末のメモリの空き容量低下
: アプリ電池診断（電池を消耗しているアプリを検出）
: Dolby ProcessingがON
: タッチでOFF設定中
: エラー／警告メッセージあり
: docomo ID設定の認証失敗
: 表示しきれない通知あり

■ 主なステータスアイコン

: 電波状態
: 圏外
: 国際ローミング中
／／: LTE／3G／GSM使用可能
- 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が白く表示されます。

: 機内モード設定中
: Wi-Fi接続中
- 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が白く表示されます。

: マルチコネクションが有効
: Bluetooth機能ON
: Bluetooth機器接続中
: 本端末とドコモnanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中
: 本端末またはドコモnanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中

: 本端末とドコモnanoUIMカードにおまかせロックを設定中
: 本端末またはドコモnanoUIMカードにおまかせロックを設定中
: 伝言メモ設定中
: スピーカーフォンON
: マイクミュート
: バイブレーションON
: 優先的な割り込みのみ許可（重要）設定中
: 割り込みなし（なし）設定中
: GPS測位中
: マナーモード（通常マナー）
: マナーモード（サイレントマナー）
: マナーモード（アラームONマナー）
: マナーモード（オリジナルマナー）
: 電池残量0～15%※
: 電池残量16～28%※
: 電池残量29～100%※
※ 電池残量に応じてアイコンの残量表示部分が変化します。
: 充電中
(白)：持ってる間ON設定中（動きを検出して画面点灯中）
(グレー)：持ってる間ON設定中
: 手袋タッチON
: VPN接続
: かな入力モード
: 英字入力モード
: 数字入力モード
: 手書き入力モード
: 絵文字／顔文字／記号、定型文入力

◆ 通知パネル

ステータスバーを下方向にフリックすると、通知パネルを開くことができます。通知パネルでは、通知アイコンの情報を確認したり設定を行ったりできます。

❖通知パネルを開く

1 ステータスバーを下方向にフリック

① ステータスバー

② パネルスイッチ

パネルスイッチをタップすると、各設定を切り替えることができます。

- ステータスバーをタップしたり、パネルスイッチを下方向にフリックしたりすると、すべてのパネルスイッチを表示することができます。

③ **通知**

各通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。

また、通知をロングタッチするとアイコンが表示され、次の操作ができます。

- ⚙：アプリの設定画面が表示されます。
- ⓘ：アプリの通知の設定ができます。
  アプリの通知の設定で「ブロック」を設定すると、通知は表示されなくなります。

④ **画面の明るさのレベル**

スライダーをスライドして明るさを調整します。Ⓐ／Ⓐをタップすると、周囲の明るさに応じた自動調整を解除／設定します。

✔お知らせ

- 通知パネルで［通知を消去］をタップすると、通知が消去されます。通知内容によっては［通知を消去］が表示されない場合があります。
- 通知パネルで［設定］をタップすると、設定メニューを表示できます。
- 不在着信の通知の下に表示されている［発信］［SMS］をタップして、電話をかけたりSMSを送信したりできます。ただし、不在着信が2件以上ある場合は表示されません。

❖通知パネルを閉じる

1 **通知パネルを上方向にフリック、または◁（バック）**

◆スリープモード

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。また、電池の消耗を抑えることもできます。

1 ⏻

✔お知らせ

- 本端末を一定時間操作しなかったときも、「画面消灯時間」（→P123）の設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。
- スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆画面ロックの解除

1 **スリープモード中に⏻**

2 **ロック画面で🔒**

ロックが解除されます。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

- セキュリティ解除方法の設定（→P137）によっては、ロック画面での認証操作になります。
- ロック画面の をタップするとカメラが起動します。
- ロック画面の をタップするとしゃべってコンシェルが起動します。

✔お知らせ

- お買い上げ時は画面ロックの解除時にお知らせLEDが点滅します。設定は変更できます。→P121
- お買い上げ時はロック画面が表示されていても、不在着信と未読ドコモメールの件数は表示されます。
- お買い上げ時、ロック画面は約10秒後にスリープモードになります。

◆ スライドイン機能

画面の端にあるスライドスポット（スライドを始める位置）から指をスライドすることで、スライドインランチャーやキャプメモ／なぞってコピーを呼び出すことができます。

- スライドイン機能の設定については、「スライドイン機能」をご覧ください。→P151

❖スライドインランチャー

スライドインランチャーに登録されたショートカットからアプリを起動します。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーのショートカットで指を離す

- お買い上げ時は画面の左下隅のスライドスポットにスライドインランチャーが設定されています。
- スライドインランチャーと同時に呼び出される の位置で指を離すと、スライドイン機能を設定できます。

2 目的の操作を行う

❖キャプメモ

表示されている画面をキャプチャして、画像として編集したり、他のアプリと共有したりできます。

- 画面によってはキャプチャできない場合があります。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、「キャプメモ」領域で指を離す

- お買い上げ時は画面の右下隅のスライドスポットにキャプメモ／なぞってコピーが設定されています。

2 目的の操作を選択

画像を編集：ツールをタップして編集操作を行う→［保存］

- 画像は、ギャラリーの「Screenshots」に保存されます。
- 描画ツールで画像に文字や絵などを手書きしたり、トリミングや拡大／縮小したりできます。

他のアプリと共有：［共有］→アプリを選択→画面の指示に従って操作

- ［共有］の隣に表示されているアプリアイコンをタップしてもアプリを起動できます。

✔お知らせ

- ブラウザ表示中にWebページをキャプチャした場合は、URLの情報も同時に取得されます。URLの情報を共有時に貼り付けるかどうかは、画像編集画面で⋮→［URL共有設定］をタップして設定できます。

❖なぞってコピー

画面を指でなぞって選択した文字列を、コピーしたり他のアプリと共有したりできます。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、「なぞってコピー」領域で指を離す

- お買い上げ時は画面の右下隅のスライドスポットにキャプメモ／なぞってコピーが設定されています。

2 コピーしたい文字列を指でなぞる

認識された文字にマーカーが引かれ、プレビュー表示されます。

- プレビューをタップするとキーボードが表示され、文字を編集することができます。
- 選択した文字列や背景画像によっては、正しく認識されない場合があります。

3 目的の操作を行う

文字列をコピー：［コピーする］

- ∧／∨をタップして、プレビューの表示／非表示を切り替えられます。［クリア］をタップすると、文字列の選択が解除されます。

他のアプリと共有：貼り付け先のアプリを選択

- 選択した文字列によって、表示されるアプリが異なります。

◆画面のカスタマイズ

ナビゲーションバーの色、電池アイコン、キーボードのデザインを変更できます。

1 ホーム画面で⁂→［設定］→［壁紙・画面］→［詳細カスタマイズ］

2 各項目を設定

タスク管理

◯（ホーム）をタップするなどしてアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能で実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 ▣（履歴）

最近使ったアプリが表示されます。

- サムネイルをタップするとアプリを表示できます。
- サムネイルを左右にフリックしたり、［✕］をタップしたりするとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには［全て終了］をタップします。

✔お知らせ

- 最近使ったアプリの表示／非表示を設定できます。→P145

ホームアプリの切り替えかた

◯（ホーム）をタップして表示される画面（ホーム画面）を変更します。本端末には「docomo シンプル UI」「docomo LIVE UX」「NX!ホーム」の3種類のホームアプリが用意されています。

1 ホーム画面で▦→［設定］→［壁紙・画面］→［ホーム画面切替］

2 切り替えるホームアプリを選択

✔お知らせ

- ホームアプリによっては、ホームアプリを切り替えるとロック画面の壁紙が変更される場合があります。

チャイルドロック

タッチ操作で画面が反応しないように設定できます。

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで⏻を押し続ける

2 ［チャイルドロック］→［OK］

- 設定を解除するには、⏻を1秒以上押します。

✔お知らせ

- チャイルドロック設定中は⏻を押したり、一定時間操作しなくても、スリープモードにはなりません。

docomo LIVE UX

ホーム画面

ホーム画面は、ウィジェットを貼り付けたり、アプリを起動したりすることができます。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① **ウィジェット**
　ウィジェット（Google検索）を起動できます。
② **マチキャラ**
　着信やメール受信などのお知らせを表示します。
③ **アプリ**
　アプリを起動できます。
④ **インジケータ**
　ホーム画面の現在表示位置を示します。左右にフリックして表示を切り替えます。
⑤ **ドック**
　ホーム画面に表示されます。
　アプリボタン：アプリ一覧画面を表示します。→P52
　マイマガジンボタン：マイマガジンを表示します。→P57
⑥ **カスタマイズエリア**
　アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。
⑦ **フォルダ**
　複数のアプリを格納できます。

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリやウィジェットを貼り付けたり、フォルダを作成してアプリを管理したりできます。

- アプリは、ホーム画面またはアプリ一覧画面のいずれかに配置されます。
- ホーム画面に配置されたアプリ、ウィジェット、フォルダをロングタッチしてドラッグすると、位置を変更できます。

1 **カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ**

2 **[アプリを表示]／[ウィジェットを表示]／[フォルダを作成]／[マチキャラ表示設定]**

3 必要に応じて項目の選択や設定を行う

- アプリ／ウィジェット一覧画面でアイコンをロングタッチして画面下部のホーム画面表示領域までドラッグすると、ホーム画面に追加することができます。
- フォルダを選択してフォルダ名をタップすると、フォルダ名を変更することができます。
- アプリをロングタッチして、他のアプリの上にドラッグしてもフォルダを作成することができます。
- ウィジェットによっては、ロングタッチしてサイズを変更することができます。

✔お知らせ

- ドック（→P50）にもアプリやフォルダを配置できます。ただし、は移動／削除／変更ができません。は ホーム画面で→→［マイマガジン利用設定］をタップして、ホーム画面表示の有無を設定できます。

❖アプリ／ウィジェットをホーム画面から削除

1 削除するアプリ／ウィジェットをロングタッチ

2 ［ホーム画面から削除］／［アプリ一覧に戻す］までドラッグ

- アプリの場合はアプリ一覧画面（→P52）に移動します。

アプリやウィジェットの無効化：アプリまたはウィジェットをロングタッチして［アプリ無効化］までドラッグ→［無効にする］→［OK］

✔お知らせ

- アプリをロングタッチして［アンインストール］が表示された場合は、アプリを［アンインストール］までドラッグして［OK］をタップすると、アンインストールすることができます。

◆ きせかえ／壁紙の変更

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 ［きせかえを変更］／［壁紙を変更］

3 項目の選択や設定を行う

✔お知らせ

- きせかえの設定は、ホーム画面で→→［きせかえ］をタップしても設定できます。また、ホーム画面で→［壁紙］→［きせかえを見る］をタップしても設定できます。
- ナビゲーションバー、電池アイコンも変更できます。→P48

◆ ホーム画面の追加／削除

最大7件までのホーム画面を設定できます。

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 ［ホーム画面一覧］

- 初回設定時は操作ガイドが表示されます。［以後表示しない］または［OK］をタップします。

3 目的の操作を行う

追加：［+］

並べ替え：ホーム画面のサムネイルをロングタッチして移動先までドラッグ

削除：［×］

- アプリやウィジェットなどが配置されている場合は、削除の確認画面が表示されます。

表示：ホーム画面のサムネイルをタップ

✔お知らせ

- ホーム画面で → →［ホーム画面一覧］をタップしても設定できます。また、ホーム画面の任意の位置でピンチインしても、ホーム画面一覧を表示できます。

アプリ一覧画面

アプリ一覧画面を呼び出し、登録されているアプリを起動したり、アプリやウィジェットをホーム画面に移動したりできます。

- アプリ一覧画面にないアプリは、ホーム画面に配置されています。

1 ホーム画面で

- 初回起動時は操作ガイドが表示されます。［以後表示しない］または［OK］をタップします。
- ホーム画面を下方向へフリックしてもアプリ一覧画面を表示できます。

① アプリ／ウィジェット／壁紙の切り替えタブ

② アプリ／ウィジェット／壁紙の一覧（タブごとに表示）

- 左右にフリックして選択したり、設定したりします。
- アプリによっては、アイコンに未読件数などが表示されるものがあります。

- アプリ／ウィジェットをロングタッチしたままホーム画面表示領域へドラッグすると、アプリをホーム画面に移動できます。

③ ホーム画面表示領域
- 左右にフリックしてホーム画面を切り替えることができます。
- 上方向にフリックするか、タップするとホーム画面が表示されます。

④ オプションメニュー
きせかえや本体設定などのオプションメニューを表示します。

⑤ おすすめボタン→P56

⑥ インジケータ（タブごとに表示）
- 一覧画面の現在表示位置を示します。

✔お知らせ
- アプリ一覧画面で ⋮ →［ヘルプ］をタップすると、docomo LIVE UX操作ガイドを確認できます。

◆ プリインアプリ一覧

@Fケータイ応援団：@Fケータイ応援団のサイトに接続します。
ARROWS THEATER：「ARROWS THEATER」のサイトへ接続し、さまざまな映像を体験することができます。
ARROWSオススメ：ARROWSがオススメする機能を紹介するアプリです。
Chrome：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。
DiXiM Player：ホームネットワーク上のテレビ録画番組や写真、音楽、ビデオをお手持ちの機器で視聴できるアプリです。ご利用には、Wi-Fi環境が必要となります。→P171
dブック マイ本棚：ドコモの電子書籍ストアで購入したコミック・小説・実用書などの閲覧ができるアプリです。また、一部の作品を無料で試し読みできます。
dマーケット：音楽、書籍などさまざまな商品を取り扱っており、お客様のニーズに合った商品を購入することができます。→P81
dメニュー：「d メニュー」へのショートカットアプリです。d メニューでは、i モードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探すことができます。→P81
Gmail：Googleアカウントのメールを送受信できます。→P75
Google：本端末内やWebサイトを検索します。→P115
Google+：大量のデータ（メールや連絡先、写真、Office文書など）を、さらに活用するためのSNS機能を利用できます。
Google設定：Googleの各サービスの設定をまとめて行うアプリです。
ICタグ・バーコードリーダー：ICタグやバーコードに書き込まれた情報を読み取ることができるアプリです。
iDアプリ：ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。→P86
i コンシェル：i コンシェルを利用するためのアプリです。i コンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。
Kingsoft Office：Office文書やPDFファイルの閲覧などができます。
KSfilemanager：本端末やmicroSDカードなどのデータを管理できるアプリです。→P161

NOTTV：モバキャスを視聴できます。「NOTTV」などの放送局の番組・コンテンツをお楽しみいただけます。→P87

Play ゲーム：新しいゲームの発見、実績やスコアの管理ができるほか、世界中の人とマルチプレイが簡単に楽しめます。

Playストア：Google Playを利用できます。→P81

Playブックス：ダウンロードした電子書籍を閲覧できます。

Playミュージック：音楽を再生します。

Playムービー &TV：映画をレンタルして視聴できます。ダウンロードして好きなときに視聴することもできます。

TransferJet受信：端末同士を近づけるだけで、動画や写真などの大容量データを高速で受信できるアプリです。→P168

Twitter：Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

Visa プリペイド：ネットショッピング専用のVisaプリペイドカードが簡単に発行できるアプリです。インターネットでのお買い物にすぐにご利用いただけます。

YouTube：YouTube™の動画が見られます。

アシストナビ：毎日の行動履歴からよく行く場所を推測して、ナビゲーション表示します。→P150

あんしんスキャン：ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。

遠隔サポート：「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P188

おサイフケータイ：お店などの読み取り機に端末をかざすだけでお支払いなどができます。→P83

音声検索：端末に向かって話すだけでGoogle検索が利用できます。→P115

カメラ：静止画や動画を撮影します。→P100

カラーマッチ：ドコモダケが登場するシンプルなミニゲームです。7×7のマス目に敷き詰められたピースをタップで消します。

カレンダー：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。

ギャラリー：カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生できます。→P107

健康生活日記：携帯電話とパソコンを使って、楽しくからだをデザインする健康サービスです。

虹彩認証体験：虹彩認証を体験するアプリです。

災害用キット：災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。→P76

しゃべってコンシェル：調べたいことやしてほしいことなどをキャラクターに話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を画面に表示するアプリです。

ショッぷらっと：ショッぷらっとの加盟店に行ってチェックインすることで、ポイントやクーポンが獲得できるアプリです。貯めたポイントはショッぷらっとの加盟店の商品券やポイントなどに交換できます。

スケジュール：スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。ｉコンシェルに対応しています。→P113

スッキリ目覚まし：設定した時刻よりも早い時間帯で、快適に起きられる時刻に鳴動する目覚ましを設定できます。→P114

赤外線：電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。→P162

設定：本端末の各種設定を行います。→P118

データ保管BOX：データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。

テレビ：フルセグ／ワンセグを視聴します。→P92

電卓：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P114

電話：電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです。→P59

ドコモ電話帳：ドコモが提供する電話帳アプリです。「docomoアカウント」の電話帳データをクラウド上で管理できます。→P67

ドコモバックアップ：「データ保管BOX」もしくは「microSDカード」へのバックアップ・復元を行うためのアプリです。→P115

ドコモメール：ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができるアプリです。送受信したメールはクラウドに保存されるので、複数のデバイスで同じメールを閲覧したり、機種変更時のメールデータ移行が簡単に行えます。また、絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→P70

ドライブ：本端末に保存されている写真や動画などをGoogleドライブにアップロードして、複数のデバイスからアクセスできます。文書を作成して共有したり、編集したりできます。

取扱説明書：本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

トルカ：お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。→P86

ハングアウト：Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。Googleアカウントのメンバーとチャットができます。

フォト：写真の閲覧や加工ができます。またGoogleのクラウドに保存することもできます。

フォトコレクション：写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。

ブラウザ：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P77

マップ：現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などを行うことができます。→P112

メール：一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。→P72

メッセージ：SMSの送受信ができます。→P70

メディアプレイヤー：音楽や動画を再生することができるアプリです。→P108

メモ：メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。ｉコンシェルに対応しています。

マイマガジン：ホームアプリが「NX!ホーム」と「docomo シンプルUI」に設定されている場合に表示されます。お客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。→P57

✔お知らせ

- このプリインアプリ一覧は、お買い上げ時にホーム画面またはアプリ一覧画面に表示されているものです。
- プリインアプリによっては、別途お申し込み（有料）が必要なものがあります。
- プリインアプリによっては、アンインストールできる場合があります。アンインストールしてもPlayストアなどで再度ダウンロードできる場合があります。→P81
- プリインアプリによっては、初回起動時にPlayストアやドコモのサイトにアクセスしてインストールが必要な場合があります。

◆ アプリ一覧画面の管理

1 アプリ一覧画面表示中に目的の操作を行う

アプリの無効化：アプリをロングタッチして［アプリ無効化］までドラッグ→［無効にする］→［OK］

アプリのアンインストール：アプリをロングタッチして［アンインストール］までドラッグ→［OK］

アプリの並べ替え：アプリをロングタッチして移動先までドラッグ

ホームアプリの情報確認：⋮→［アプリケーション情報］

◆「おすすめ」アプリのインストール

［おすすめ］ボタンをタップすると、ドコモがおすすめするアプリが表示されます。

1 ホーム画面で⊞→［おすすめ］

- 初回起動時はおすすめアプリの説明画面が表示されます。内容を確認して［おすすめアプリを見る］をタップします。

2 アプリを選択→画面の指示に従ってダウンロードを行う

- すべてのおすすめアプリを確認する場合は、おすすめアプリ一覧の［おすすめアプリをすべて見る］をタップします。

◆ すべてのアプリ表示

アプリの配置場所を検索する機能です。

1 ホーム画面で⊞→⋮→［すべてのアプリを表示］

すべてのアプリが一覧表示されます。

2 アプリを選択

選択したアプリの配置場所の画面が表示され、アイコンが選択された状態になります。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

- ホーム画面のバックアップ／復元を行うには、docomo IDの設定が必要です。

◆ ホーム画面のバックアップ

1 **ホーム画面で→→[配置のバックアップと復元]**

- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシー、ご注意事項、ソフトウェア使用許諾規約をご確認の上、［同意する］をタップします。

2 **→[バックアップ]**

◆ ホーム画面の復元

1 **ホーム画面で→→[配置のバックアップと復元]**

2 **[最新のバックアップデータを復元]→[復元する]**

一覧からデータを復元：[バックアップデータ一覧から復元］→データを選択→［復元］→［復元する］

✔お知らせ

- アイコンやウィジェットによっては復元されない場合があります。また、ホーム画面の最終ページにドコモサービスが追加されない場合もあります。

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって検索ワードの設定をお手伝いし、お客様の好みに近づいていきます。

◆ ジャンル設定

マイマガジンで表示したい情報のジャンルを選択できます。

1 **ホーム画面で**

ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。

- 初回設定時はマイマガジンの説明画面が表示され、ジャンルを選択することができます。内容を確認して［OK］をタップします。
- ホーム画面を上方向へフリックしてもマイマガジンを表示できます。
- Twitter連携や位置情報利用設定の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 **→[表示ジャンル設定]→ジャンルを選択→[OK]**

◆ 記事の見かた

ジャンル別の記事一覧画面で［もっと見る］をタップすると、記事一覧画面に表示されていた記事以外の情報項目が並ぶ「もっと見る画面」が表示され、記事を選択すると、記事表示画面で詳細情報を閲覧できます。

電話

電話／ビデオコールをかける

1 **ホーム画面で**

2 **[ダイヤル]→電話番号を入力**

- 電話番号を訂正する場合はをタップします。

発信者番号通知：→［発信者番号通知］→［通知する］／［通知しない］

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

プレフィックス選択：→［プレフィックス選択］→プレフィックスを選択

- あらかじめ、「プレフィックス設定」（→P66）で登録した番号（プレフィックス）を選択して、電話番号の先頭に付加します。

2秒間の停止を追加／待機を追加：→［2秒間の停止を追加］／［待機を追加］→追加番号を入力

- 銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要がある場合、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するためには、［2秒間の停止を追加］または［待機を追加］を使用します。
  2秒間の停止「,」：メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に2秒間一時停止してから追加番号をダイヤルします。
  待機「;」：メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に待機し追加番号の確認メッセージが表示されます。［はい］をタップすると追加番号をダイヤルします。

3

ビデオコールをかける：→［ビデオコール］

- ビデオコールで発信中の場合は、画面上部に「発信中（高音質）」と表示されます。接続するネットワークによっては、「（高音質）」が表示されない場合があります。

4 **通話が終了したら[終了]**

✔お知らせ

- VoLTEは、音声通話やビデオコールを高品質でご利用いただけます。
  VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
  - VoLTE対応機種であること
  - Xiエリアであること※
  - 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」（→P178）が［LTE/3G/GSM（自動）］または［LTE/3G］に設定され、「通話モード設定」（→P66）が［VoLTE/3G］に設定されていること

  ※ Xiエリア外、国際ローミング中ではVoLTEは利用できません。
- ビデオコールは、お互いの映像を見ながら通話ができます。また、音声通話とビデオコール間で切り替えられます。
  - ビデオコールの発信時は音声通話料およびパケット通信料がかかります。また、着信時にもパケット通信料がかかります。

- 映像はベストエフォート通信（通信の混雑具合に応じた最適速度となる）のため、通信環境により品質は異なります。
- 音声通話中にビデオコールへ切り替えができなかった場合は、画面上にビデオコールへの切り替えが失敗した旨が表示され、音声通話が継続されます。
- ビデオコールの映像は、ご利用機種により表示処理に違いがあるため、本端末で表示される自分の映像と相手に表示される映像の範囲が異なる場合があります。

- 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
- 本端末にイヤホンを挿入している場合、またはスピーカーフォンで通話を行っている場合は、近接センサーを停止します。そのため、近接センサーに顔などが近づいてもディスプレイの表示は消えません。
- 通話中に髪の毛の上から受話口／スピーカーを当てている場合、近接センサーが正常に動作しなくなり、通話が遮断される場合があります。
- 「発信者番号通知」（→P65）で通知／非通知を一括設定できます。
- 通話中にプッシュ信号を送信する場合は、「通話中の操作」をご覧ください。→P62

◆ 緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中、ソフトウェア更新中は緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 海外で110番、119番、118番を発信すると緊急呼通話中画面が表示される場合がありますが、通常発信されています。

- 着信拒否設定が有効な状態で緊急通報を行うと、着信拒否設定は無効に変更されます。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ビデオコールでは緊急通報を行うことはできません。

◆ 国際電話（WORLD CALL）

「+」を入力して国際電話をかけます。「0」をロングタッチすると「+」が入力されます。

- 海外でのご利用については、「国際ローミング（WORLD WING）の概要」をご覧ください。→P176
- WORLD CALLの詳細は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で→[ダイヤル]→「0」をロングタッチ→「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力→

- [国際ダイヤルアシスト]の[自動変換機能]にチェックを付けている場合、発信時に「国際ダイヤルアシスト」画面が表示されます。[元の番号で発信]または[変換後の番号で発信]をタップします。
- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 国リストから選択して「+国番号」を入力する場合は、地域番号（市外局番）と電話番号を入力し、→[国際電話発信]→国を選択します。

電話／ビデオコールを受ける

◆ 音声電話を受ける

〈例〉スリープモード中に電話がかかってきた場合

1 電話がかかってくる

着信画面（全画面）が表示されます。

- 着信音、バイブレータの動作を止めるには、／音量キーを押します。
- VoLTEで着信中は、画面上部に「着信中（高音質）」と表示されます。ただし、接続するネットワークによっては、「（高音質）」が表示されない場合があります。

2 →[応答]

着信拒否：→［拒否］
応答拒否SMS送信：→［拒否してSMS送信］→メッセージを選択
応答保留：→［応答保留］
伝言メモ録音：→［伝言メモ］

3 通話が終了したら[終了]

◆ビデオコールを受ける

〈例〉スリープモード中に電話がかかってきた場合

1 電話がかかってくる

着信画面（全画面）が表示されます。

- 着信音、バイブレータの動作を止めるには、⏻／音量キーを押します。
- 着信中は画面上部に「着信中（高音質）」と表示されます。

2 🔒→［ビデオ応答］

音声通話で応答：🔒→［音声応答］
着信拒否：🔒→［拒否］
応答拒否SMS送信：⋮→［拒否してSMS送信］→メッセージを選択
応答保留：⋮→［応答保留］
カメラOFFで応答：⋮→［カメラOFF応答］
伝言メモ録音：⋮→［伝言メモ］

3 通話が終了したら［終了］

✔お知らせ

- ホーム画面表示中やアプリ起動中に着信すると、画面上部に着信画面が表示されます。応答し、通話を終了すると通話前の画面に戻ります。なお、着信画面で着信相手の名前または電話番号をタップすると、着信画面（全画面）を表示できます。
- 電話に出られなかったときは、ステータスバーに通知アイコン（→P44）が表示されます。通知パネル（→P45）を開いて不在着信を確認したり、発信やSMSを送信したりできます。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

- 発信中／通話中に音量キーで、通話音量の調節をすることができます。

音声通話中画面　ビデオコール通話中画面

① **高音質通話中**
- 高音質通話中に表示されます。

② **名前や電話番号**

③ **はっきりボイス／ぴったりボイス／ゆっくりボイスの状態表示**
はっきりボイス動作中はぴったりボイスも起動し、はっきりボイスよりさらに最適な音質に調整します。
行動や周囲の環境を認識して「歩行中」、「走行中」や「静か」、「騒がしい」などが表示されます。

④ **通話を終了**

⑤ **ダイヤル入力のダイヤルパッドを表示／非表示**
プッシュ信号（DTMF トーン）を送信します。
- ビデオコール通話中にダイヤル入力をする場合は、⋮→［ダイヤルキー］をタップします。

⑥ **通話を保留／保留解除**
⑦ **通話時間**
⑧ **ビデオコールに切り替え**
タップすると、相手の端末にビデオコールに切り替えるかの選択画面が表示されます。許可されると、ビデオコールに切り替えられます。
- ビデオコール通話中に音声通話に切り替える場合は、⋮→［音声切替］をタップします。

⑨ **サブメニューの表示**
音声通話中：ミュートのON／OFF、スピーカーフォンのON／OFF、はっきりボイスのON／OFF、ゆっくりボイスのON／OFF、キャッチホンを利用して別の相手との通話を追加の操作ができます。
ビデオコール通話中：音声切替、ダイヤルキー表示、音声出力先切替、カメラOFF／ON、自映像と相手映像の映像エリア切替の操作ができます。
⑩ **相手の映像**
- 相手の映像を受信できない場合や、別の画面に切り替えてカメラ機能がOFFになった場合は、が表示されます。
- 画面をタップすると、相手の映像の全画面表示／通常画面表示を切り替えることができます。

⑪ **自分の映像**
⑫ **送信映像カメラの切り替え**
相手に送信する映像を撮影するカメラ（インカメラ／アウトカメラ）を切り替えます。
⑬ **ミュートをオン／オフ**

✔お知らせ
- はっきりボイスをONにすると、相手の聞こえにくい声を強調したり、受話音を整えたりして聞き取りやすくします。
- ゆっくりボイスをONにすると、相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常の速度で聞こえます。
- ミュートをONにすると、自分の声が相手に聞こえないようにします。
- キャッチホンをご契約の場合は、音声通話中に⋮→［通話を追加］をタップして別の相手に電話をかけることができます。
- スピーカーフォンをONにすると、相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話ができます。
- Bluetooth機器を接続している場合、⋮→［出力先切替］→［スピーカー］／［受話口］／［Bluetooth］をタップすると音声の出力先を切り替えることができます。
- ビデオコール通話中に、別の画面に切り替えたために通話中画面が表示されない場合は、相手に自分の映像が送信されません。
- キャッチホン利用中などのマルチ接続中は、はっきりボイス／ぴったりボイス／ゆっくりボイスの状態表示は表示されません。
- はっきりボイス、ぴったりボイス、ゆっくりボイスはビデオコールには対応していません。

発着信履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 ホーム画面で

2 [履歴]

① **すべてタブ**
発着信履歴のすべてを表示します。

② **名前や電話番号**
タップして音声電話発信、SMS送信、ビデオコール発信、電話帳登録またはプロフィール画面の表示などを行います。ロングタッチすると、電話番号を編集して発信、履歴からの削除などができます。

③ **着信タブ**
着信履歴のみを表示します。

④ **発信タブ**
発信履歴のみを表示します。

⑤ **音声電話発信ボタン**
音声電話を発信します。

⑥ **履歴内容**
「発信」／「着信」／「不在着信」が表示されます。
- 発着信履歴には、音声通話またはビデオコールの区別は表示されません。

⑦ **発着信日時**

✔お知らせ

- 発着信履歴の最大表示件数は500件です。

◆ 発着信履歴の削除

1 履歴画面で →[履歴削除]

2 削除する履歴にチェック→[削除]→[削除]

- [全選択]にチェックを付けると、全件削除できます。

伝言メモ

伝言メモの設定や録音した伝言の再生／削除を行います。

- ビデオコールを伝言メモで応答すると、自動的に音声通話に切り替わり、映像は録画されませんのでご注意ください。

1 ホーム画面で→→[通話設定]→[伝言メモ]

2 各項目を設定

伝言メモ：伝言メモのON／OFFを設定します。

- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、設定を有効にしていても伝言メモで応答しません。

伝言メモリスト：録音した伝言メモのリストを表示します。伝言メモを選択→をタップすると伝言が再生されます。

- 伝言メモをロングタッチ→［1件削除］→［はい］をタップすると伝言が1件削除されます。伝言メモがない旨のメッセージが表示された場合は［OK］をタップしてください。
- 伝言メモのリストで→［全件削除］→［はい］→［OK］をタップすると伝言が全件削除されます。
- 伝言メモは1件あたり最長60秒、最大10件録音できます。

伝言メモ設定：着信呼出時間や応答メッセージを設定します。

通話設定

ドコモのネットワークサービスや通話、インターネット通話に関するさまざまな設定を行います。

1 ホーム画面で→→[通話設定]

2 各項目を設定

ネットワークサービス：次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
留守番電話サービス※1：サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。
転送でんわサービス※1：サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。
キャッチホン※1：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
発信者番号通知：通知設定、設定確認を行います。
迷惑電話ストップサービス：登録、削除、登録件数の確認、詳細設定を行います。
番号通知お願いサービス：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
通話中着信設定※1：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
着信通知：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
英語ガイダンス：設定、設定確認を行います。
遠隔操作設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
公共モード（電源OFF）設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

海外設定：設定方法→P180

着信音：電話着信音を設定します。

着信バイブレーション：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかを設定します。
- マナーモード中は設定できません。

ダイヤルパッド操作音：ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかを設定します。
伝言メモ：設定方法→P65
着信拒否設定：着信拒否に関する設定を行います。
- 画面右上のボタンをタップして［着信拒否設定］をONにすると、次の設定を操作できます。

登録外着信拒否：電話帳に未登録の着信を拒否するかを設定します。
非通知着信拒否：非通知の着信を拒否するかを設定します。
公衆電話着信拒否：公衆電話からの着信を拒否するかを設定します。
通知不可能着信拒否：電話番号を通知できない電話からの着信を拒否するかを設定します。
ブラックリスト：ブラックリスト設定に登録した番号からの着信を拒否するかを設定します。
ブラックリスト設定：着信を拒否したい電話番号を最大100件まで登録することができます。
応答拒否SMS：着信時に利用できる応答拒否SMSの編集を行います。
サブアドレス設定：電話番号に含まれる「*」をサブアドレスの区切りとするかを設定します。
プレフィックス設定：電話発信時に電話番号の先頭に付加する番号を設定します。
響カット※2：声の響く場所などで電話中に反響音を抑え、相手に聞き取りやすくするかを設定します。
通話モード設定：通話時に優先的に利用するネットワークモードを設定します。
通話時間：通話時間に関する設定を行います。
積算通話時間表示：積算通話時間を表示します。
積算通話時間リセット：積算通話時間をリセットします。
自動リセット設定：積算通話時間を毎月1日に自動でリセットするかを設定します。
ドコモへのお問合せ：ドコモの各お問合せ窓口に発信します。
ドコモ故障問合せ：ドコモ故障問合せへ発信します。
ドコモ総合案内・受付：ドコモ総合案内・受付へ発信します。
海外紛失・盗難等：海外紛失・盗難等へ発信します。
海外故障：海外故障へ発信します。
インターネット通話の設定：インターネット通話の使用方法を設定します。
オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。
※1 ビデオコールではご利用いただけません。
※2 VoLTEではご利用いただけません。

✔お知らせ

- 通話設定はホーム画面で→［設定］→［便利機能］→［電話］→［通話設定］をタップしても設定できます。
- ホーム画面で→［設定］→［便利機能］→［電話］→［あわせるボイス］をタップして、通話音声を自動で聞き取りやすく調整するように設定できます。
- ホーム画面で→［設定］→［便利機能］→［電話］→［電源ボタンで通話を終了］にチェックを付けると、を押して通話を終了することができます。ただし、スリープモード中はを押しても通話を終了できませんのでご注意ください。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを登録できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。

- 電話帳でクラウドを利用するには、ドコモ電話帳アプリが必要となります。ドコモ電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」の画面が表示され、クラウドの利用開始ができます。

1 **ホーム画面で[ドコモクラウド]→[ドコモ電話帳]**

2 **[連絡先]**

電話帳リストが表示されます。

① **名前**
タップしてプロフィール画面を表示します。サムネイル画像をタップすると、電話発信、SMS送信などができます。

② **検索**
連絡先の検索ができます。

③ **登録→P67**
電話帳を新規登録します。

④ **クラウドへのログイン／ログアウト**

⑤ **サブメニューの表示**
削除、クラウドメニュー、インポート／エクスポート、赤外線送信、設定、ヘルプ、アプリケーション情報表示の操作ができます。

⑥ **インデックス**
インデックスを表示します。五十音順、アルファベット順などで検索ができます。

◆ 電話帳を登録

1 **電話帳リストで[登録]→各項目を設定→[登録完了]**

- クラウドと同期できるのは、docomoアカウントで登録した連絡先データです。
- Googleアカウントを登録している場合は、アカウント欄の［設定］をタップしてGoogleアカウントを選択できます。

✔お知らせ

- 電話の発着信履歴から電話帳を登録することもできます。

◆ 電話帳の編集

1 電話帳リストで連絡先を選択→[編集]→各項目を編集→[登録完了]

◆ 電話帳の削除

1 電話帳リストで削除する連絡先を選択→⋮→[削除]→[OK]

- 電話帳リストで⋮→［削除］をタップすると、連絡先を選択して削除できます。［全選択］にチェック→［決定］→［OK］をタップすると、全件削除できます。

◆ グループの利用

1 電話帳リストで[グループ]

2 [グループ追加]→各項目を設定→[OK]

グループの並べ替え：［並べ替え］→グループリストでグループをタップして上下にスライド→［決定］

グループの編集：グループリストでグループをタップ→［編集］→各項目を設定→［OK］

- グループリストでグループをロングタッチ→［グループ編集］をタップしても編集できます。

グループの削除：グループリストでグループをロングタッチ→［グループ削除］→［OK］

- グループリストで⋮→［グループ削除］をタップすると、グループを選択して削除できます。

✔お知らせ

- docomoアカウントのグループのみ並べ替えができます。

❖ 連絡先のグループ登録

1 電話帳リストで[グループ]

2 グループを選択→[メンバー追加]→追加する連絡先にチェック→[決定]→[OK]

グループ登録の解除：グループを選択→［メンバー削除］→削除する連絡先にチェック→［決定］→［OK］

✔お知らせ

- グループ登録は、docomoアカウントやGoogleアカウントなどで作成された連絡先で設定できます。

◆ プロフィール画面の表示

1 電話帳リストで名前を選択

プロフィール画面が表示されます。

① アカウントアイコン
② 電話帳に設定された画像と名前
③ 登録情報
項目をタップすると電話発信やEメール送信ができます。ロングタッチするとオプションを表示します。

④ **お気に入り**
「お気に入り」に追加されます。
⑤ **電話発信ボタン**
電話を発信できます。

✔お知らせ

- プロフィール画面で⋮をタップすると、赤外線や共有などの操作ができます。
- 「お気に入り」に登録した電話帳を表示するには、電話帳リストで［グループ］→［お気に入り］をタップします。

◆ 電話帳のインポート／エクスポート

1 電話帳リストで⋮→[インポート／エクスポート]→項目を選択

SIMカードからインポート：電話番号、メールアドレスの種別は「その他」としてインポートされます。
SDカードからインポート：指定したアカウントに登録します。ファイルが複数ある場合は、登録するファイルを選択します。
SDカードにエクスポート：「マイプロフィール」を除く電話帳データ（vCardファイル）を、microSDカードに保存します。
表示可能な電話帳を共有：連絡先データを全件送信するためにBluetooth通信やメールなどのアプリを起動します。
※ アプリによっては対応していない場合もあります。

✔お知らせ

- 他の端末との間で電話帳データの全件送受信をしたい場合は、赤外線通信によるインポート／エクスポートをご利用ください。→P162
- 赤外線通信で全件送信しても、相手の端末によっては「マイプロフィール」が受信されない場合があります。
- 本端末からｉモード端末へBluetooth通信で電話帳全件送信を行うと、正常にデータが移行できません。
- ドコモバックアップアプリを使用すると、電話帳やその他のデータをmicroSDカードなどに、一括でバックアップ／復元することができます。→P115

◆ マイプロフィール

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を登録したり編集したりできます。

1 ホーム画面で[ドコモクラウド]→[ドコモ電話帳]

2 [マイプロフィール]→[編集]→各項目を設定→[登録完了]

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。
また、送受信したメールがドコモメールサーバーに保存されるため、端末紛失や機種変更時にも簡単にメールが移行できます。さらにdocomo IDを利用すれば、パソコンやタブレットなどでメールが利用できます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で✉
以降は画面の指示に従って操作してください。

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。
※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス（SMS）」をご覧ください。

◆ SMSを作成して送信

1 ホーム画面で⊞→［メッセージ］

2 ［新規作成］→携帯電話番号を入力

3 ［メッセージを入力］→メッセージを入力→［送信］

✔**お知らせ**

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。
- デフォルトのSMSアプリをハングアウトに切り替えることができます。→P149

◆ SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコン（→P44）が表示されます。通知パネル（→P45）を開いて通知をタップして、新着SMSを確認します。

✔お知らせ

- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、SMSの通知の設定に関わらず着信音やバイブレータが鳴動しない場合があります。
- 本端末のメモリの空き容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリを削除するなどして、メモリの空き容量を増やしてください。→P82、P154

◆ 送受信したSMSの表示

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択

- ［発信］をタップして電話をかけることができます。

◆ SMSに返信

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→[メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

◆ SMSを転送

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[転送]

3 携帯電話番号を入力→[送信]

◆ SMSを削除

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[削除]→[削除]

✔お知らせ

- メッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッドをロングタッチ→［削除］→［削除］をタップします。
- すべてのメッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッド画面で［メニュー］→［すべてのスレッドを削除］→［削除］をタップします。

◆ SMSの設定

1 ホーム画面で▦→[メッセージ]→[メニュー]→[設定]

2 各項目を設定

SMSが有効：デフォルトのSMSアプリを変更します。→P149
古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したら古いメッセージを削除するかを設定します。
テキストメッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
バックアップ：本体とmicroSDカード間でメッセージをコピーします。
受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回要求するかを設定します。
SIMカードのメッセージ：ドコモnanoUIMカードに保存したメッセージを管理します。
通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知するかを設定します。
着信音：メッセージ受信時の着信音を設定します。
バイブレーション：メッセージ受信時に本端末を振動させるかを設定します。
LED：メッセージ受信時のお知らせLEDの色を設定します。
メッセージセンター番号：メッセージセンター番号を設定します。
- 通常は設定を行う必要はありません。

✔お知らせ

- SMSの設定画面で［メニュー］→［初期設定に戻す］をタップすると、お買い上げ時の設定に戻ります。

Eメール

一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ Eメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面で▦→[メール]

2 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→▶→[パスワード]→パスワードを入力→▶

以降は画面の指示に従って操作してください。

✔お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作2で［手動セットアップ］をタップしてアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B（Outbound Port 25 Blocking）：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。
- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、メール一覧画面の左端を右にフリック→［設定］→［アカウントを追加］をタップして操作します。

◆ Eメールを作成して送信

1 ホーム画面で▦→[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面の左端を右にフリック→使用するメールアカウントをタップして切り替えます。

2 [新規]→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、［To］の⌄をタップします。

3 [件名]→件名を入力

4 [メールを作成します]→メッセージを入力

5 [送信]

✔お知らせ

- メールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って操作してください。→P72
- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

◆ Eメールの受信／表示

1 ホーム画面で▦→[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面の左端を右にフリック→受信／表示するメールアカウントをタップして切り替えます。
［統合ビュー］をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在して表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

2 画面を下方向にフリック

受信トレイを更新します。

- 「統合ビュー」を利用している場合は、各メールアカウントの表示に戻して画面を下方向にフリックします。

3 Eメールを選択

✔お知らせ

- アカウントの設定で「同期頻度」（→P74）と「メール着信通知」（→P74）を設定していると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、Eメールが表示されます。

◆ Eメールに返信

1 Eメールを表示

2 ↩✉

全員に返信：⋮→［全員に返信］

3 メッセージを入力→[送信]

◆Eメールを転送

1 Eメールを表示

2 ⋮→[転送]

3 メールアドレス／メッセージを入力→[送信]

◆Eメールを削除

1 Eメールを表示→[削除]

◆Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

❖Eメールの全般の設定

1 ホーム画面で▦→[メール]

2 画面の左端を右にフリック→[設定]

3 [全般設定]→各項目を設定

スワイプして削除：スレッドリスト内のメールをスワイプして削除します。
送信者の画像：スレッドリストの名前の横に画像を表示します。
全員に返信：メールを返信する際に毎回宛先の全員に返信します。
自動表示：メッセージを削除した後に表示する画面を設定します。
画像の許可の取り消し：以前許可した送信者からのインライン画像の表示を［消去］をタップして停止します。
削除前に確認する：削除前に確認画面を表示します。
送信前に確認する：送信前に確認画面を表示します。

❖Eメールのアカウント設定

- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。

〈例〉IMAPのアカウントを設定する

1 ホーム画面で▦→[メール]

2 画面の左端を右にフリック→[設定]

3 IMAPのアカウントを選択→各項目を設定

アカウント名：アカウント名を編集します。
名前：名前を編集します。
署名：署名を登録します。
クイック返信：Eメール作成時に頻繁に挿入する文章を編集します。
同期頻度：受信トレイの同期頻度を設定します。同期頻度の間隔を短く設定すると電池の消費が早くなります。
添付ファイルのダウンロード：Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかを設定します。
メール着信通知：Eメール受信時にステータスバーで通知するかを設定します。
着信音を選択：Eメール受信時の着信音を設定します。
バイブレーション：Eメール受信時に本端末を振動させるかを設定します。
LED：Eメール受信時のお知らせLEDの色を設定します。

受信設定：受信サーバーについて設定します。
送信設定：送信サーバーについて設定します。

✔**お知らせ**

- Eメールのアカウントを削除するには、「アカウントの削除」をご覧ください。→P156

❖Eメールのバックアップ／復元

1 ホーム画面で▦→[メール]
2 画面の左端を右にフリック→[設定]
3 [バックアップ／復元]
4 [microSDへバックアップ]／[本体へ復元]
5 [開始]→[OK]

Gmail

GmailはGoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

- Gmailを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Gmailの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆Gmailの表示

1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]
受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。
   - Gmailの詳細については、画面の左端を右にフリック→［ヘルプとフィードバック］をタップしてヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、Androidバージョンアップ中（ダウンロード中を除く）、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリの空き容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

◆ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーに通知アイコン（→P44）が表示され、内容表示画面が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも鳴動します。鳴動しないように設定できます。→P76

◆ 受信したエリアメールの表示

1 ホーム画面で[アイコン]→[災害用キット]

- 初回起動時は「ご利用にあたって」を確認して、［同意して利用する］をタップします。

2 [緊急速報「エリアメール」]→エリアメールを選択

◆ エリアメールの削除

1 ホーム画面で[アイコン]→[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]

2 削除するエリアメールにチェック→[削除]→[OK]

- すべてを選択するには［すべて選択］をタップします。

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

1 ホーム画面で[アイコン]→[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]

2 ⋮→[設定]

3 各項目を設定

受信設定：エリアメールを受信するかを設定します。
着信音：着信音の鳴動時間とマナーモード時の着信音の動作を設定します。
受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの受信画面と着信音を確認します。

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に傾けて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→P33）して見たい部分を表示します。

■ Webページの拡大／縮小

「拡大縮小設定の上書き」を有効にするとWebページの拡大／縮小ができます。

- 「拡大縮小設定の上書き」を有効にするには、Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→［メニュー］→［設定］→［ユーザー補助］→［拡大縮小設定の上書き］にチェックを付けます。
- 現在表示しているWebページの拡縮率を、Webページを移動したときに引継ぐことができます。Webページを拡大／縮小したときなどに表示されるアイコンをタップして、引継ぎの有効（ ）／無効（ ）を切り替えます。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。
ダブルタップ：拡大します。

- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

1 ホーム画面で

ホームページに設定しているWebページが表示されます。

- 画面を下方向にスライドするとWebページの最上部にアドレスバーが表示され、URLやキーワードを入力することができます。

◆ 新しいブラウザウィンドウを開く

複数のブラウザウィンドウを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→［タブ］

2 ［新しいタブ］

新しいブラウザウィンドウが開き、ホームページに設定しているWebページが表示されます。
切り替え：ブラウザウィンドウを選択
閉じる：ブラウザウィンドウの［×］

◆ シークレットタブでWebサイトを表示

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、Webページを閲覧できます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[タブ]

2 [メニュー]→[新しいシークレットタブ]

シークレットタブでWebページが表示されます。

- アドレスバーにURLやキーワードを入力します。
- シークレットタブで表示中は画面上部にが表示されます。
- シークレットタブを閉じるには、Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→［タブ］→シークレットタブの［×］をタップします。

✔お知らせ

- シークレットタブで開いたWebページは履歴に残りません。シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークに登録したWebページは保存されます。

◆ 履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[メニュー]→[ブックマーク]→[履歴]

- よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、［よく使用］をタップします。

2 Webサイトの履歴を選択

◆ ブックマークを登録してWebサイトを表示

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[メニュー]→[ブックマークを保存]

ブックマークの詳細情報が表示され、ラベル名、追加先などを変更できます。

2 [OK]

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[メニュー]→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

編集：ブックマークをロングタッチ→［編集］→各項目を設定→［OK］

削除：ブックマークをロングタッチ→［削除］→［OK］

◆ Webサイトのリンク操作

Webサイトに表示されているリンクをタップすると、次の操作ができます。

- リンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、リンクの保存やURLのコピーなどができます。

URLの場合：Webサイトを開きます。
電子メールアドレスの場合：メールを作成します。
電話番号の場合：電話番号に発信します。
ファイルの場合：ファイルを閲覧／保存します。

✔お知らせ

- 保存したファイルは、Kingsoft Officeなどで確認できます。

◆ Webサイトに表示されている画像を保存

1 Webサイト表示中に画像を選択(ロングタッチ)→[画像を保存]

- 保存した画像は、ギャラリー（→P107）などで確認できます。

◆ Webサイトの文字列をなぞってコピー

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[メニュー]→[なぞってコピー]

- 画面右下隅のスライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて「なぞってコピー」領域で指を離しても操作できます。

2 文字列を指でなぞる

- 以降の操作は「なぞってコピー」をご覧ください。→P48

◆ Webページを印刷

Wi-Fi対応プリンタやクラウドプリント機能を利用して表示しているWebページを印刷できます。あらかじめプリンタとの接続を設定しておきます。→P169

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[メニュー]→[印刷]

- 以降の操作は「印刷」をご覧ください。→P170

◆ ブラウザの設定

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[メニュー]→[設定]

2 各項目を設定

全般：ブラウザ起動時のホームページ、ダウンロードファイルの保存先について設定します。
プライバシーとセキュリティ：キャッシュやブラウザの履歴の消去、警告画面の表示／非表示、Cookie、フォームデータ、現在地情報について設定します。
ユーザー補助：拡大縮小設定の上書き、テキストのサイズ、最小フォントサイズについて設定します。
高度な設定：検索エンジンの設定、タブのバックグラウンド表示、JavaScriptの設定、1つのアプリに複数のタブを許可、プラグインの設定、ウェブサイト設定、ページコンテンツに関する設定、初期設定リセットについて設定します。

- ページコンテンツの［ページの自動調整］にチェックを付けている場合は、Webページのテキストやその他の要素が画面に合わせて自動的に最適化されて表示されます。
テキストの列をダブルタップすると、そのテキストが画面の幅に収まるように調整されて表示されます。

帯域幅の管理：ウェブページのプリロード、画像の読み込みについて設定します。
Labs：クイックコントロールや全画面の表示について設定します。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

- アプリの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って利用するアプリを選択してください。

✔お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で[dマーケット]

dマーケットのトップ画面が表示されます。

- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。
- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Playストア

Playストアを利用してGoogle Playのサイトへ接続すると、便利なアプリや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Playを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Playストアの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- Google Playの詳細については、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→［ヘルプとフィードバック］をタップしてヘルプをご覧ください。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ アプリのインストール

1 ホーム画面で［Playストア］

Google Play画面が表示されます。

2 アプリを検索→アプリを選択

3 ［インストール］（無料アプリの場合）／［金額］（有料アプリの場合）

- アプリによって表示される内容は異なります。
- アプリが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリにはご注意ください。この画面で［同意する］をタップすると、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うことになります。
  有料アプリの場合、支払方法を設定していないときは［次へ］をタップして支払方法を設定し、最後に［同意する］をタップします。
- 有料アプリの購入時はGoogleウォレットを利用できます。画面の指示に従って支払方法を設定してください。
  アプリの購入後、規定の時間内であれば返金を要求することができます（各アプリにつき1回のみ有効）。
  アプリ購入時の請求やキャンセルなどの詳細は、ヘルプをご覧ください。→P81

4 ダウンロードの進捗状況を確認

インストールが完了すると、ステータスバーに☑が表示されます。

✔お知らせ

- アプリのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ホーム画面またはアプリ一覧画面にインストールしたアプリのアイコンが表示されます。
- インストールしたユーザー補助アプリは、ユーザー補助から有効にすることができます。→P157

◆ Google Playのアプリの削除

1 Google Play画面で画面の左端を右にフリック→［マイアプリ］

2 アプリを選択

3 ［アンインストール］→［OK］

- 有料アプリで［払い戻し］が表示されない場合、試用期間が終了しています。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントなどをICカード内、ドコモnanoUIMカード内に保存することができます。
また、電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができますし、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時の対策になります。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ※1およびドコモnanoUIMカード内データ※2が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
  ※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ
  ※2 ドコモnanoUIMカードに保存されたデータ
- 機種変更前のドコモnanoUIMカードを引き続き使う場合でも、ドコモnanoUIMカード内データを利用するおサイフケータイ対応サービスの利用には、おサイフケータイ対応サービス提供者のアプリのインストールおよび設定が必要です。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データおよびドコモnanoUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

◆「おサイフケータイ対応サービス」の利用

1 ホーム画面で[アプリ]→［おサイフケータイ］

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行ってください。

2 サービスを選択

3 サービスに関する設定を行う

- サービスのサイトまたはアプリから必要な設定を行います。

4 マークを読み取り機にかざす

✔お知らせ

- おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。
- 非常用節電モード中は、一部のおサイフケータイ対応サービスがご利用いただけません。→P34
- インストールしているおサイフケータイ対応のアプリやその設定状態によっては、画面ロック中や画面消灯中、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆「かざしてリンク対応サービス」の利用

1 ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[NFC／おサイフケータイ 設定]

- NFC／おサイフケータイ ロック設定のパスワード設定画面が表示された場合は、画面の指示に従ってパスワードを設定してください。
- ［NFC／おサイフケータイ ロック］にチェックが付いている場合は、チェックを外します。

2 [Reader／Writer,P2P]にチェック

3 NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどにマークをかざす

- 「ソフトウェア利用許諾契約書」が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- このほかにもAndroidビームを利用した端末同士の情報交換ができます。→P166

❖NFC／おサイフケータイ タイプ設定

利用するNFC Typeを選択します。

1 ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[NFC／おサイフケータイ 設定]

2 [NFC Type設定]→[FeliCa / Type A / Type B(標準)]／[FeliCa / Type A]／[FeliCa / Type B]

◆ タップ&ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効・無効の設定ができます。

- タップ&ペイの詳細については、タップ&ペイ画面で［メニュー］→［ヘルプ］をタップしてヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で→［おサイフケータイ］→→［クレジットカード等設定変更］

タップ&ペイ画面が表示されます。

✔お知らせ

- 非常用節電モードの設定／解除を行うと、おサイフケータイ対応サービスの有効・無効設定が変更される場合があります。
  非常用節電モードの設定／解除後に、おサイフケータイ対応サービスをご利用される場合はタップ&ペイでの設定を確認の上、読み取り機にかざしてください。→P34

◆ 対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。

- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。→P84
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

◆ おサイフケータイの機能をロック

ロックして、おサイフケータイのサービスや読み取り機からのデータの取得を利用できないようにします。

- おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で→［おサイフケータイ］

2 ［ロック設定］

- NFC／おサイフケータイ ロック設定のパスワード設定画面が表示された場合は、画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

3 ［NFC／おサイフケータイ ロック］→認証操作

虹彩認証の利用：［虹彩認証を利用する］→認証操作

- 虹彩認証を利用するには、あらかじめセキュリティ解除方法の虹彩認証の設定が必要です。→P138

✔お知らせ

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーにまたはが表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイのロックパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。
- NFC／おサイフケータイ ロックの解除は、NFC／おサイフケータイ ロックの設定を行った際に取り付けていたドコモnanoUIMカードを本端末に取り付けた状態で行ってください。

❖ロックの解除

1 **ホーム画面で▦→［おサイフケータイ］**

2 **［ロック設定］**

3 **［NFC／おサイフケータイ ロック］→認証操作**

◆ iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は2種類まで登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（http://id-credit.com/）をご覧ください。

◆ トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メール、ウェブダウンロード、Bluetooth機能、ICタグなどさまざまな方法で取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

✔お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- Bluetooth機能でトルカを取得する際には、トルカアプリのBluetooth機能をONにする必要があります。
- ICタグからトルカを取得する際には、本端末の「Reader／Writer,P2P」にチェックを付ける必要があります。→P166
- コンテンツ提供者の設定によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。
  更新、トルカの共有、地図表示、読み取り機からの取得
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

モバキャス

モバキャスは、スマートフォン向けの放送サービスです。番組をリアルタイムに視聴できるリアルタイム型放送、映画やドラマだけでなく、音楽・雑誌・アプリなどのコンテンツをいつでもどこでも楽しむことができる蓄積型放送の2つの視聴スタイルが楽しめます。また、端末の通信機能を利用したソーシャルサービスとの連携など、今までにない放送サービスを楽しめます。

- モバキャスサービス「NOTTV」の詳細については、NOTTVのホームページをご覧ください。
  NOTTV http://www.nottv.jp/
- 「NOTTV」は株式会社mmbiが提供するモバキャスサービスおよび、他のモバキャス放送局が提供するモバキャスサービスの総称です。
- NOTTVには、リアルタイム型放送で番組を楽しむ「リアルタイム」と、蓄積型放送を利用した「シフトタイム」「NOTTVブックス」のサービスがあります。

■ モバキャスのご利用にあたって

- モバキャスのご利用には別途モバキャス放送局との有料放送受信契約が必要になります。
- 本端末にドコモnanoUIMカードが入っていない場合は放送の受信・視聴ができません。
- モバキャスは日本国内で提供される放送サービスです。
- 蓄積型放送や録画のご利用には本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量が必要です。Class4以上のmicroSDカードのご利用をおすすめします（設定でストレージ選択が可能です）。

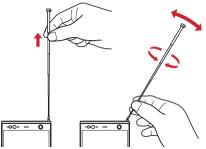
■ 放送電波・受信エリアについて

モバキャスは、XiサービスおよびFOMAサービス、フルセグ／ワンセグとは異なる電波を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、モバキャスの放送電波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

- モバキャス放送エリア内であっても、次のような場所などでは、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
  - 放送電波が送信される基地局から離れている場所
  - 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
  - トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
- TV／FMトランスミッタアンテナを十分に伸ばしてください。TV／FMトランスミッタアンテナの向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。

■ TV／FMトランスミッタアンテナについて

モバキャスやテレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴するときは、TV／FMトランスミッタアンテナが放送電波を受信します。

- TV／FMトランスミッタアンテナを引き出すときは、最後までしっかりと引き出してください。
- TV／FMトランスミッタアンテナの方向を変えるときはTV／FMトランスミッタアンテナの根元近くを持って行います。無理に力を加えないでください。

- TV／FMトランスミッタアンテナを収納するときはTV／FMトランスミッタアンテナの根元を持って止まるまで入れます。先端を持って収納しないでください。

◆ モバキャス視聴

❖リアルタイム

1 ホーム画面で[NOTTV]

NOTTVのホーム画面が表示されます。

2 ホーム画面に表示されているチャンネル／番組のサムネイルをタップ

- 放送中の画面を左右にフリックしてチャンネルを選局できます。
- 端末の自動回転が有効になっている状態で本端末を横にする、またはアプリ上部の横画面表示ボタンを押すと横画面表示に切り替わります。
- 放送中の画面をタップすると［詳細情報］ボタンが表示されます。［詳細情報］ボタンをタップすると番組の詳細が表示されます。

❖シフトタイム／NOTTVブックス

1 NOTTVのホーム画面で[シフトタイム]／[NOTTVブックス]

- 「NOTTVブックス」コンテンツの利用には、ビューアアプリ「NOTTVブックス」が必要です。
- コンテンツには利用期限があります。また、コンテンツにより利用期限が異なります。利用期限を過ぎたコンテンツは自動的に本体メモリまたはmicroSDカードから削除されます。
- 利用可能なコンテンツやコンテンツの配信予定がない場合、［シフトタイム］［NOTTVブックス］のアイコンは表示されません。

2 画面に表示されているコンテンツのサムネイルをタップ

◆ 番組／コンテンツの検索

番組／コンテンツをアプリ内でさまざまな方法で探すことができます。

❖番組表から検索（リアルタイム）

1 NOTTVのホーム画面で[番組表]

現在放送中の番組を選択すると番組が切り替わります。

❖条件を指定して検索

1 NOTTVのホーム画面で[メニュー]

2 キーワードを入力して検索、または「番組・コンテンツ一覧」からジャンルやチャンネルをタップ

■ 検索後に、入力したキーワードを登録する（キーワード予約）

キーワードを登録すると、関連する番組／コンテンツを自動で視聴予約／録画予約または受信予約します。

◆ 番組／コンテンツの予約

❖番組表からの視聴予約／録画予約（リアルタイム）

1 NOTTVのホーム画面で[番組表]

2 視聴予約／録画予約する番組をタップ

番組の詳細情報が表示されます。

3 [視聴予約する]／[録画予約する]

4 1回だけ視聴予約／録画予約する場合は[1回のみ予約する]、シリーズ(毎回)で視聴予約／録画予約をする場合は[シリーズ予約する]

✔お知らせ

- 番組の放送時間に本端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外など電波受信状況がよくない、microSDカード未挿入、本体メモリやmicroSDカードの容量不足などの場合は、番組が視聴・録画できないことがあります。
- 本体メモリまたはmicroSDカードに録画された番組はご利用中の端末とドコモnanoUIMカードでのみ視聴できます。
- 番組によっては録画ができない場合があります。
- チャンネルによっては「シリーズ予約」ができない場合があります。「キーワード予約」（→P89）をご利用ください。

❖予定表からの受信予約（シフトタイム／NOTTVブックス）

1 NOTTVのホーム画面で［シフトタイム］／［NOTTVブックス］

2 ［予定表］

今後放送されるコンテンツの一覧が表示されます。

3 予約したいコンテンツをタップ

コンテンツの詳細画面が表示されます。

4 ［予約する］

5 1回だけ視聴予約／録画予約する場合は［1回のみ予約する］、シリーズ（毎回）で視聴予約／録画予約をする場合は［シリーズ予約する］

✔お知らせ

- NOTTVでは、お客様におすすめするシフトタイム／NOTTVブックスコンテンツを自動予約しています（自動予約）。
- コンテンツの放送時間に本端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外など電波受信状況がよくない、本体メモリやmicroSDカードの容量不足、microSDカード未挿入などの場合は、コンテンツが受信できないことがあります。
- 放送受信環境などの理由によりコンテンツが完全に受信できなかった際に、自動的にパケット通信にてデータを補完する場合があります（自動補完）。

◆モバキャスの各種設定

1 NOTTVのホーム画面で［メニュー］→［設定］

2 各項目を設定

音声・字幕

音声切替：音声言語と主音声・副音声について設定します。

字幕表示切替：字幕表示について設定します。

バックグラウンド再生：アプリの画面を閉じた後もバックグラウンドで再生を継続するかを設定します。

コンテンツ受信

自動予約：おすすめのコンテンツを自動で受信予約します。

自動補完：放送で受信できなかったデータを通信で自動的に補完します。

番組表

番組表情報自動取得：番組表の情報を自動で取得する時間を設定します。

ステータスバー

新着情報表示：録画／受信予約した番組・コンテンツに関する新着情報をステータスバーに表示します。

おすすめ表示：放送局からのおすすめ情報をステータスバーに表示します。

おすすめ設定：おすすめに利用する性別・年齢・好きなジャンルの設定を変更します。

ペアレンタルコントロール

視聴年齢制限：視聴年齢制限のある番組を視聴できないように設定します。

年齢設定：制限する年齢を設定します。

パスワード変更：視聴年齢制限や年齢設定を設定するためのパスワードを変更します。

ソーシャル
Twitter連携解除：Twitter連携を解除します。
詳細設定
視聴可能チャンネル優先表示：リアルタイム（放送中）や番組表で、契約されているチャンネルを優先的に表示します。
ラストカテゴリ設定：アプリ開始時のホーム画面を前回アプリ終了時に閲覧していたカテゴリにします。
チューナ起動：アプリ起動時など、自動的にリアルタイム番組表示を行います。
表示形式変更：番組・コンテンツの表示形式を変更できます。
- 次回のアプリ起動以降に反映されます。

重複録画防止：シリーズ・キーワード予約を行う際、同じ番組の録画を防止します。
重複録画削除サポート：録画番組の削除時、同一番組が重複して録画されていないかチェックします。
ロック画面通知：予約した番組の録画開始時に通知を行います。
ストレージ選択：シフトタイムの番組／コンテンツの一時保存先や録画データの保存先を［本体］／［SDカード］から選択できます。保存先を変更した場合は、データの移行処理が行われます。
ログ送信：アプリ利用に関するログを自動的にサーバーへ送付します。
文字スーパー：地震速報などの文字スーパー表示を行います。

❖ブラウザの設定

1 NOTTVのホーム画面で［メニュー］→［その他］→［ブラウザ］

2 各項目を設定

Cookie：Cookieの保存を許可するかを設定します。
Cookieを削除：保存されているCookieを削除します。
放送用保存領域消去：放送受信データの保存領域を消去します。
データ放送表示：視聴画面のデータ放送領域を表示するかを設定します。
再読込：動画以外のデータ情報（番組の詳細情報など）が含まれているシフトタイムコンテンツの再生時に、コンテンツを再読込します。
文字コード変換：動画以外のデータ情報（番組の詳細情報など）が含まれているシフトタイムコンテンツの再生時に、文字コードをJISやUTF-8などに変換します。

テレビ（フルセグ／ワンセグ）

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリです。また、映像・音声と共にデータ放送を受信することができ、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。
フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。
ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを視聴できます。

- 「フルセグ／ワンセグ」サービスの詳細については、次のホームページでご確認ください。
  一般社団法人　デジタル放送推進協会
  http://www.dpa.or.jp/

◆ フルセグ／ワンセグのご利用にあたって

- フルセグ／ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- テレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴するときは、TV／FMトランスミッタアンテナを十分に伸ばしてください。→P88
- データ放送領域に表示される情報は、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
  「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

◆ 放送波について

フルセグ／ワンセグは、放送サービスの1つであり、Xiサービスおよび FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

TV／FMトランスミッタアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。→P88

◆ テレビの起動

1 ホーム画面で▦→[テレビ]

テレビ視聴画面が表示されます。

- 初回起動時は、ソフトウェア製品使用許諾契約書を確認して［同意する］をタップし、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→P99
- お買い上げ時のフルセグ／ワンセグの視聴モードは、［自動で切替］に設定されています。テレビ視聴画面でテレビ視聴エリア（→P94）をタップ→⇄をタップするか、⋮→［ワンセグフルセグ切替］をタップすると、視聴モードを切り替えることができます。
  ［自動で切替］に設定中は、電波受信状況によりフルセグ／ワンセグが自動的に切り替わります。
  視聴モードは、画面上部のチャンネル情報エリアで確認できます。

テレビの終了：⋮→［テレビ終了］

- ◁（バック）を2回タップしても、テレビを終了できます。

✔お知らせ

- 起動時に最低限必要な電池残量は10%、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は5%です（充電中は電池残量に関わらず、起動や動作の継続ができます）。
- テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 受信状態によって映像や音声が途切れたり、停止したりする場合があります。
- テレビ視聴時にホーム画面に戻った場合やスリープモードになった場合などには、テレビの音声出力が続きます。テレビのバックグラウンド再生を終了するにはテレビ視聴画面に戻り、◁（バック）を2回タップするか、⋮→［テレビ終了］をタップしてください。
- ［動画補正］にチェックを付けると、ワンセグ視聴時に動画補正エンジンを使用して視聴できます。→P122
- テレビ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、視聴中にスクリーンショットやキャプメモは実行できません。

❖テレビ視聴画面について

テレビ視聴画面

① チャンネル情報エリア

- 番組名、視聴モード（フルセグ／ワンセグ）、チャンネル名、メニューアイコンが表示されます。フルセグの場合、右側には次のアイコンが表示されます。
  ⓓ（データ）：データ放送を表示

- フルセグ視聴時にⓓ（データ）をタップしてデータ放送を表示した場合は、をタップしてリモコンを表示すると、操作アイコンでデータ放送内の操作ができます。
- 横画面ではテレビ視聴エリアをタップすると表示されます。右側には次のアイコンが表示されます。
  ⓓ（データ）：データ放送を表示（フルセグのみ）
  （リモコン）：リモコンを表示（フルセグのみ）
  CH（チャンネル）：チャンネル一覧を表示

② テレビ視聴エリア

- 左右にフリックするとチャンネルを切り替えられます。

③ コントロールバー

- アイコンをタップするとアイコンが青色になり、操作パネルエリアの表示が切り替わります。
  ：リモコンを表示（フルセグのみ）
  ⓓ：データ放送を表示（ワンセグのみ）
  CH：チャンネル一覧を表示
  ：番組表を表示
  ：録画した番組の一覧を表示
  ：Webブラウザーを表示

④ 操作パネルエリア

- 表示内容はコントロールバーの各アイコンをタップすると切り替わります。
- ワンセグ視聴時にコントロールバーのⓓをタップしてデータ放送を表示すると、操作パネルエリア下部に表示される操作アイコンでデータ放送内の操作ができます。

⑤ ナビゲーションバー

⑥ コントローラー

- テレビ視聴エリアをタップすると表示されます。
  ／：録画開始／停止
  ：視聴モードを切り替え（自動で切替／ワンセグを受信／フルセグを受信）
  <CH／CH>：チャンネルを切り替え（ロングタッチでチャンネルサーチ）
  チャンネルサーチで未登録の放送局が見つかったときは、→［チャンネル設定］→［チャンネル個別登録］→空きチャンネルをタップすると、チャンネルリストに追加できます。
  ／：音声オフ／オン（ロングタッチで音量調節バーを表示）
- ［コントローラー表示位置］でコントローラーの表示位置を変更できます。→P98

✔お知らせ

- テレビ視聴画面で音量キーを押しても、音量を調節できます。
- 本端末の向きに合わせて縦画面と横画面に切り替わりますが、→［画面の自動回転OFF］をタップすると、表示していた縦画面／横画面の向きで固定できます。
- 横画面では全画面表示となります。画面をタップするとチャンネル情報エリア、コントローラー、ナビゲーションバーが表示されます。

◆ テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

❖テレビリンクの登録

1 **データ放送領域でテレビリンク登録可能な項目を選択→[常にはい]／[はい]**

- データ放送確認画面が表示された場合は［OK］をタップします。
- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

❖テレビリンクの表示

1 **テレビ視聴画面で⋮→[TVリンク]→テレビリンクを選択→[接続]**

登録されたサイトに接続します。

❖テレビリンクの削除

1 **テレビ視聴画面で⋮→[TVリンク]**

2 **テレビリンクをロングタッチ→🗑→[OK]**

テレビリンクをすべて削除：テレビリンクをロングタッチ→◢→［すべて選択］→🗑→［OK］

テレビリンクを選択削除：テレビリンクをロングタッチ→削除するテレビリンクをタップして複数選択→🗑→［OK］

◆ Webブラウザーの利用

テレビを視聴しながらWebブラウザーを起動できます。

1 **テレビ視聴画面で🌐→[OK]**

操作パネルエリアにWebブラウザー画面が表示されます。

- 操作パネルエリア下部に表示される操作アイコンでWebブラウザーの操作ができます。

✔**お知らせ**

- テレビを視聴しながらWebブラウザーを起動している場合は、一部機能が動作しないことがあります。

◆ 視聴予約／録画予約

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

1 **テレビ視聴画面で⋮→[予約一覧]**

予約一覧が表示されます。

2 **[予約]→[Gガイドから予約]／[手動で予約]**

- ［Gガイドから予約］を選択した場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 **各項目を設定→[完了]**

✔お知らせ

- 録画予約した時刻が近づくと、ステータスバーにと録画予約の予告通知が表示され、「アラーム設定」(→P98) で設定した時間に従って、アラーム音や振動でお知らせします。
- 予約した時刻に電源を切っている場合は、予約を実行できません。ただし、予約した時刻内に電源を入れた場合は、録画が開始されます。
- 手動で録画を行っている際に別の予約録画の開始時刻になった場合は、現在の録画を終了して予約録画を開始します。
- 操作2で [Gガイドから予約] を選択したときにアプリの更新画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❖予約内容の確認

予約内容の確認をします。

1 テレビ視聴画面で→[予約一覧]

予約一覧が表示されます。

2 予約項目をタップ

- 予約一覧画面で予約をロングタッチ→をタップすると、予約内容を編集できます。
- 予約一覧画面で予約をロングタッチ→→ [OK] をタップすると予約を1件削除できます。
- 予約一覧画面で予約をロングタッチ→削除する予約をタップして複数選択→→ [OK] をタップすると選択削除できます。
- 予約一覧画面で予約をロングタッチ→→ [すべて選択] →→ [OK] をタップすると予約を全件削除できます。

❖録画予約結果の確認

録画予約の結果を確認します。

1 テレビ視聴画面で→[予約一覧]→[視聴/録画予約]→[録画予約結果]

録画予約結果一覧が表示されます。

2 録画予約結果項目をタップ

- 録画予約結果一覧画面で録画予約結果をロングタッチ→→ [OK] をタップすると録画予約結果を1件削除できます。
- 録画予約結果一覧画面で録画予約結果をロングタッチ→削除する録画予約結果をタップして複数選択→→ [OK] をタップすると選択削除できます。
- 録画予約結果一覧画面で録画予約結果をロングタッチ→→ [すべて選択] →→ [OK] をタップすると録画予約結果を全件削除します。

◆ 番組の録画

テレビ視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画します。
録画できる件数はフルセグ・ワンセグともに99件までとなります。

- 録画したテレビ番組の保存先は、[録画設定] で変更できます。→P98

1 テレビ視聴画面でテレビ視聴エリアをタップ

コントローラーが表示されます。

2 ●(録画開始)→録画時間を選択

録画を開始します。

- ［指定しない］を選択した場合、または指定した録画時間の前に録画を停止する場合は、操作3に進みます。

3 テレビ視聴画面でテレビ視聴エリアをタップ

4 ■(録画終了)→［OK］

録画を終了します。

✔お知らせ

- 録画するテレビ番組をmicroSDカードに保存する場合は、あらかじめ本端末でフォーマットしたmicroSDカードを使用してください。→P155
- 録画を開始するのに必要な本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量は、フルセグの場合は160MB以上、ワンセグの場合は4MB以上です。また、必要な電池残量は20%以上です（充電中は電池残量に関わらず、録画の開始ができます）。
- フルセグ／ワンセグの録画中に次の状態になると、録画が自動で停止します。
  - 本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量がフルセグは10MB以下、ワンセグは1MB以下
  - 電池残量が10%未満
  - ワンセグの録画容量が2GB（約640分）
- 録画したテレビ番組は、著作権保護が設定されているデータとして保存されます。メールに添付することはできません。
- 録画時間が極端に短い（10秒未満）場合は、録画停止できません。
- 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- 録画中は、チャンネルの切り替えや、フルセグ／ワンセグの視聴モードの切り替えはできません。
- 録画とMTP転送など、負荷が大きな機能を同時に使用すると、正常に録画できない場合があります。
- 録画中にデータ通信サービスを行うと、テレビの受信状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了することがあります。

❖録画番組の再生

1 テレビ視聴画面で⋮→［録画一覧］

録画一覧が表示されます。

2 データを選択

再生画面が表示されます。

- 前回途中で再生を終了した場合は、続きから再生されます。
- 再生画面をタップして、再生コントローラーを表示します。

  ◀：5秒戻し
  ◀◀：早戻し（タップするごとに2倍早戻し／10倍早戻しに切り替え）
  ❚❚／▶：一時停止／再生
  ▶▶：早送り（タップするごとに2倍早送り／10倍早送りに切り替え）
  ▶：15秒送り
  🔈／🔇：音声オフ／音声オン（ロングタッチで音量調節バーを表示）

✔お知らせ

- 録画一覧画面でデータをロングタッチ→︙をタップすると、番組詳細の表示、タイトル名の変更、microSDカードへのコピー／移動（本体メモリに録画したテレビ番組の場合）ができます。
- 録画一覧画面でデータをロングタッチ→🗑→［OK］をタップするとデータを1件削除できます。
- 録画一覧画面でデータをロングタッチ→削除するデータをタップして複数選択→🗑→［OK］をタップすると選択削除できます。
- 録画一覧画面でデータをロングタッチ→◢→［すべて選択］→🗑→［OK］をタップするとデータを全件削除できます。
- 本端末に録画したダビング10対応のワンセグ番組は9回までコピー可能です。フルセグ番組はコピーできません。

◆ テレビの各種設定

1 テレビ視聴画面で︙→［設定］

2 各項目を設定

コントローラー表示位置：コントローラーをテレビ視聴エリアの左右どちらに表示するかを設定します。
ワンセグ／フルセグ受信設定：フルセグとワンセグの両方を受信するか、電池の消費を抑えてワンセグだけを受信するかを設定します。
文字スーパー設定：フルセグの文字スーパーの表示／非表示と言語を設定します。
データ放送設定：データ放送を表示したときの各種設定（通信接続時の確認／位置情報設定／製造番号の利用／利用地域設定／放送局メモリ初期化）を行います。
アラーム設定：予約番組の開始時のアラーム音量やアラーム時間、バイブレーションなどを設定します。
オフタイマー設定：テレビをオフにするまでの時間（OFF／15分／30分／60分／90分／120分）を設定します。
Webブラウザー設定：アプリ内のWebブラウザーでキャッシュしたコンテンツをすべて削除します。
録画設定：録画したテレビ番組の保存先と、フルセグの録画時にデータ放送も合わせて録画するかを設定します。
CAS情報の初期化：フルセグの受信で記録された情報を初期化します。
製品情報：アプリのバージョンを表示します。

❖映像／音声／字幕の設定

1 テレビ視聴画面で︙→［映像／音声／字幕設定］

2 各項目を設定

音声多重切替：［主音声］／［副音声］／［主＋副音声］から、どの音声で聞くかを設定します。
字幕切替：字幕の表示を、［表示しない］／［言語1］／［言語2］から選択します。

◆ チャンネル設定

❖チャンネルリストの作成

1 テレビ視聴画面で⋮→[チャンネル設定]→[チャンネルリスト編集]→[作成]

2 [地域を選んで作成]／[チャンネルを探して作成]

地域を選んで作成：表示される地域や都道府県などを選択して、地域ごとに割り当てられているチャンネルに加え、現在地で受信可能な放送局をスキャンしてチャンネルリストを作成します。
チャンネルを探して作成：現在地で受信可能な放送局をスキャンしてチャンネルリストを作成します。

3 [完了]

❖チャンネルリストの切り替え

1 テレビ視聴画面で⋮→[チャンネル設定]→[チャンネルリスト切替]→チャンネルリストを選択

❖チャンネルリストの削除

1 テレビ視聴画面で⋮→[チャンネル設定]→[チャンネルリスト編集]

2 チャンネルリストをロングタッチ→🗑→[OK]

❖チャンネルボタンの割り当てを変更

1 テレビ視聴画面で⋮→[チャンネル設定]→[チャンネルリスト編集]

2 チャンネルリストを選択→変更するチャンネルをタップ

3 入れ替える放送局名をタップ→[完了]

カメラ

◆ 撮影時の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 本端末の電池残量が少なくなると、フラッシュの光量が制限される場合があります。
- 本端末では、マナーモード、音量の設定に関わらず、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音とキャプメモ／なぞってコピーのキャプチャ音が鳴ります。
- 待機中に約2分間操作をしないとカメラは終了し、ステータスバーにが表示されます。
- 被写体との距離を約10cm以上にすると、オートフォーカスでシーン別の撮影モードにより自動的にピントを合わせます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆ 撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

① **フラッシュアイコン**
- フラッシュの設定を示すアイコンが表示されます。→P104

② **位置情報アイコン**
- 位置情報を付加するように設定しているときに表示されます。→P104

③ **顔検出枠**
- 顔が検出されない場合は、画面の中央に自動的にフォーカスを合わせてフォーカス枠を表示します。

④ **メニューアイコン**
- 動画の録画中は表示されません。

⑤ **直前に撮影した静止画／動画**
- 撮影後、一定時間表示されます。タップすると直前に撮影した静止画や動画を確認できます。

⑥ **シャッターボタン**

⑦ **録画開始ボタン**

✔お知らせ
- カメラの起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、［いいえ］／［切り替え］をタップします。

◆ 静止画撮影

1 ホーム画面で［カメラ］

静止画撮影画面が表示されます。

2 撮影画面に被写体を表示→

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
- 音量キーの下を押しても、静止画を撮影できます。

■ 静止画撮影画面の主な操作

ズーム：画面をピンチイン／ピンチアウト
- ピンチイン／ピンチアウトするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：［MENU］→［カメラ切替］

撮影した静止画の表示：画面を左へフリック
- ギャラリー（→P107）が表示され、静止画の移動／コピーや編集などの操作ができます。
- ピンチインしてフィルムストリップ表示にすると、静止画を下へフリックして削除できます。

◆ 連写撮影

最大100枚までの連写撮影ができます。

- 連写撮影モードは、インカメラでの撮影やHDR撮影、フラッシュやセルフタイマーの設定には対応していません。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[連写]

連写撮影画面が表示されます。

3 撮影画面に被写体を表示→をロングタッチ

を押している間は連写・保存し続けます。から指を離すと連写が終了します。

- 音量キーの下を押したままにしても、連写撮影ができます。

■ 連写撮影画面の主な操作

ズーム：画面をピンチイン／ピンチアウト

- ピンチイン／ピンチアウトするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。

撮影した静止画の表示：画面を左へフリック

- ギャラリー（→P107）が表示され、静止画の移動／コピーや編集などの操作ができます。
- 静止画を下へフリックして削除できます。

✔お知らせ

- 保存先の空き容量が足りなくなると、連写は停止します。
- 連写撮影モードでは、撮影サイズ（画面ぴったり 2560×1440／SNS 2048×1536／ケータイメール 640×480）、位置情報、保存先、タッチ シャッター、グリッド表示を設定できます。→P104

◆ パノラマ撮影

カメラを左右にゆっくりと動かすことで、パノラマ写真を撮影できます。

- インカメラでのパノラマ撮影はできません。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[パノラマ]

3 撮影画面に被写体を表示→（開始）

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの下を押しても、撮影を開始できます。
- 撮影時にカメラを動かす速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラを動かします。

4 （完了）

撮影停止音が鳴り、撮影が停止してパノラマ画像が保存されます。

- 音量キーの下を押しても、撮影を停止できます。
- カメラを動かし続けて撮影が終了した場合は、撮影停止音は鳴りません。

■ パノラマ撮影画面の主な操作

撮影した静止画の表示：画面を左へフリック

- ギャラリー（→P107）が表示され、静止画の移動／コピーや編集などの操作ができます。
- ピンチインしてフィルムストリップ表示にすると、静止画を下へフリックして削除できます。

パノラマ撮影画面を閉じる：[戻る]

- パノラマ撮影に設定する前の撮影モードに戻ります。

◆ 静止画のオート撮影機能

次の静止画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して撮影できます。

- 手ぶれ補正機能は常にONの状態です。

■ おまかせオートフォーカス

被写体との距離が約10cm以上あれば、カメラを向けるだけで自動的にピントを合わせます。

- 被写体に人物が入っている場合は、顔の検出枠が優先的に表示され、ピントを合わせます。

■ タッチオートフォーカス

撮影画面の被写体にタップして自動的にピントを合わせます。［タッチ シャッター］をONに設定している場合はピントが合うと、オートフォーカスロック音とシャッター音が鳴り撮影します。

■ ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

■ シーン別撮影

被写体や状況に合わせたシーンを自動的に認識して、最適なシーン種別へ切り替えて撮影できます。

- 撮影画面にQRコードを表示させた場合は、QRコードを読み取って結果を表示します。

■ 自動露出調整

撮影時に、まわりの明るさに応じて露出を自動的に調整します。オートフォーカスの顔検出枠が表示された場合は、顔の明るさで固定されます。明るさを優先させたい被写体がある場合に画面の被写体をタップして固定すると、顔検出されていても被写体の明るさを優先できます。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆ 静止画の撮影設定

静止画撮影画面に表示されている［MENU］をタップして、撮影時の次の設定を変更できます。

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- インカメラでは設定できない項目があります。
- ホーム画面、アプリ一覧画面以外からカメラを起動した場合、設定できない項目があります。

■ 撮影モード

静止画／連写／動画／パノラマ／QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ カメラ切替

アウトカメラ／インカメラを切り替えます。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

- 撮影サイズを［SNS 2048×1536］よりも大きいサイズに設定していた場合、電話帳など他のアプリからカメラを連携して起動すると、［SNS 2048×1536］サイズへ自動的に変更されます。

■ フラッシュ

フラッシュの設定を、オートで点灯（ ）／点灯する（ ）／点灯しない（ ）から選択できます。オートで点灯に設定すると、暗い場所と判断された場合に自動的にフラッシュが点灯します。

- 点灯する（ ）の場合は、静止画撮影画面にアイコンが常時表示されます。オートで点灯（ ）または点灯しない（ ）の場合は、暗い場所と判断されたとき静止画撮影画面にアイコンが表示されます。表示されたアイコンをタップすると設定を変更できます。
- 「連写」や「HDR撮影」を設定した場合はフラッシュを設定できません。また、夜景のシーンによっては、点灯しない場合があります。

■ HDR撮影

撮影時に露光時間が異なる（長時間露光と短時間露光）2枚の画像を撮影して、白飛びや黒つぶれを抑えた静止画を作成します。

- 本端末はリアルタイムHDRを搭載しているので、撮影中に撮影画面でHDR合成後の状態が確認できます。

■ セルフタイマー

シャッター操作をしてから2秒後（2）、5秒後（5）に撮影されるように設定できます。

■ その他

位置情報：撮影した画像に位置情報を付加するように設定します。位置情報を付加するように設定した場合、位置情報を取得中（未取得）は 、取得すると のアイコンが撮影画面に表示されます。

保存先：撮影データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます（連写撮影中は除く）。

タッチ シャッター：撮影画面の被写体にタップして、ピントが合うとオートフォーカスロック音とシャッター音が鳴り撮影するように設定します。

- 連写モードの場合は1枚だけ撮影します。

グリッド表示：写真の構図を決める補助として、撮影画面の補助線（グリッド）の表示を設定します。

◆ 動画撮影

1 ホーム画面で［カメラ］

2 ［MENU］→［動画］

動画撮影画面が表示されます。

3 撮影画面に被写体を表示→ （開始）

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの下を押しても、撮影を開始できます。
- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

4 (停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

- 音量キーの下を押しても、撮影を停止できます。
- 保存先の空き容量が足りなくなった場合、または録画データが最大ファイルサイズ（4GB）になった場合には録画が停止します。また録画中に電話の着信があった場合、録画は停止します。

■ 動画撮影画面の主な操作

録画中の静止画撮影：録画中に表示されるをタップ

- 録画中の静止画撮影では、シャッター音は鳴りません。

ズーム：画面をピンチイン／ピンチアウト

- ピンチイン／ピンチアウトするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。
- 録画中もズーム機能を利用できます。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：[MENU] → [カメラ切替]

撮影した動画の再生：画面を左へフリック

- ギャラリー（→P107）が表示され、動画の移動／コピーなどの操作ができます。
- ピンチインしてフィルムストリップ表示にすると、動画を下へフリックして削除できます。
- をタップすると再生できます。

◆ 動画のオート撮影機能

次の動画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して録画できます。

- 録画音声は常にONの状態です。

■ オートフォーカス

録画前や録画中に画面中央にピント合わせを行います。

■ ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで録画できるように自動的に調整します。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆ 動画の撮影設定

動画撮影画面に表示されている［MENU］をタップして、撮影時の次の設定を変更できます。

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- インカメラでは設定できない項目があります。

■ 撮影モード

静止画／連写／動画／パノラマ／QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ カメラ切替

アウトカメラ／インカメラを切り替えます。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

■ ライト

暗い所で録画する際に、撮影ライトを点灯するかを設定します。

■ HDR撮影

画面の明暗部を調整して、逆光のシーンでも黒つぶれを抑えた動画になるように設定します。

■ 保存先

録画データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます（ただし、動画撮影中は録画を停止します）。

■ 手ぶれ補正

手ぶれ補正機能を利用するかを設定します。

- 撮影サイズを「4K 3840×2160」「画面ぴったり2560×1440」に設定している場合は手ぶれ補正を利用できません。

◆ QRコードリーダー

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

❖ QRコードの読み取り

- 被写体（QRコード）からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- QRコードが読み取りにくい場合は、QRコードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[QRコード]

QRコード撮影画面が表示されます。

3 撮影画面にQRコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

分割されたデータを読み取るとき：
複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、続けて読み取ってください。

QRコード撮影画面を閉じる：←

- QRコードの読み取りに設定する前の撮影モードに戻ります。

ライトの点灯／消灯：［メニュー］→［ライト ON］／［ライト OFF］

4 読み取りデータを確認

データの保存：読み取り結果画面で［メニュー］→［履歴を保存］→履歴欄をタップ

履歴の表示：QRコード撮影画面で［メニュー］→［履歴］→履歴を選択

❖ QRコードデータの主な利用

読み取り結果画面で、読み取ったQRコードデータを利用します。

- 読み取ったデータによって、表示されるメニューは異なります。

電話帳に一括登録：［メニュー］→［電話帳一括登録］→電話帳を登録

メールの作成：メールアドレスを選択→メールを作成

サイトまたはホームページに接続：URLを選択

URLをブックマークに登録：［メニュー］→［ブックマークに登録］

電話をかける：電話番号を選択→

ギャラリー

カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。ただし、ファイルによっては表示／再生できない場合があります。
  静止画：JPEG、BMP、GIF※、PNG、WEBP
  動画：H.263、H.264、H.265、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8
  ※ GIFアニメーションは再生できません。

◆ 静止画表示／動画再生

1 **ホーム画面で→［ギャラリー］**

2 **アルバムを選択**

- 動画はが表示されます。
- 画面上部の［グリッド表示］／［フィルムストリップ表示］をタップして表示を切り替えます。

3 **画像を選択**

- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。
- ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大します。
- 動画はをタップして再生します。音量キーを押して音量を調節したり、表示されるアイコンやスライダーで再生、一時停止、早戻し、早送りなどの操作をします。

■ 主なアイコンと機能

：保存先が本体メモリ
：保存先がmicroSDカード
：カメラの起動
※：アルバム／画像の送付、アップロード、共有などの操作
※：アルバム／画像の削除
：［スライドショー］／［編集］などのさまざまな操作
：静止画の補正や編集などの操作

- 表示中の画面や操作状態により、表示される項目は異なります。
- ファイルによっては移動／コピーできない場合があります。

※ アルバム一覧／画像一覧でアルバム／画像をロングタッチしても表示されます。

❖ 画像を分類して表示

- アルバム一覧で［アルバム］をタップすると、画像を［アルバム］／［ロケーション］／［時間］別に分類して表示を切り替えます。

❖ アルバム／画像の選択操作

- アルバム一覧／画像一覧でアルバム／画像をロングタッチすると、アルバム／画像に緑色の枠とチェックが表示されて選択状態になります。タップすると選択解除します。
- アルバム／画像が選択状態のときは、画面上部に選択件数が表示されます。選択件数をタップすると、［すべて選択］／［選択をすべて解除］の操作ができます。

✔お知らせ

- アルバム一覧で［メニュー］→［設定］→［明るさアップ］にチェックを付けると、画像を明るく表示できます。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、音楽／動画の再生、dマーケットなどからダウンロードした音楽／動画コンテンツを再生します。

- 音楽の再生可能なファイル形式／コーデックはAAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、AAC ELD、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM、WMA、Opusです。動画の再生可能なファイル形式はH.263、H.264、H.265、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8です。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。
- 本端末は、ハイレゾ音源の再生に対応しています。再生可能なファイルはサンプリング周波数44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz、量子化ビット数24bit、チャネル数2chのFLAC、PCMです。
- ハイレゾ音源を再生する場合は、ハイレゾに対応したイヤホンをステレオイヤホン端子に接続して、本端末内やmicroSDカード内のファイルを再生してください。スピーカーやBluetoothヘッドセットなどを使用すると、ハイレゾ品質で再生されません。また、他の音が鳴っている場合など、使用状況によってはハイレゾ品質で再生されないことがあります。ハイレゾ品質で再生中はステータスバーにHRが表示されます。
- MIDI形式および着信用のファイルは、一覧画面に表示されません。他のアプリでファイルを選択したときなどに再生が可能です。
- パソコンからmicroSDカードへ音楽／動画ファイルを転送する方法については、「本端末のデータをパソコンから操作」をご覧ください。→P169
- メディアプレイヤーの操作方法などを確認するには、ホーム画面で→［メディアプレイヤー］→⋮→［ヘルプ］をタップしてご覧ください。

◆ 音楽／動画の再生

1 **ホーム画面で→［メディアプレイヤー］**

- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。メディアプレイヤーの説明画面が表示された場合は、［使い方の説明を読む］または［説明を読まず利用する］をタップします。

2 **［全曲］／［アーティスト］／［アルバム］／［ムービー］／［プレイリスト］／［着うた］**

一覧画面が表示されます。

3 **音楽／動画を選択**

再生画面が表示されます。

- ［アーティスト］／［アルバム］を選択した場合は、再生する音楽／動画が表示されるまでアーティスト名／アルバムなどを選択します。

■ 再生画面について

音楽再生画面

① 一覧画面の表示
- 一覧画面でをタップして音楽／動画ファイルを検索します。
- 動画再生中にをタップすると動画を再生したまま一覧画面に戻ります。

② 再生の操作
／：一時停止／再生
／：前のファイル／次のファイルを再生
- 操作状態によっては、ファイルの先頭に戻ります。

／：10秒早戻し／10秒早送り

③ 再生位置
- を左右にドラッグして再生位置を変更します。

④ リピート（音楽再生画面のみ）
- タップするたびに、リピートオフ（）→全曲リピート（）→1曲リピート（）を切り替えます。

⑤ シャッフルのオン／オフ（音楽再生画面のみ）

⑥ 音量調節
- を左右にドラッグして音量を調節します。

✔お知らせ
- 動画再生画面で／をタップして画面回転ロックの設定／解除をします。
- 動画再生画面／動画一覧画面で→［はい］をタップしてMiracast設定画面を表示します。→P175
- 音楽／動画を削除するには、一覧画面で音楽／動画をロングタッチ→［コンテンツを削除する］→［OK］→［OK］をタップします。

◆ dマーケットからの購入

1 ホーム画面で→［メディアプレイヤー］

2 →［dミュージック］／［dTV］／［dアニメストア］
- 初回起動時は、dマーケットのアプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。

◆ プレイリストの利用

プレイリストに曲を登録して、お気に入りの曲だけを再生することができます。

1 ホーム画面で→［メディアプレイヤー］→［プレイリスト］
プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 [リスト作成]→プレイリスト名を入力→[OK]

3 リストに追加する曲を選択→[決定]

- ［全曲］／［アーティスト］／［アルバム］をタップして、表示を切り替えられます。
- ［全曲］→［すべての曲を追加］をタップすると、すべての曲を選択できます。
- プレイリストから曲を削除するには、削除する曲を選択→［選択した曲を削除］をタップします。
- 曲の再生順を変更するには、移動する曲のを上下にドラッグします。

4 [完了]→[OK]

✔お知らせ

- プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択→曲を選択すると再生できます。
- プレイリストを並べ替えるには、プレイリスト一覧画面で［リスト並替え／削除］→移動するプレイリストのを上下にドラッグ→［完了］→［OK］をタップします。
- プレイリストを削除するには、プレイリスト一覧画面でプレイリストをロングタッチ→［プレイリストを削除する］→［OK］をタップします。
- プレイリストを編集するには、プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択→［編集］をタップします。

位置情報・GPS

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。

- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、GPSアンテナ（→P26）の付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

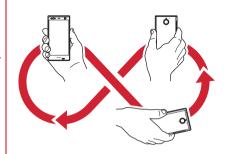
◆ 電子コンパス利用時の留意事項

本端末は、電子コンパスを内蔵しており、地球の微弱な磁場を感知して方位を算出することができます。

- 電子コンパスは地球の微弱な磁場を感知して方位を算出しています。そのため、建物（地下街を含む）や乗り物、金属製の施設（エレベータなど）、金属製の設備（ガードレール、歩道橋など）、高圧線、架線、磁気を含む岩盤、金属（鉄製の机、ロッカーなど）、永久磁石（磁気ネックレス、バッグの留め金など）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）の中または近くでは磁場を感知できなかったり、正確に方位を表示できなかったりする場合があります。
- 「マップ」アプリなどで、正しく方位を測定できない場合は、電子コンパスを調整してください。

◆ 電子コンパスを調整する

■ 操作方法

「マップ」アプリなど電子コンパスを利用するアプリを使用中に、手首を返しながら大きく8の字を描くように、約10秒本端末を動かします。

◆ 位置情報・GPSの設定

位置情報・GPSの使用をアプリに許可します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

1 **ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[位置情報・GPS]**

2 **画面右上のボタンをタップして[位置情報・GPS]をONにする**

ユーザーの同意画面が表示されます。

3 **[同意する]**

位置情報についての同意画面が表示されます。

4 **[同意する]**

5 **[モード]→モードを選択**

✔お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆ Googleマップ

Googleマップ™で現在地の測位や場所の検索、経路の検索などを行います。

- Googleマップを利用するには、LTE／3G／GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ［位置情報・GPS］をONにしてください。→P112
- Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 **ホーム画面で[Google]→[マップ]**

- 初回起動時は、利用規約とプライバシーポリシーに同意いただく必要があります。
- Googleマップの操作については、画面の左端を右にフリックして、ヘルプや便利な使い方などをご覧ください。
- 現在地の測位で［位置情報サービスが無効です］または［現在地の測位精度に関するヒント］の画面が表示された場合は、［設定］をタップし、画面の指示に従って設定してください。

スケジュール

スケジュールを管理できます。

1 ホーム画面で[ドコモクラウド]→[スケジュール]

カレンダー画面が表示されます。

- 初回起動時は、ソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。クラウドサービスの利用画面が表示された場合は、［クラウドサービスを設定する］または［後で設定する］をタップします。「スケジュール&メモアプリ」画面が表示された場合は［OK］をタップします。

◆ スケジュールの登録

1 カレンダー画面で[新規作成]

2 各項目を設定→[保存]

スケジュールが登録されます。

❖通知の日時になると

スケジュールの登録時にアラームの設定をすると、設定した日時にステータスバーにが表示されてお知らせします。

1 通知パネルを開く→通知をタップ

詳細画面が表示されます。

◆ スケジュールの表示

登録したスケジュールの詳細を表示します。

1 カレンダー画面でスケジュールをタップ

2 スケジュールを確認

スケジュールの編集：［編集］→スケジュールを編集→［保存］

スケジュールの削除：→［1件削除］→［削除する］

■ カレンダー画面での主な操作

表示の切り替え：［表示切替］→表示単位を選択

検索条件の選択：［表示条件］→検索条件を選択

日付の移動：［日付移動］→日付を設定→［移動］

- ［今日］をタップすると今日の日付に移動します。

ヘルプの表示：→［ヘルプ］

- をタップすると、［メモ一覧へ］などのさまざまな操作ができます。

スッキリ目覚まし

通常の目覚ましだけでなく、眠りの状態を検出して眠りの浅いときに鳴動するスッキリ目覚ましを設定できます。

- 目覚ましは最大10件登録できます。スッキリ目覚ましを設定できるのは1日に1件のみです。
- スッキリ目覚ましは、十分に充電されている状態でないと動作しません。充電しながら利用することをおすすめします。

1 ホーム画面で⊞→[スッキリ目覚まし]

2 [新規追加]→時刻を設定→各項目を設定→[完了]

目覚ましが設定されます。

- 注意画面が表示された場合は、内容を確認して[OK]をタップします。

目覚ましON／OFF切り替え：目覚ましの時刻の右のボタンをタップしてON／OFFにする

スッキリ目覚ましON／OFF切り替え：目覚ましの時刻をタップ→[眠りが浅いときに鳴動]の右のボタンをタップしてON／OFFにする→[完了]

目覚ましを編集：目覚ましの時刻をタップ→各項目を設定→[完了]

目覚ましを削除：目覚ましの時刻をタップ→[削除]→[削除]

✔お知らせ

- スッキリ目覚ましは眠りの状態を検出しますが、[眠りが浅いときに鳴動]をタップして設定できるスッキリ目覚まし鳴動範囲の時間内に検出できない場合があります。検出の有無に関わらず指定時刻にはアラームが鳴動し、[スヌーズ設定]の設定に従います。

電卓

1 ホーム画面で⊞→[電卓]

2 計算する

入力した数字や記号の消去：[DEL]

数式をすべて消去：[DEL](ロングタッチ)／[CLR]

関数パッド／四則演算パッド切り替え：本端末を横向き／縦向きにして横画面／縦画面表示にする

- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。[CLR]をタップして計算結果を消去できます。

検索

「Google」アプリまたは「音声検索」アプリを利用して検索します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ Google検索

キーワードを入力してWebサイトを検索します。また、Google Now™を利用して、今いる場所に関連する情報（天気や交通状況など）を確認することもできます。

1 ホーム画面で▦→[Google]

- 初回起動時はGoogle Now使用の確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。

- 文字を入力して🔍をタップすると、Webサイトの検索候補が表示されます。

3 検索候補から選択

◆ 音声検索

音声でキーワードを入力してWebサイトを検索できます。

1 ホーム画面で▦→[音声検索]→送話口／マイクに向かってキーワードを発声

2 Webサイトの検索候補から選択

✔**お知らせ**

- Google検索とGoogle Nowの詳細については、Google検索画面の左端を右にフリック→［ヘルプとフィードバック］をタップしてヘルプをご確認ください。
- ホームアプリが「NX!ホーム」に設定されている場合は、アプリ一覧画面で🔍をタップすると手書きで検索できます。手書き検索の検索対象の設定は次のとおりです。
  手書き検索画面で［設定］→検索対象にチェック
  - 特定の検索サイトを選択して検索できる［ウルトラ統合検索］を手書き検索設定で検索対象にした場合は、ホーム画面で「ウルトラ統合検索」ウィジェットを一度起動してからご利用いただけます。
  - ［手書き検索設定］の設定によっては、半角英数字の検索対象は検索結果に表示されない場合があります。

ドコモバックアップ

ドコモバックアップでは、「データ保管BOX」または「microSDカード」にデータをバックアップしたり、復元したりできます。

- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシーとドコモバックアップアプリ利用規約に同意いただく必要があります。

◆ microSDカードへ保存・復元

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、ドコモメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

❖バックアップ

電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータをmicroSDカードにバックアップします。

- 本端末のメモリ構成上、microSDカードが未挿入の場合、画像・動画などのデータは本体メモリに保存されます。本アプリでは画像・動画などのデータのうち本体メモリに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

1 ホーム画面で→[ドコモバックアップ]→[microSDカードへ保存・復元]

2 [バックアップ]→バックアップするデータを選択→[バックアップ開始]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]

❖復元

microSDカードにバックアップした電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で→[ドコモバックアップ]→[microSDカードへ保存・復元]

2 [復元]→復元するデータの種別で[選択]→復元するデータを選択→[選択]→復元方法を選択→[復元開始]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]

❖電話帳アカウントコピー

Googleアカウントの電話帳をdocomoアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で→[ドコモバックアップ]→[microSDカードへ保存・復元]

2 [電話帳アカウントコピー]→Googleアカウントの電話帳で[選択]→[上書き]／[追加]→[OK]

✔**お知らせ**

- バックアップまたは復元中に本端末のmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 各機能や操作の詳しい説明、その他のメニュー項目の説明については、→［ヘルプ］をタップしてヘルプをご確認ください。

◆ データ保管BOXへ保存・復元

❖バックアップ

音楽やブックマークなどのデータをデータ保管BOXにバックアップします。

1 ホーム画面で→[ドコモバックアップ]→[データ保管BOXへ保存・復元]

2 [バックアップ]
- ログインについての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 バックアップするデータを選択→[バックアップ開始]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]

✔**お知らせ**

- 定期バックアップ設定を利用すると、あらかじめ選択したバックアップ対象データを、毎月自動でデータ保管BOXへバックアップできます。
- 定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

❖復元

データ保管BOXにバックアップした音楽やブックマークなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で→[ドコモバックアップ]→[データ保管BOXへ保存・復元]

2 [復元]
- ログインについての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 復元するデータの種別で[選択]→復元するデータを選択→[選択]→復元方法を選択→[復元開始]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]

✔**お知らせ**

- データ保管BOXから復元する場合、データはバックアップ時と同じ保存先に復元されます。ただし、機種変更の際など、バックアップ時と異なる保存先に復元される場合があります。

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で→［設定］をタップして表示される設定メニューから、各種設定を行います。

メニュー	参照
音・バイブ・LED	P118
壁紙・画面	P121
電池	P124
Wi-Fi	P125、P175
Bluetooth	P163
データ通信・機内モード	P130、P177
ロック・セキュリティ	P134
言語・文字・入力	P147
便利機能	P149
ドコモのサービス／クラウド	P153
プロフィール	P153
端末管理	P154、P169

音・バイブ・LED

音量や着信音などの設定を行います。

1 ホーム画面で→［設定］→［音・バイブ・LED］

2 各項目を設定

音量：設定方法→P119
マナーモード：設定方法→P119
着信音：電話着信音を設定します。
- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

通知音：通知音を設定します。
気配り着信：走行／歩行時や周囲の音に応じて、電話着信やメール受信時の着信音を自動調整するかを設定します。
ふせたらサウンドオフ：本端末を裏返すことにより、一時的に着信音やアラームなどの音を停止するかを設定します。ただし、アプリによっては停止しない場合があります。
- バイブレーションを設定している場合は、一時的に振動も停止します。

着信バイブレーション：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかを設定します。
- マナーモード中は設定できません。

充電開始音：充電開始時に音でお知らせするかを設定します。
アプリの通知：各アプリケーションからの通知を表示するかを設定します。
はっきりタッチ：タッチ操作が認識されていることを振動でお知らせするかを設定します。

タッチ操作音：メニューを選択したときに音を鳴らすかを設定します。
ダイヤルパッド操作音：ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかを設定します。
サイドキー操作音：音量キーを押したときに音を鳴らすかを設定します。
画面ロックの音：画面ロックがかかったときや画面ロックを解除したときに音を鳴らすかを設定します。
- セキュリティ解除方法を［なし］以外に設定している場合のみ有効です。

Dolby：設定方法→P120
通知LED：新着SMSや不在着信などをお知らせLEDの点滅でお知らせするかを設定します。
不在着信LED：不在着信や伝言メモがあるときのお知らせLEDの色を設定します。
- ［通知LED］のチェックを外している場合は、設定できません。

イルミネーション：設定方法→P121

◆ 音量

メディア再生音、アラーム、着信音の音量を調節できます。
- マナーモード中は設定できません。

1 ホーム画面で田→［設定］→［音・バイブ・LED］→［音量］

2 スライダーをスライドして音量を調節

✔お知らせ
- ［着信音の音量］を0にすると、バイブレーションがONになります。バイブレーションをOFFにしたい場合は、サイレントマナーなどに設定してください。

- ［割り込み］をタップすると、特定の連絡先やアプリ、日時について、着信音や通知音を鳴らすかどうかを設定できます。

◆ マナーモード

マナーモードを設定／解除します。
- マナーモードの種類は変更できます。→P120

1 ホーム画面で田→［設定］→［音・バイブ・LED］→［マナーモード］

2 ［マナーモード］をONにする
- マナーモードを設定すると、ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P44

✔お知らせ
- 次の方法でもマナーモードを設定／解除できます。
  - 音量キーの下を1秒以上押す
  - 携帯電話オプションメニューが表示されるまで⏻を押し続ける→［通常マナー］→［OK］
  ※ 設定しているマナーモードによっては、［サイレントマナー］／［アラームONマナー］／［オリジナルマナー］をタップします。
- 本端末では、マナーモードの設定に関わらず、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音とキャプメモ／なぞってコピーのキャプチャ音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音が鳴ります。

❖マナーモードの種類を変更

1 ホーム画面で[icon]→[設定]→[音・バイブ・LED]→[マナーモード]→[マナーモード選択]

2 項目を選択

通常マナー：本端末のスピーカーから音を鳴らしません。
サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもオフになります。
アラームONマナー：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。
オリジナルマナー：音の種類ごとの音量と電話着信時のバイブレーションを設定できます。

- オリジナルマナーの音量を［サイレント］に設定しているときに音量キーの上を押すなどして音量を上げると、オリジナルマナーの音量の設定も変更されますのでご注意ください。

❖オリジナルマナー

1 ホーム画面で[icon]→[設定]→[音・バイブ・LED]→[マナーモード]→[オリジナルマナー]

2 [音声着信音量]／[メディア再生音量]／[アラーム音量]／[通知音量]

3 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]

4 [バイブレーション]にチェック／チェックを外す

◆Dolby Processing

動画や音楽などの再生にDolby Processingを使用するかを設定します。

1 ホーム画面で[icon]→[設定]→[音・バイブ・LED]→[Dolby]

- Dolby設定画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

2 各項目を設定

- [icon]をタップするたびにDolby Processingのオン／オフが切り替わります。オンになると、ステータスバーに[icon]が表示されます。
- Dolby Processingを使用しているときと使用していないときのコンテンツの違いを聴く場合は、［Play Demo］をタップします。
- ［Movie］／［Music］／［Game］／［Voice］／［Custom1］／［Custom2］をタップすると、プロファイルが切り替わります。選択しているプロファイルを再度タップすると、プロファイルの設定画面が表示されます。
- プロファイルの設定画面で[icon]をタップすると、選択しているプロファイルをお買い上げ時の状態に戻すことができます。

✔お知らせ

- Dolby Processingを設定した場合は、イコライザなどの他の音響機能を使用しないことをおすすめします。
- ハイレゾ音源をイヤホンから再生する場合、Dolby Processingの効果は無効となります。

◆ イルミネーション

着信時、通話中、本端末の電源ON／OFF時などにお知らせLEDの点灯／点滅でお知らせします。

1 **ホーム画面で▦→[設定]→[音・バイブ・LED]→[イルミネーション]**

2 **[イルミネーション]にチェック／チェックを外す**

各項目のON／OFF：**各項目にチェック／チェックを外す**

- ✲をタップすると各項目の設定値を確認・変更できます。

✔お知らせ

- 新着のメールやSMS受信時に点灯するイルミネーションは、受信後約4秒間は本設定に従って点灯します。その後は、各メールの設定に従ってお知らせLEDが点滅します。ただし、メッセージの設定で［LED］を［OFF］にしている場合は、イルミネーションは点灯しません。
- ［アラーム通知時］の設定は、「スッキリ目覚まし」アプリおよびアラーム機能を持っているウィジェットの［アナログ時計］／［デジタルクロック］で動作します。

壁紙・画面

画面の明るさや画面の自動回転などの設定を行います。

1 **ホーム画面で▦→[設定]→[壁紙・画面]**

2 **各項目を設定**

ホーム壁紙：設定方法→P51
ロック画面壁紙：設定方法→P122
ホーム画面切替：設定方法→P49
詳細カスタマイズ：設定方法→P48
明るさのレベル：設定方法→P122
画面の自動回転：本端末の向きに合わせて画面を回転させるかを設定します。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

あわせるローテーション：設定方法→P122
タッチでON：設定方法→P123
画面消灯時間：設定方法→P123
インテリカラー：蛍光灯、電球、太陽光など、周囲の光環境に合わせて画面の色味を自動で調整するかを設定します。
あわせるビュー：年齢による視認性の変化に合わせて、画面の色を見やすく調整するかを設定します。

- 年齢は、［初期設定］の［自分からだ設定］（→P41）か、［プロフィール］の［自分からだ設定］（→P153）で設定します。

ブルーライトカットモード：画面から発せられる青い光を弱くするかを設定します。

動画補正：動画（ワンセグやYouTubeなど）の画質補正をするかを設定します。
- カメラで録画した動画や、ダウンロードなどでmicroSDカード内に保存した動画も、1080p以下のサイズであれば再生時に画質補正されます。
- 動画によっては画質補正されない場合もあります。

静止画補正：静止画（ギャラリー）の画質補正をするかを設定します。
スクリーンセーバー：設定方法→P124
シアターモード：設定方法→P124

◆ ロック画面の壁紙設定

ロック画面の壁紙を設定します。

1 ホーム画面で田→[設定]→[壁紙･画面]→[ロック画面壁紙]

2 [設定なし(ホーム壁紙)]／[ギャラリー]／[壁紙]

以降は画面の指示に従って操作してください。

◆ 画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

1 ホーム画面で田→[設定]→[壁紙･画面]→[明るさのレベル]

2 スライダーをスライドして明るさを調整→[OK]

- 周囲の状況に応じて明るさを自動調整する場合は、［明るさを自動調整］にチェックを付け、スライダーをスライドして明るさを調整します。
- 屋外のような明るい場所でも画面を見やすくする場合は、［スーパークリアモード］にチェックを付けます。

◆ あわせるローテーション

本端末を持ったまま姿勢を変えたときなどに、見ている向きに合わせて画面の向きを固定できます。
- あらかじめ［画面の自動回転］を［ON］に設定してください。→P121

1 ホーム画面で田→[設定]→[壁紙･画面]

2 [あわせるローテーション]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- 設定を有効にすると、画面の回転が遅くなることがあります。
- 見ている向きを確認できない場合は動作しません。
- 使用状況や、利用環境（暗い所や逆光など）によっては動作しない場合があります。
- 画面の向きが変わった場合は、変わった直後に本端末を2回振ると画面の向きが元に戻り、ステータスバーにが表示されます。が表示されている間は画面の向きが固定されます。端末の向きを元に戻すと約3秒後にが消え、画面の向きの固定が解除されます。
- 画面の向きを戻すには、画面の向きが変わってから1分以内で操作してください。
- 本端末の振りかたの強さや速度、振る角度によっては動作しない場合があります。

◆ タッチでON

画面をタップしてスリープモードの解除／設定ができるように設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]→[タッチでON]

2 [タッチでON]をONにする

3 各項目を設定

タッチエリアの調整：タッチでON機能を利用できるエリアを設定します。
タッチでOFF：ロック画面または通知パネルの通知表示をタップしてスリープモードにできるように設定します。

✔お知らせ

- 手袋タッチ機能（→P151）をONに設定している場合でも、手袋をはめた手ではタッチでON機能を利用することはできません。
- 「通知の表示方法」（→P134）の設定を「すべての通知を表示しない」に設定している場合は、タッチでOFF機能をロック画面で利用することはできません。

◆ 画面消灯時間

❖スリープ

画面が消灯するまでの時間を設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]→[画面消灯時間]

2 [スリープ]→時間を選択

❖持ってる間ON

本端末を手に持って動きのある間は、画面を消灯しないようにするかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]→[画面消灯時間]

2 [持ってる間ON]にチェック／チェックを外す

◆ スクリーンセーバー

充電中、スリープモードになった場合に表示するスクリーンセーバーを設定します。

1 **ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]→[スクリーンセーバー]**

2 **[スクリーンセーバー]をONにする**

3 **アプリを選択→→各項目を設定**

- ［メニュー］→［今すぐ起動］をタップすると、スクリーンセーバーが起動します。
- ［メニュー］→［起動のタイミング］をタップすると、スクリーンセーバーが起動するタイミングを設定できます。

◆ シアターモード

卓上ホルダ F50（付属品）での充電を開始すると表示される横画面専用メニューを設定します。

1 **ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]→[シアターモード]**

2 **[シアターモード]をONにする**

3 **[アプリケーション選択]→シアターモードに配置するアプリを設定**

- アプリが配置されているボタンをタップすると、登録しているアプリを削除したり、変更したりすることができます。

電池

電池残量の確認などを行います。

1 **ホーム画面で→[設定]→[電池]**

2 **各項目を設定**

電池の使用量：電池残量、電池使用時間、使用中のアプリを表示します。
アプリ動作時間：アプリの動作時間を4週間分まで表示します。
アプリ電池診断：画面消灯中にバックグラウンドで動作するなど、電池の消費に影響があるアプリを表示します。

◆ バッテリーセーバー

バッテリーセーバーを起動／停止します。

- バッテリーセーバーが起動すると、ステータスバーとナビゲーションバーがオレンジ色に変わり、ステータスバーにが表示されます。

1 **ホーム画面で→[設定]→[電池]→[電池の使用量]**

2 **[メニュー]→[バッテリーセーバー]**

3 **画面右上のボタンをタップして[バッテリーセーバー]をONにする**

- ［自動的にON］→［使用しない］／［電池残量が5%］／［電池残量が15%］をタップして、バッテリーセーバーが自動的に起動する電池残量を設定できます。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

◆ Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 ホーム画面で▦→[設定]→[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi]をONにする

3 [かんたん接続／ネットワーク選択]→Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、［接続］をタップします。
- Wi-Fiネットワークを選択後、接続を選択する画面が表示される場合があります。

✔お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- Wi-Fiの詳細設定の［auto-IP］にチェックを付けている場合、アクセスポイントを選択して接続する際に誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力すると［プライベートなIPアドレスが割り当てられました。接続が制限されています。］と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても同様のメッセージが表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない可能性があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「docomo ID」の設定が必要です。設定するには、ホーム画面で▦→［設定］→［ドコモのサービス／クラウド］→［docomo ID設定］をタップして操作してください。

- 複数のWi-Fiネットワークを保存している場合、接続先を切り替えるには切り替え先のWi-Fiネットワークを選択し、[接続]をタップしてください。現在接続中のWi-Fiネットワークが切断され、選択したWi-Fiネットワークに自動的に切り替わります。
  ※ 切断したネットワークの情報は削除されません。接続操作を行うと再接続できます。

◆ Wi-Fiネットワークのスキャン

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[Wi-Fi]→[かんたん接続/ネットワーク選択]

2 [メニュー]→[更新]

◆ Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[Wi-Fi]→[かんたん接続/ネットワーク選択]

2 [メニュー]→[ネットワークを追加]

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

- セキュリティは[なし][WEP][WPA/WPA2 PSK][802.1x EAP]が設定可能です。

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→[保存]

◆ Wi-Fiネットワークの接続情報の削除

1 ホーム画面で▦→[設定]→[Wi-Fi]→[かんたん接続/ネットワーク選択]

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[削除]

◆ Wi-Fiネットワークのかんたん接続

AOSS™方式、WPS方式に対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[Wi-Fi]→[かんたん接続/ネットワーク選択]

2 [かんたん接続]

3 登録方式を選択

AOSS™方式:[AOSS方式]→[AOSS]ボタンをタップ→アクセスポイント側で操作→接続完了画面で[完了]

- 初めて利用する場合は、「ソフトウェア使用許諾契約」に同意いただく必要があります。

WPS方式:[WPS方式]→[プッシュボタン方式]/[PIN入力方式(8桁)]/[PIN入力方式(4桁)]→アクセスポイント側で操作

- プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、本端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力後、[OK]をタップします。

✔お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式、手動のいずれかで接続してください。
- 無線LANアクセスポイント側のセキュリティがWEPに設定されている場合は、WPS方式で接続できません。

◆ Wi-FiオートON／OFF

モバイルネットワーク基地局の情報を用いて、自動でWi-Fi機能をON／OFFします。
Wi-Fi接続したエリアを検出したときに自動でWi-FiをON、Wi-Fi接続していないエリアを検出したときに自動でWi-FiをOFFにするかを設定します。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[Wi-Fi]→[Wi-FiオートON／OFF]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- 本機能は、機内モードがONまたはWi-FiテザリングがONの場合、動作しません。
- 本機能は、Wi-Fiエリアの情報が変わった場合などに自動で接続できないことがあります。その場合は、手動で接続してください。
- ［Wi-FiオートON／OFF］にチェックを付けてWi-Fiネットワーク接続を優先にすることで、パケット通信によるデータ通信量を抑えることができます。

◆ Wi-Fi Directで他の機器と接続

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器同士で接続ができます。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。
- Wi-Fi Directを利用して動画や静止画などのデータ交換を行うためには、Wi-Fi Directのデータ交換に対応したアプリをPlayストアから入手し、インストールする必要があります。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[Wi-Fi]→[詳細設定]→[Wi-Fi Direct]

- 接続するWi-Fi Direct対応機器が表示されないときは、［デバイスの検索］をタップします。

2 検出されたWi-Fi Direct対応機器をタップ

Wi-Fi Direct対応機器の切断：接続済みのWi-Fi Direct対応機器をタップ→［OK］

■ 他のWi-Fi Direct対応機器から接続要求を受けた場合

接続への招待画面が表示された場合は、［同意する］をタップしてください。

◆ 高速ダウンロード

インターネット上のファイルやGoogle Playのアプリなどのダウンロードを高速化します。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[Wi-Fi]→[高速ダウンロード]

2 [高速ダウンロード]をONにする

3 [モード選択]→モードを選択

- 注意画面が表示された場合は、内容を確認して[OK]をタップします。

✔**お知らせ**

- 実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

◆ マルチコネクション

インターネット接続を快適に行うために、Wi-FiネットワークとパケットLTE通信（LTE／3G）を同時に利用するかを設定します。

- あらかじめWi-FiをONにしてWi-Fiネットワークに接続してください。→P125
- マルチコネクションは、パケット通信（LTE／3G）も利用するため、パケット通信料がかかる場合があります。
- アプリによっては、マルチコネクションを利用できない場合があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[Wi-Fi]→[マルチコネクション]

2 [マルチコネクション]をONにする

- 注意画面が表示された場合は、内容を確認して[OK]をタップします。

3 各項目を設定

- [よく使うアクセスポイント]にWi-Fiネットワークを登録すると、登録したWi-Fiネットワークに接続している場合はWi-Fiを優先的に使用します。

❖マルチコネクション対応のアプリについて

[アプリケーション選択]をタップして表示されるアプリがマルチコネクションの対象です。当社で動作確認済みのアプリについては、下記のマルチコネクション動作確認済みアプリ一覧をご確認ください。動作確認済みのアプリは、インストールされた時点でマルチコネクションの適用対象となります。その他のアプリについては、お客様の使いかたに応じて追加していただくこともできます。

■ マルチコネクション動作確認済みアプリ一覧

当社で動作確認済みのアプリは次のとおりです。
ただし当社がすべての動作を保証するものではありません。

- Chrome、dマーケット、Facebook、Facebookメッセンジャー、Gmail、Googleドライブ、Googleマップ、LINE、NAVITIME、NX！メール、Playストア、Twitter、YouTube、ドコモあんしんスキャン、ドコモ音声入力、ドコモ電話帳、メール、ブラウザ

✔**お知らせ**

- [アプリケーション選択]で起動中のアプリを選択した場合、設定が有効になるまで時間がかかることがあります。すぐに設定を有効にしたい場合は、選択したアプリを終了してから再度起動してください。
- 接続するネットワークを判別するサイト（dメニュー→「お客様サポート」内の項目など）では、Wi-Fiご利用時に一部の機能が制限される場合があります。その際は、Wi-FiをOFFにしてご利用ください。
- 次の場合は、マルチコネクションを利用できません。
  - 機内モード中
  - 国際ローミング中
  - テザリング中
  - VPN接続中

- Wi-Fi Direct／Miracast接続中
- ［よく使うアクセスポイント］に登録したWi-Fiネットワークが不安定になったとき、Wi-Fiのみに通信を制限する一部のアプリにおいて、一時的にパケット通信（LTE／3G）を行う場合があります。
- 高速ダウンロード（→P127）のモードを［シングル高速化］に設定している場合は、Wi-Fiを優先的に使用します。

◆ 画面消灯時のWi-Fi設定

本端末の画面が消灯したときや充電しているときにWi-Fiを切断するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[Wi-Fi]

2 [画面消灯時のWi-Fi設定]→項目を選択

◆ Wi-Fiの詳細設定

1 ホーム画面で▦→[設定]→[Wi-Fi]→[詳細設定]

2 各項目を設定

ネットワークの通知：Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能なとき、通知するかを設定します。
- Wi-FiがOFFの場合は設定できません。

Wi-Fi接続不良のとき無効にする：Wi-Fiネットワークが不安定なとき、Wi-Fiネットワークを使用しないようにするかを設定します。
スキャンを常に実行する：Wi-FiがOFFの場合でも、Wi-Fiネットワークをスキャンするかを設定します。
Wi-Fi周波数帯域：Wi-Fiの周波数帯域を設定します。
証明書のインストール：証明書をインストールします。
Wi-Fi Direct：設定方法→P127
Wi-Fi最適化：Wi-FiがONのとき、消費電力を抑えるようにするかを設定します。
MACアドレス：MACアドレスが表示されます。
IPアドレス：IPアドレスが表示されます。
auto-IP：auto-IP機能を有効にするかを設定します。
- Wi-FiがONの場合は設定できません。

Passpoint：Wi-FiがONのとき、利用可能なPasspoint対応アクセスポイントに自動的に接続するかを設定します。

データ通信・機内モード

◆ データ使用

モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にしたり、グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定をしたりできます。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[データ使用]

2 [モバイルデータ]をONにする

データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。

- ［モバイルデータの制限を設定する］をONにすると、使用量の制限を設定できます。
- ［メニュー］→［バックグラウンドデータを制限する］にチェックを付けると、バックグラウンドデータを制限することができます。

◆ パケット接続の停止

アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。必要に応じて、パケット通信の有効／無効を切り替えてください。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]

2 [データ通信を有効にする]をOFFにする

3 内容を確認して[OK]

◆ アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U、ビジネスmoperaインターネットを利用する際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

- テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→P132

❖ 利用中のアクセスポイントの確認

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

❖ アクセスポイントの追加

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 [＋]

3 [名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]

4 [APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→[メニュー]→[保存]

✔**お知らせ**

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 [メニュー]→[初期設定にリセット]

✔**お知らせ**

- APNの一覧画面でアクセスポイントを選択→［メニュー］→［APNを削除］をタップすると、アクセスポイントを1件ずつ削除できます。

◆VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- 認証操作が必要になる場合があります。あらかじめセキュリティ解除方法の暗証番号、パスワード、虹彩認証のいずれかを設定してください。→P137

❖VPNの追加

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[VPN設定]

2 [＋]→各項目を設定→[保存]

❖VPNへの接続

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[VPN設定]

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力→[接続]

- VPNに接続すると、ステータスバーに🔑が表示されます。

❖VPNの切断

1 通知パネルを開く

2 VPN接続中を示す通知を選択→[VPNを切断]

◆テザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、USBケーブルやWi-Fi、Bluetooth通信で接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能について、認証できない場合やdocomo IDによるログインを求められる場合があります。認証できない場合はテザリングを解除してご利用ください。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリが正常に動作しない場合があります。

❖USBテザリング

本端末をPC接続用USBケーブル T01（別売品）またはmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルで接続

2 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[テザリング]

3 [USBテザリング]

✔**お知らせ**

- Windows Vista、Windows 7、Windows 8／8.1のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

❖Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を10台まで同時接続できます。
- テザリングは、2.4GHzのみに対応しています。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]

- Wi-Fiアクセスポイント画面が表示された場合は、必要に応じて設定を変更して［保存］をタップします。→P132

❖Wi-Fiテザリングの設定

必要に応じて設定を変更します。

- お買い上げ時、ネットワークSSIDには［F-04G_AP］が、セキュリティには［WPA2 PSK AES］が、［パスワード］にはランダムな値が設定されています。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[テザリング]→[Wi-Fiアクセスポイントを設定]

2 ネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択→パスワードを入力→[保存]

- セキュリティは［Open］［WEP64］［WEP128］［WPA2 PSK AES］［WPA/WPA2 PSK］が設定できます。

❖Wi-Fiテザリングかんたん接続

AOSS™またはWPSに対応したWi-Fi対応機器を登録します。

- あらかじめWi-FiテザリングをONにしてください。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[テザリング]→[Wi-Fiテザリングかんたん接続]

2 登録方式を選択

AOSS™方式：［AOSS方式］→Wi-Fi対応機器側で操作→登録画面で［OK］

WPS方式：［WPS方式］→［プッシュボタン方式］／［PIN入力方式］→各種操作→登録画面で［OK］

- プッシュボタン方式の場合は、Wi-Fi対応機器側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、Wi-Fi対応機器に表示されたPINコードを入力後、［OK］をタップします。

✔お知らせ

- AOSS™登録機器数が最大件数の24件を超えると、古い登録データの削除確認画面が表示されます。新たな機器でAOSS™接続を利用する場合は［はい］をタップしてください。
- AOSS™設定を解除するには、［Wi-Fiアクセスポイント］画面で［AOSS解除］をタップします。
- Wi-Fi対応機器によっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。

❖Bluetoothテザリング

Bluetooth機器をインターネットに接続できます。

- Bluetooth機器を5台まで同時接続できます。
- あらかじめBluetooth機器とのペア設定が必要です。→P164

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[テザリング]

2 [Bluetoothテザリング]

✔お知らせ

- 本端末は、DUNプロファイルを使ったダイヤルアップ接続に対応しております。→P164
Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

◆ 機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi、Miracast、テザリング、Bluetooth機能、FMトランスミッタ）が無効になります。ただし、Wi-Fi、Miracast、Bluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]

2 [機内モード]を[ON]／[OFF]

✔お知らせ

- ⏻を押し続けて表示される携帯電話オプションメニューからも設定／解除できます。

ロック・セキュリティ

ロックに関するさまざまな設定を行います。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック・セキュリティ]

2 各項目を設定

セキュリティ解除方法：設定方法→P137
パターンの変更※1：パターンを変更します。
暗証番号の変更※1：暗証番号を変更します。
パスワードの変更※1：パスワードを変更します。
虹彩登録：設定方法→P138
パターンを表示する※1：画面ロック解除時のパターン入力時にパターンを表示するかを設定します。
自動ロック※1：認証操作が必要なセキュリティ解除方法を選択した場合、スリープモードになってから設定した時間が経過すると、画面ロックがかかるように設定できます。
電源ボタンですぐにロックする※1：⏻を押してすぐに画面ロックをかけるかを設定します。画面ロックを解除するには認証操作が必要です。
スライドでカメラ起動※2：ロック画面の右端から左にフリックしてカメラを起動するかを設定します。
所有者情報※1：ロック画面に表示する所有者の情報を入力します。

- ［ロック画面に所有者情報を表示］にチェックを付けると、ロック画面に所有者の情報が表示されます。

通知の表示方法：ロック画面にすべての通知を表示するかを設定します。
Smart Lock※1：設定方法→P140

パスワードマネージャー：設定方法→P140
パスワードを表示する：暗証番号／パスワード入力時に入力した文字を表示するかを設定します。
情報セキュリティ：次の設定を行うことができます。
ストレージのタイプ：設定方法→P141
信頼できる認証情報：設定方法→P141
証明書のインストール：設定方法→P141
認証ストレージの消去：設定方法→P141
SDカード パスワード設定：設定方法→P141
アプリケーションロック：設定方法→P142
プライバシーモード設定：設定方法→P142
最近使ったアプリを表示しない：設定方法→P145
デバイス管理機能の選択：デバイス管理機能を有効にするかを設定します。
提供元不明のアプリ：設定方法→P145
SIMカードロック設定※3：設定方法→P145
信頼できるエージェント：Smart Lockなどの機能の信頼できるエージェントを管理します。
利用アプリの固定：設定方法→P146
使用履歴にアクセスできるアプリ※4：端末上のアプリ使用履歴データにアクセスできるアプリを管理します。
暗号化設定：設定方法→P146

※1 セキュリティ解除方法の設定により表示される項目は異なります。
※2 ホームアプリおよびセキュリティ解除方法の設定により表示されない場合があります。
※3 ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。
※4 Super ATOK ULTIASをOFFにすると、パスワードの入力画面でパスワードマネージャー機能が利用できなくなります。

◆ 本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P145

PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- ドコモnanoUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ドコモnanoUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖microSDパスワード

microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の端末に取り付けて使用する場合は、その端末にパスワード認証をする必要があります。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化ができません。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

◆ セキュリティ解除方法の設定

画面ロックの解除時に使用する認証操作の種類などを設定します。

1 **ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[セキュリティ解除方法]**

2 **認証操作**

- 初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。

3 **項目を選択**

なし：ロック画面を表示しないように設定します。
タッチ／スワイプ：タッチ／スワイプでロックを解除するように設定します。
虹彩認証：設定方法→P138
パターン：最低4つの点を結ぶパターンでロックを解除するように設定します。
暗証番号：暗証番号（4～16桁の数字）でロックを解除するように設定します。
パスワード：パスワード（英字を含む4～16桁の英数字と記号）でロックを解除するように設定します。

✔お知らせ

- 認証ストレージを利用中に使用できるセキュリティ解除方法は、暗証番号、パスワード、虹彩認証のいずれかになります。
- 認証ストレージを利用している場合、虹彩認証と併用する解除方法を設定すると、電源を入れ直した後一時的に虹彩認証が利用できなくなることがあります。この場合、虹彩認証と併用する解除方法で一度認証すると、以降は虹彩認証が利用できるようになります。

❖画面ロックをかける

セキュリティの解除方法を設定（→P137）した後に、[電源]を押してスリープモードにする、または自動的に画面が消灯してから［自動ロック］で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、[電源]を押してスリープモードを解除し、セキュリティ解除方法の種類に応じて解除操作を行います。
- シアターモードのメニュー表示中にスリープモードになった場合、スリープモードを解除しても画面ロックはかかりません。ただし、認証操作が必要なセキュリティ解除方法を選択しているときは、シアターモードから別の画面に移動する際に認証操作が必要になります。

✔お知らせ

- Googleアカウントを設定している場合に、パソコンやタブレットなどからパスワードによるロックを設定することができます。端末紛失時などは次のURLにアクセスし、本端末に設定されているGoogleアカウントでログインしてください。
  https://www.google.com/android/devicemanager
  - 新しいパスワードを本端末に入力することで、画面ロックを解除することができます。
  - Googleアカウントでログインしていない場合は操作できません。

❖解除方法を忘れたときは

- セキュリティの解除方法にパターン／暗証番号／パスワードを設定している場合、画面ロックの解除に5回失敗すると、30秒後にもう一度やり直すことができます。
- 画面ロックが解除されなくても、ロック画面から緊急通報をかけることができます。→P60

◆ 虹彩認証機能

本端末は、あらかじめ登録した所有者の虹彩情報でセキュリティの認証を行う虹彩認証機能を搭載しています。

❖ 虹彩認証用カメラおよびLED利用時の留意事項

虹彩認証用カメラおよびLED利用時の留意事項は次のとおりです。

- 虹彩認証用LED点灯中に端末と目の距離を20cm以内に近づけないでください。
- 虹彩認証用カメラ表面は防水性を有していますが、虹彩認証用カメラ表面に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。虹彩の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。現象が改善されることがあります。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - 引っかいたり、先の尖ったものでつついたりする
  - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、虹彩認証用カメラ表面に傷が入る
  - 泥などで虹彩認証用カメラやLED表面に傷が入る、表面が汚れる
  - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、虹彩の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりするなどして使用できないことがあります。虹彩認証用カメラやLEDおよび近接センサーの周囲（本端末前面の上部）は時々清掃してください。
  - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露

❖ 虹彩登録時の留意事項

虹彩登録時の留意事項は次のとおりです。

- メガネを着用している方はメガネを外して登録してください（認証時はメガネを着用しても利用できます）。
- サングラスやカラーコンタクト、サークルレンズは外して登録してください。
- 日の当たらない室内で登録してください。
- 登録に時間がかかる場合は、読み取りの精度を上げるため目を大きく開いてください。
- 端末を真正面に持って目の高さまで上げてください。
- 端末と目の距離は25cm程度離してください。
- 虹彩認証用カメラに汚れや破損がないことを確認してください。→P138
- 虹彩登録は片眼でも可能ですが、高い認証率を確保するため両眼での登録をおすすめします。
- 認証時の精度向上のために虹彩の登録を追加することが可能です。ただし、複数の人の虹彩を追加登録することは本人の認証ができなくなる場合があるため控えてください。また精度向上にも限度があるため追加登録を行ってもそれ以上の効果は望めない場合があります。
- 虹彩認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

❖虹彩認証時の留意事項

虹彩認証時の留意事項は次のとおりです。

- 認証性能はお客様の使用状況により異なります。次のような場合は、虹彩の認証が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。
  - サングラスやカラーコンタクト、サークルレンズを着用している
  - 目が重度に腫れているなどで、虹彩が隠れている
  - 直射日光や反射光が目や端末に当たっている
  - 水中
  - 端末や人体が激しく揺れている
  - 端末を斜めや逆さに向けている
  - 虹彩認証用カメラやLEDに汚れや破損などがある（→P138）
- 認証に時間がかかる場合は、認証の精度を上げるため目を大きく開いてください。
- 端末と目の距離は20～30cm程度離してください。
- メガネのレンズに光が反射していると虹彩を検出できない場合があります。その場合は顔を傾けるなどしてレンズの反射を抑えてください。
- 本端末を他の人が持っている場合でも、自分に端末が向けられた場合は認証されることがありますのでご注意ください。
- 本端末を横画面表示にしている場合、画面ロックの解除は卓上ホルダ F50（付属品）に取り付けているときのみ認証可能です。それ以外の認証（アプリケーションロックなど）の場合は卓上ホルダ F50（付属品）に取り付けていなくても可能です。なお、横画面表示で左右90度以上に傾けると認証できない場合があります。

❖虹彩登録

虹彩を登録します。

1 **ホーム画面で▦→［設定］→［ロック・セキュリティ］→［虹彩登録］**

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。

2 **［登録をはじめる］→画面の指示に従って虹彩を登録**

- 片眼で登録する場合は［片眼で登録する方はこちらへ］から登録してください。

❖虹彩認証の操作

1 **ロック画面で虹彩認証操作を行う**

- 正しく認証されない場合は、虹彩登録時に登録した予備のセキュリティ解除方法（パターン／暗証番号／パスワード）で認証操作を行ってください。

❖虹彩認証の設定

1 ホーム画面で田→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[虹彩管理]

2 各項目を設定

ロックで虹彩を利用する：予備のセキュリティ解除方法を変更します。
併用のパターン／暗証番号／パスワードの変更：予備のセキュリティ解除方法として設定したパターン／暗証番号／パスワードを変更します。
虹彩認証の精度を向上：虹彩認証の精度の向上のため、虹彩を追加登録します。
虹彩データを削除：虹彩データを削除します。
虹彩のファインダーを表示する：虹彩認証画面にファインダーを表示するかを設定します。
虹彩認証のヒント：虹彩認証時のヒントを表示します。
虹彩使いこなしサイトへ：虹彩認証の使いかたが掲載されているサイトを表示します。

◆ Smart Lock

外部機器からの接続時や顔認証などで画面ロックを解除する方法について設定します。

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P137
- セキュリティ解除方法を虹彩認証に設定している場合は、トラステッドフェイス（顔認証）の利用はできません。

1 ホーム画面で田→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[Smart Lock]→認証操作

2 各項目を設定

- Smart Lockの詳細については、⋮→［ヘルプ］をタップしてヘルプをご覧ください。

◆ パスワードマネージャー

ID（アカウント）やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます。→P36

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P137
- 最大50件登録できます。

1 ホーム画面で田→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[パスワードマネージャー]→認証操作

2 [新規登録]→各項目を設定→[完了]

編集：タイトルをタップ→各項目を編集→［完了］
削除：タイトルをロングタッチ→画面下部の🗑までドラッグ→［OK］
並び替え：タイトルをロングタッチ→移動先までドラッグ
バックアップ／リストア：[メニュー]→［バックアップ／リストア］→項目を選択→画面の指示に従って操作
全件削除：[メニュー]→［全件削除］→［OK］

◆ 認証情報の管理

信頼できる認証情報や証明書を表示したり、VPNなどに接続するための認証情報やその他の証明書をインストールしたりします。

❖ 認証情報ストレージのタイプの表示

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 [ストレージのタイプ]を確認

❖ 信頼できる認証情報や証明書の表示

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[信頼できる認証情報]

✔**お知らせ**

- インストールした証明書を削除する場合は、［認証ストレージの消去］から削除してください。

❖ 認証情報や証明書のインストール

認証情報や証明書をインストールします。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[証明書のインストール]

2 インストールする認証情報／証明書を選択

3 必要な場合はパスワードを入力→[OK]

4 認証情報／証明書の名前を入力→[OK]

❖ 認証ストレージの消去

認証ストレージからすべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 [認証ストレージの消去]→[OK]

◆ SDカード パスワード設定

microSDカードにパスワードを設定して、他人が不正に使用するのを防ぎます。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。
- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P137

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 [SDカード パスワード設定]→認証操作

3 各項目を設定

- SDカードのマウント解除についての確認画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

パスワード登録：microSDカードのパスワード（半角16桁以内）を登録します。

- microSDカードごとに1件、最大20件登録できます。最大件数以上の登録があった場合は、最も古い日付の登録情報を削除して登録します。

パスワード認証：本端末以外でパスワードを設定したmicroSDカードを取り付けた場合は、パスワードの認証を行います。
パスワード変更：microSDカードのパスワードを変更します。
パスワード削除：microSDカードのパスワードを削除します。
パスワード強制削除：microSDカードのパスワードを含むすべてのデータを削除します。

- 本端末以外でパスワードを設定したmicroSDカードを取り付け、本端末でパスワード認証を行う前の場合のみ操作できます。

■ microSDカードにパスワードを設定すると

microSDカードを他の端末に取り付けた場合はパスワード認証が必要です。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化もできません。

◆ アプリケーションロック

起動時に認証操作を必要とするアプリを設定します。

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P137

1 **ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]**

2 **[アプリケーションロック]→認証操作→アプリにチェック／チェックを外す**

3 **[メニュー]→[設定]→[アプリケーションロック]にチェック／チェックを外す**

◆ プライバシーモード

プライバシーモードを設定すると、ブラウザのブックマークや画像、アプリ（ホームアプリがNX!ホームの場合）を非表示にできます。また、プライバシーモード対応アプリをダウンロードすることで、特定の人物の電話帳やメールを非表示にしたり、電話やメールの着信時の動作を設定したりできます。

- NX!電話帳とNX!メールに対応しています。「プライバシーモードの動作設定（電話帳・履歴）」（→P143）の操作の途中で表示される画面の指示に従ってアプリをダウンロードしてご利用ください。インストール後は「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

❖ プライバシーモード利用時の留意事項

- プライバシーモードの機能説明や注意事項、対応アプリについては、ホーム画面で→［設定］→［ロック・セキュリティ］→［情報セキュリティ］→［プライバシーモード設定］→認証操作→［機能説明・注意事項］をタップして各項目をご覧ください。
- FUJITSUアカウントの電話帳のみプライバシーモードを設定できます。docomoアカウントからFUJITSUアカウントに変更すると、ｉコンシェル追記データ、SNSアカウント情報は保存されません。
- お気に入りやグループに登録した電話帳にプライバシーモードを設定すると、アカウントが自動で変更され、登録情報が変更されるため、お気に入りやグループに表示されなくなります。
- ドコモメールには対応していません。

❖プライバシーモード設定

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P137

1 ホーム画面で[アイコン]→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→認証操作

- 初回起動時は、プライバシーモードを利用するかの確認画面が表示されます。[利用する]をタップしてください。

2 [プライバシーモード]にチェック／チェックを外す

- 注意事項が表示された場合は、内容を確認して［閉じる］をタップします。［機能説明・注意事項を表示］をタップした場合は、確認した後に◁(バック)をタップしてください。

❖プライバシーモードの動作設定（電話帳・履歴）

非表示にする電話帳／グループを指定します。

- 電話帳・履歴の動作を設定するには、NX!電話帳をインストールする必要があります。インストールしていない場合は、操作の途中で表示される画面の指示に従ってダウンロードしてください。

1 ホーム画面で[アイコン]→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→認証操作

2 [電話・メールの設定]→各項目を設定

電話帳・履歴：プライバシーモード中、指定した電話帳／グループを非表示にするかを設定します。

電話帳設定：非表示にする電話帳／グループを指定します。

- 電話帳一覧で［アカウント変更］の画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

✔お知らせ

- グループを指定すると、グループに登録した電話帳にプライバシーモードが設定されます。グループ変更などでプライバシーモード設定を解除する場合は、電話帳のプライバシーモード設定を解除してください。
- グループのプライバシーモードを解除すると、グループに登録した電話帳のプライバシーモードも解除されます。このとき、複数のグループに登録している電話帳は、他のグループにプライバシーモードが設定されていても表示されるようになります。この場合は、グループを指定し直してください。

❖プライバシーモードの動作設定（着信通知）

電話やメールの着信時の動作を設定します。

- 「プライバシーモードの動作設定（電話帳・履歴）」で電話帳を指定してください。→P143

1 ホーム画面で[アイコン]→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→認証操作

2 **［電話・メールの設定］→各項目を設定**

着信通知動作設定：プライバシーモード中、指定した電話帳／グループからの電話着信時の動作を設定します。

メール通知動作設定：プライバシーモード中、指定した電話帳／グループからのメール受信時の動作を設定します。

❖プライバシーモードの動作設定（その他の設定）

アプリ一覧画面（ホームアプリがNX!ホームの場合）のアイコン、ブラウザのブックマーク、ギャラリーの画像を指定して非表示にします。

1 **ホーム画面で▦→［設定］→［ロック・セキュリティ］→［情報セキュリティ］→［プライバシーモード設定］→認証操作**

2 **［その他の設定］→各項目を設定**

ホーム／ブラウザ／画像：プライバシーモード中、指定したアプリのアイコンをホーム画面などで非表示にしたり、指定したブックマークや画像を非表示にしたりするかを設定します。

ホーム設定／ブラウザ設定／画像設定：非表示にするアプリ、ブックマーク、画像を指定します。

アプリケーション通知動作設定：プライバシーモード中、アプリからの通知を非表示にするかを設定します。

- アプリからの通知は、ホーム画面で▦→［設定］→［端末管理］→［アプリケーション］で各アプリの［通知を表示］にチェックを付けた場合に表示されます。チェックを外した場合は、本設定に関わらず非表示になります。

文字入力予測辞書：プライバシーモード中に使用するSuper ATOK ULTIASの予測変換辞書を設定します。

プライバシー新着通知：プライバシーモード中、非表示に指定した電話帳／グループからの電話着信／メール受信時やアプリからの通知などを電池アイコンの種類を変えてお知らせするかを設定します。

❖プライバシーモード起動解除設定

プライバシーモードの起動と解除操作を設定します。

1 **ホーム画面で▦→［設定］→［ロック・セキュリティ］→［情報セキュリティ］→［プライバシーモード設定］→認証操作**

2 **［起動解除設定］→［解除操作］／［自動起動］→項目を選択**

- ［自動起動］で［スリープ時に起動］を選択した場合は、プライバシーモードを解除した状態で画面が消灯すると、次に画面が表示されたときにプライバシーモードは起動状態になります。

❖プライバシーモードの起動／解除

1 **通知パネルを開いた状態で時刻表示部分を右にフリック**

◆最近使ったアプリの表示／非表示

■（履歴）をタップしたときに、最近使ったアプリを表示するかを設定します。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック･セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 [最近使ったアプリを表示しない]にチェック／チェックを外す

◆提供元不明のアプリのインストールを許可

Playストア以外のサイトやメールなどから入手したアプリのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、Playストアなどの信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック･セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 [提供元不明のアプリ]にチェック→注意文を確認して[OK]

◆PINコードの設定

❖SIMカードロック設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック･セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]

✔**お知らせ**

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。
- 設定を解除するには、操作2で［SIMカードをロック］のチェックを外します。

❖PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定（[SIMカードをロック］にチェックを付ける）しておく必要があります。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック･セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIM PINの変更]

3 現在のPINコードを入力→[OK]

4 新しいPINコードを入力→[OK]

5 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

❖PINコードの入力

1 電源を入れる→コード入力画面でPINコードを入力→☑

❖PINロックの解除

PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 コード入力画面でPINロック解除コードを入力→☑

2 新しいPINコードを入力→☑

3 もう一度新しいPINコードを入力→☑

◆ 利用アプリの固定

現在起動しているアプリを固定して、他のアプリを利用できないように設定できます。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[利用アプリの固定]

2 画面右上のボタンをタップして[利用アプリの固定]をONにする

3 固定したいアプリを起動

4 ▣(履歴)→固定したいアプリの●→[開始する]

- アプリの固定を解除するには、◁(バック)と▣(履歴)を同時にロングタッチします。

◆ 暗号化設定

❖端末の暗号化

端末にあるすべてのデータ(設定、アプリを含む)を暗号化します。暗号化後は電源を入れるたびに暗証番号またはパスワードでの復元が必要です。暗号化を解除するには、本端末の初期化が必要です。

- あらかじめセキュリティ解除方法の[暗証番号]または[パスワード]を設定する必要があります。→P137

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[暗号化設定]

2 [端末の暗号化]→[携帯端末を暗号化]→認証操作→[携帯端末を暗号化]

❖SDカードの暗号化

本端末に取り付けているmicroSDカードのすべてのデータを暗号化します。

- あらかじめセキュリティ解除方法の[暗証番号]または[パスワード]を設定する必要があります。→P137

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[暗号化設定]

2 [SDカードの暗号化]→[SDカードを暗号化]→認証操作→[SDカードを暗号化]→[OK]

暗号化を解除：[SDカードの暗号化解除] → [SDカードを暗号化解除] →認証操作→ [SDカードを暗号化解除] → [OK]

✔お知らせ

- 暗号化したmicroSDカードのデータは、本端末以外では利用できなくなります。データの初期化を行うと暗号化されたmicroSDカードのデータが使えなくなりますので、本端末の初期化を行う前にmicroSDカードの暗号化を解除してください。

言語・文字・入力

本端末で使用する言語を変更したり、表示フォントや文字の大きさを変更したりします。

1 ホーム画面で→[設定]→[言語・文字・入力]

2 各項目を設定

Language：設定方法→P148
スペルチェック：スペルチェックを行うかを設定します。
フォント：設定方法→P148
フォントサイズ：文字の大きさを変更します。
現在のキーボード：設定方法→P38
ドコモ文字編集／Google音声入力／NX!input 韓国語／NX!input 中国語（簡体字）／Super ATOK ULTIAS：設定方法→P38
音声入力：設定方法→P148
テキスト読み上げの出力：テキスト読み上げに関する設定を行います。
ポインタの速度：マウスやトラックパッド使用時のポインタの速度を設定します。

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 **ホーム画面で→[設定]→[言語・文字・入力]→[Language]**

2 **[English]**

✔お知らせ

- アプリによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
  ホーム画面で→［Settings］→［Language/Text/Input］→［言語］→［日本語］

◆ フォント

表示フォントの種類を変更します。

1 **ホーム画面で→[設定]→[言語・文字・入力]→[フォント]**

2 **フォントを選択→[OK]**

✔お知らせ

- 画面によっては、電源を入れ直すとフォントの設定が反映されます。
- アプリやWebサイトによっては、フォントの設定が反映されない場合やフォントが正しく表示されない場合があります。

◆ 音声検索の設定

Google音声検索の機能を設定します。

1 **ホーム画面で→[設定]→[言語・文字・入力]→[音声入力]**

2 **機能を選択→→各項目を設定**

言語：Google音声検索時に使用する言語を設定します。

「OK Google」の検出：「OK Google」と発声して音声検索を開始できるように設定します。

音声出力：音声出力について設定します。

不適切な語句をブロック：不適切な結果を表示するかを設定します。

Bluetoothヘッドセット：Bluetooth機器を使用して音声検索を行うかを設定します。

便利機能

FMトランスミッタやスライドディスプレイなどの設定を行います。

1 ホーム画面で■→[設定]→[便利機能]

2 各項目を設定

位置情報・GPS：設定方法→P112
電話：設定方法→P66
NFC／おサイフケータイ 設定：設定方法→P83、P166
パーソナルアシスト：設定方法→P149
アシストナビ：設定方法→P150
FMトランスミッタ：設定方法→P150
手袋タッチ：設定方法→P151
スライドイン機能：設定方法→P151
スライドディスプレイ：設定方法→P151
ウォーキング／Exカウンタ：設定方法→P151
デフォルトのSMSアプリ：本端末で使用するメッセージアプリを設定します。
イヤホンランチャー：イヤホン接続時に、ランチャーを表示してアプリを起動できるように設定します。

- ［ランチャー設定］でランチャーに表示するアプリを設定します。

◆ パーソナルアシスト

場所や時間、曜日などの情報をもとに本端末の使用状況を学習することで、ユーザーが使いやすいようにアプリの候補を表示させる機能を設定します。

- パーソナルアシストをONにすると、本端末の使用状況の学習が開始されます。学習が完了すると、ホーム画面にパーソナルアシストが表示されるようになります。なお、学習が完了するまでに数日かかる場合があります。

1 ホーム画面で■→[設定]→[便利機能]→[パーソナルアシスト]

2 [パーソナルアシスト]をONにする

- ［機能説明］をタップすると、パーソナルアシストの詳しい説明や使いかたを確認できます。

✔お知らせ

- パーソナルアシストをより快適に利用するには、次の設定を行ってください。現在地の精度が高まり、アシストの精度が向上します。また、Wi-Fiを利用することで、室内などGPS機能を利用できない場所でも位置を特定できます。
  - ［位置情報・GPS］をONにし、モードを［高精度］に設定する→P112
  - ［Wi-Fi］をONにする→P125
  - Wi-Fiの詳細設定で［スキャンを常に実行する］にチェックを付ける→P129

◆ アシストナビ

場所や時間、曜日などの情報をもとに行動パターンから目的地を推測し、目的地までのルート検索や徒歩ルートの音声ナビを行います。

- アシストナビをONにすると、本端末の使用状況の学習が開始されます。学習が完了すると、ホーム画面でを タップしてアシストナビを利用できるようになります。

1 ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[アシストナビ]

2 [アシストナビ]をONにする

- ［機能説明］をタップすると、アシストナビの詳しい説明や使いかたを確認できます。

3 画面の指示に従って操作→[利用開始]

- 本端末にNAVITIMEアプリをインストールしていない場合は、Playストアからダウンロード／インストールが必要です。Playストアへのリンク画面が表示された場合はリンクをタップして、NAVITIMEアプリのダウンロード／インストールを行ってください。

✔お知らせ

- アシストナビを利用するには、［位置情報・GPS］をONにし、モードを［高精度］に設定してください。→P112
- アシストナビをより快適に利用するには、次の設定を行ってください。現在地の精度が高まり、アシストの精度が向上します。また、Wi-Fiを利用することで、室内などGPS機能を利用できない場所でも位置を特定できます。
  - ［Wi-Fi］をONにする→P125
  - Wi-Fiの詳細設定で［スキャンを常に実行する］にチェックを付ける→P129

◆ FMトランスミッタ

本端末に保存した音楽などをFM電波で送信して、FMラジオやカーステレオなどで聴くことができます。

- ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合、FMトランスミッタ機能を利用できません。
- 受信状態をよくするには、TV／FMトランスミッタアンテナを十分に伸ばし、本端末とFMラジオなどの距離を近づけたり、アンテナの向きを変えたりしてください。→P88

1 ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[FMトランスミッタ]

2 [FMトランスミッタ]をONにする

3 [周波数選択]→周波数を選択

4 受信機器側で周波数を合わせる

✔お知らせ

- 本端末が次の状態の場合は、FMトランスミッタをONにできません。また、FMトランスミッタがONのときに次の状態になった場合、FMトランスミッタは自動的にOFFになります。
  - 機内モード中、Bluetooth機能ON、イヤホン接続中、Miracast出力中、国際ローミング中
  - 電源を入れてから一度も圏内に入っていない状態のとき

- 電話着信中・音声通話中はFMトランスミッタをONにできません。また、FMトランスミッタがONのとき、電話着信・音声通話は可能ですが、FMトランスミッタによる音声出力ができなくなります。

◆ 手袋タッチ

手袋をしていてもタッチ操作できるように、タッチパネルの感度を上げるかを設定します。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[便利機能]

2 [手袋タッチ]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- 手袋の素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
- タッチ操作がしづらい場合は、指を寝かせて指の腹をタッチパネルに接触させるように操作してください。
- ［手袋タッチ］にチェックを付けた状態で手袋をはめずにタッチ操作を行うと、タッチのしかたによっては意図しない操作が実行される場合があります。

◆ スライドイン機能

画面の端から指をスライドさせて、表示されたランチャーからアプリを起動したり、画面をキャプチャしたり、画面を指でなぞって文字をコピーしたりできるように設定します。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[便利機能]→[スライドイン機能]

2 [スライドイン機能]をONにする

3 各項目を設定

- ［機能説明］をタップすると、スライドインランチャー、キャプメモ、なぞってコピーの使いかたが表示されます。

✔お知らせ

- ランチャーに登録したアプリが更新された場合、登録が解除されることがあります。

◆ スライドディスプレイ

スライドディスプレイアイコン（→P43）を表示するように設定します。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[便利機能]→[スライドディスプレイ]

2 [スライドディスプレイ]をONにする

3 [アイコンの表示位置]→項目を選択

◆ ウォーキング／Exカウンタ

歩数のカウントや活動量の計測を開始するかを設定します。

- ［歩数計利用］にチェックを付けると、歩数／活動量情報などを利用するアプリやウィジェットが使用できるようになります。
- 身長と体重を設定すると、より正確な歩数情報が取得できます。→P153

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[便利機能]→[ウォーキング／Exカウンタ]

2 ［歩数計利用］にチェック／チェックを外す

全履歴の削除：［歩数計の全履歴削除］→［実行］→［はい］

- カウント中の歩数や計測中の活動量も含め、履歴がすべて削除されます。

❖ウォーキング／Exカウンタご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100〜120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行や運動が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
  - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数／活動量のカウントが正確に行われないことがあります。

✔お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数と計測した活動量は約60分ごとに保存されます。
- 歩数のカウントが更新されない場合は、画面を表示し直すと反映されます。
- 歩数や活動量の情報は本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[ドコモのサービス／クラウド]

2 各項目を設定

docomo ID設定：ドコモアプリで利用するdocomo IDを設定します。また、端末に登録されている生体情報（虹彩）を利用したdocomo ID認証の設定もできます。
ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
ドコモアプリ管理：定期アップデート確認などの設定を行います。
ドコモアプリパスワード：ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。
- 初期値は「0000」に設定されています。

オートGPS：オートGPS機能の設定などを行います。
ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
端末エラー情報送信：エラー情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定を行います。
遠隔初期化：遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。
プロフィール設定：ドコモの各種サービスで利用するお客様のプロフィール情報を、確認・変更できます。
USBデバッグ切替：ドコモショップなどで専用端末を利用するための設定を行います。
オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

✔お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

プロフィール

ご自身の情報を登録したり編集したりできます。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[プロフィール]

2 各項目を設定

マイプロフィール：設定方法→P69
自分からだ設定：健康系のアプリやウィジェットで利用する基本情報の設定を行います。

端末管理

◆ アプリケーション

インストールしたアプリの管理や削除などを行います。

❖本端末のアプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で▦→[設定]→[端末管理]→[アプリケーション]

2 アプリを選択

❖アプリのデータやキャッシュの消去

1 ホーム画面で▦→[設定]→[端末管理]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[データを消去]／[キャッシュを消去]

- [データを消去]を選択した場合は[OK]をタップします。

❖アプリの削除

- Playストアから入手したアプリは、Google Play画面から削除することをおすすめします。→P82
- お買い上げ時にインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[端末管理]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[アンインストール]→[OK]

❖アプリの無効化

- アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリはアプリ一覧画面やホーム画面などに表示されず、起動もできなくなりますが、アンインストールはされていません。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[端末管理]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[無効にする]／[有効にする]

- [無効にする]を選択した場合は[OK]をタップします。

✔お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

◆ SDカードと保存領域

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[端末管理]→[SDカードと保存領域]

2 各項目を設定

合計容量（内蔵ストレージ）：本端末のメモリの合計容量とデータごとの保存容量、空き容量を確認します。
合計容量（SDカード）：microSDカードの合計容量と空き容量を確認します。
SDカードをマウント／SDカードのマウント解除：microSDカードを認識させる、またはmicroSDカードの認識を解除して安全に取り外します。
SDカード内データを消去：設定方法→P155
SDカード パスワード設定：設定方法→P141
合計容量（USBマスストレージ）：USBストレージの合計容量と空き容量を確認します。
USBストレージをマウント／USBストレージのマウント解除：USBストレージを認識させる、またはUSBストレージの認識を解除して安全に取り外します。

✔お知らせ

- 内蔵ストレージの［画像、動画］にはテレビの録画データの容量も含まれます。

❖microSDカードのデータ消去（フォーマット）

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[端末管理]→[SDカードと保存領域]→[SDカードのマウント解除]

- microSDカードのマウント解除についての確認画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

2 [SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定しているときは、認証操作が必要です。

3 [すべて消去]

◆ バックアップとリセット

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[端末管理]→[バックアップとリセット]

2 各項目を設定

データのバックアップ：アプリの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップするかを設定します。
バックアップアカウント：Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
自動復元：アプリの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するかを設定します。
かんたんお引越し：設定方法→P42
データの初期化：設定方法→P189

◆アカウント

アカウントの追加や削除を行います。

❖アカウントの追加

1 ホーム画面で▦→[設定]→[端末管理]→[アカウント]

2 [アカウントを追加]→アカウントの種類を選択→画面の指示に従って操作

アカウントを設定：**アカウントの種類を選択→アカウントを選択→各項目を設定**

✔お知らせ

- 本端末に複数のGoogleアカウントを追加することができます。
- 表示された画面以外の空き領域をタップすると、キャンセルの動作になる場合があります。
- ［メニュー］→［データの自動同期］にチェックを付けると、Googleなどのオンラインサービスの情報を自動的に同期することができます。

❖アカウントの削除

1 ホーム画面で▦→[設定]→[端末管理]→[アカウント]

2 アカウントの種類を選択→アカウントを選択→[メニュー]→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

✔お知らせ

- docomoアカウント、FUJITSUアカウントは削除できません。

❖手動で同期を開始

1 ホーム画面で▦→[設定]→[端末管理]→[アカウント]

2 アカウントの種類を選択→アカウントを選択→[メニュー]→[今すぐ同期]

■ 同期の中止

1 同期中に[メニュー]→[同期をキャンセル]

◆ 日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

- ［日付と時刻の自動設定］／［タイムゾーンを自動設定］のチェックを外すと、日付とタイムゾーン、時刻を手動で設定できます。

1 **ホーム画面で→［設定］→［端末管理］→［日付と時刻］**

2 **各項目を設定**

日付と時刻の自動設定：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかを設定します。
タイムゾーンを自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかを設定します。
日付設定：日付を手動で設定します。
時刻設定：時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択：タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示：24時間表示にするかを設定します。
日付形式の選択：日付の表示形式を選択します。

◆ ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

1 **ホーム画面で→［設定］→［端末管理］→［ユーザー補助］**

2 **各項目を設定**

字幕：字幕を表示するかを設定したり、字幕の言語や文字の大きさなどを設定します。
拡大操作：画面を3回タップすると拡大／縮小するかを設定します。
大きい文字サイズ：文字を大きくするかを設定します。
高コントラストテキスト：テキストのコントラストを高くするかを設定します。
パスワードの音声出力：パスワードを音声で出力するかを設定します。
うっかりタッチサポート：端末を手に持ったとき、画面の端に触れていてもタッチ操作を行うかを設定します。
ユーザー補助のショートカット：ユーザー補助機能を起動するかを設定します。
テキスト読み上げの出力：テキスト読み上げに関する設定を行います。

- お買い上げ時、日本語のテキスト読み上げには対応していません。

色反転：色を反転させるかを設定します。
色補正：色補正機能に関する設定をします。

◆ 端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 **ホーム画面で⁂→[設定]→[端末管理]→[端末情報]**

2 **項目を確認**

ソフトウェアアップデート：設定方法→P191
端末の状態：電池の状態や電池の性能、電話番号、各種ネットワーク名やアドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを表示します。
法的情報：オープンソースライセンスやGoogle利用規約などに関する詳細を表示します。
認証：認定および準拠マークに関する詳細を表示します。
モデル番号／Androidバージョン／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を表示します。

ファイル管理

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
ARROWS Movie	お買い上げ時にインストールされている動画
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Download	ブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Premium Photo	お買い上げ時にインストールされている静止画
Ringtones	着信音

microSDカード（外部ストレージ）

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、128GBまでのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2015年5月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

✔お知らせ

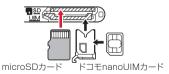
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10に対応しています。

- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3に対応しています。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、マウントを解除（→P155）するか電源を切ってから行ってください。

■ 取り付けかた

① **本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけて外部接続端子／スロットキャップを開ける→P22**
 - 外部接続端子／スロットキャップを開けると、本端末の裏面側にmicroSDカードスロット、ディスプレイ側にドコモnanoUIMカードスロットがあります。取り付ける際は、差し込む位置と方向を確認してください。

② **本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、microSDカードの金属端子面を上に向け、microSDカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込む**

③ **本端末の外部接続端子／スロットキャップをしっかり押して閉じる→P22**

■ 取り外しかた

① 本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけて外部接続端子／スロットキャップを開ける→P22

② 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す

③ 本端末の外部接続端子／スロットキャップをしっかり押して閉じる→P22

✔お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

ファイル操作

本端末の本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理（フォルダ・ファイル名の変更／削除／コピー／移動など）ができます。

1 ホーム画面で▦→［KSfilemanager］

2 フォルダ／ファイルをロングタッチ

- ファイルをタップすると、ファイルの表示／再生ができます。
- 画面上部の［内部ストレージ］／［SDカード］をタップすると表示するストレージの切り替えができます。［上へ］をタップすると1つ上の階層のフォルダに移動します。
- ⋮→［ヘルプ］をタップすると、ファイルマネージャーの使いかたが表示されます。
- ⋮→［新規フォルダ］をタップすると、新しいフォルダを作成できます。

3 目的の操作を選択

コピー：フォルダ／ファイルをコピーします。
切り取り：フォルダ／ファイルを切り取ります。
削除：フォルダ／ファイルを削除します。
･･･へコピー：フォルダ／ファイルを選択したフォルダにコピーします。
･･･へ移動：フォルダ／ファイルを選択したフォルダに移動します。
名前の変更：フォルダ／ファイルの名前を変更します。
ブックマークへ追加：フォルダをブックマークへ追加します。
送信：ファイル／ZIP圧縮したフォルダを送信します。
ZIP圧縮：フォルダ／ファイルをZIP圧縮します。
ZIP解凍：ZIPファイルを解凍します。
プロパティ：フォルダ／ファイルのプロパティを表示します。
キャンセル：操作メニューを閉じます。

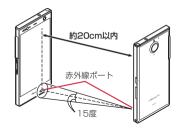
データ通信

赤外線通信

◆ 赤外線通信の利用

赤外線通信機能が搭載された他の端末や携帯電話などとデータを送受信します。

❖赤外線通信のご利用にあたって

- 赤外線通信できるデータは次のとおりです。
  電話帳※、マイプロフィール、静止画、動画、トルカ、ドコモメール、スケジュール＆メモ※
  ※ 全件送信に対応しています。
- 赤外線の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、本端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 赤外線通信中に、音声着信や他のアプリの起動を行った場合には赤外線通信は中断します。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 相手の端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。

◆ 赤外線送受信

❖マイプロフィールを送信

1 ホーム画面で[ドコモクラウド]→[ドコモ電話帳]

2 [マイプロフィール]→⋮→[赤外線送信]

3 [OK]→受信側を受信待ち状態にする→[OK]

❖データの1件送信

〈例〉電話帳を1件送信する

1 ホーム画面で[ドコモクラウド]→[ドコモ電話帳]

2 [連絡先]→⋮→[赤外線送信]→[1件送信]→連絡先を選択→[OK]→受信側を受信待ち状態にする→[OK]

❖データの全件送信

〈例〉電話帳を全件送信する

- 全件送信にはあらかじめドコモアプリパスワードの設定が必要です。→P153

1 ホーム画面で[ドコモクラウド]→[ドコモ電話帳]

2 [連絡先]→⋮→[赤外線送信]→[全件送信]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]→受信側と同じ認証パスワードを入力→[決定]→[OK]→受信側を受信待ち状態にする→[OK]

❖データの受信

〈例〉電話帳を受信する

- 全件受信にはあらかじめドコモアプリパスワードの設定が必要です。→P153

1 ホーム画面で▦→[赤外線]

2 [1件受信]→[OK]→[OK]→[OK]

全件受信：[全件受信]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]→送信先と同じ認証パスワードを入力→[決定]→[OK]→[OK]→[保存する]

- アカウントの選択画面が表示された場合は、アカウントを選択します。

Bluetooth®通信

◆Bluetooth機能の利用

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✔お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P195
- フルセグ／ワンセグの音声は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。

- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する可能性のある場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- ONのときはステータスバーにが表示されます。
- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 ホーム画面で→[設定]→[Bluetooth]

2 [Bluetooth]を[ON]／[OFF]

- aptXについての画面が表示されたら［OK］をタップします。

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。また、Bluetooth対応キーボードで本端末の文字入力ができます。

- あらかじめBluetooth機器を検出できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーにが表示されます。
- プロファイルがHSP／DUN／A2DPの場合、同時に接続できるBluetooth機器は1台です。

1 ホーム画面で→[設定]→[Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする

3 [Bluetooth機器の検索]

- 接続するBluetooth機器が表示されない場合は、［更新］をタップします。

4 検出されたBluetooth機器をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK]／[ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード（PIN）を入力して［OK］／［ペア設定する］をタップしてください。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

ギャラリー（→P107）や電話帳などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

- あらかじめBluetooth機器を接続した状態または検出できる状態にしてください。

〈例〉ギャラリーのファイルを送信する

1 ギャラリーを開いて画像をタップ

2 →[すべて表示]→[Bluetooth]→[OK]

- Bluetooth機能を使ってすでにデータの送受信を行っていた場合は、表示されている をタップしてもBluetooth機器を接続できます。

3 Bluetooth機器をタップ

通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→[Bluetooth共有：ファイル着信]→[承諾]

- 受信したファイルは、ホーム画面で→［設定］→［Bluetooth］→［受信済みファイルを表示］をタップして確認できます。

◆ Bluetooth機器との接続解除

1 ホーム画面で→[設定]→[Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする→[Bluetooth機器の検索]→接続を解除したい機器をタップ→[OK]

◆ Bluetooth機器とのペアリング解除

1 ホーム画面で→[設定]→[Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする→[Bluetooth機器の検索]→Bluetooth機器の→[切断]

◆ Bluetooth機器の名前を変更

1 ホーム画面で→[設定]→[Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする→[この端末の名前を変更]→機器名を入力→[名前を変更]

◆ Bluetooth Low Energy設定

Bluetooth Low Energy対応機器との通知設定をします。

1 ホーム画面で→[設定]→[Bluetooth]→[Bluetooth Low Energy]

2 各項目を設定

Alert Notification：電話着信やメール受信時などに対応機器へ通知するかをON／OFFで設定します。
Alert Notification詳細設定：Alert NotificationがONの場合、通知する項目（電話着信、ドコモメール、Eメール、Gmail、SMS、アラーム、カレンダー）を選択できます。
Find Me通知音：対応機器から通知を受けたときに通知音を鳴らすかをON／OFFで設定します。
Find Me通知音選択：Find Me通知音がONの場合、通知音カテゴリ一覧から通知音を選択できます。

Proximity：接続を解除したときの対応機器の通知レベルを設定します。
- 本設定を反映するには、再度対応機器との接続が必要です。

Time：Time対応機器と時刻の同期をするかを設定します。
- 本設定に関わらず、本端末とTime対応機器のペアリング中の時刻は同期します。本設定がオンの場合には、ペアリング完了後に本端末の時刻が変わった場合でも、Time対応機器の時刻は同期します。

✔**お知らせ**

- マナーモード、音量の設定に関わらず、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は鳴ります。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。
NFCの機能を利用して、他の対応機器とデータのやりとりができます。

- 対向機にかざす際の注意事項については、「対向機にかざす際の注意事項」をご覧ください。→P85

◆ Androidビーム

Reader／Writer,P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- Androidビームを利用するには、あらかじめデータ交換を許可する設定を行っておく必要があります。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定している場合は、Androidビームを利用できません。
- アプリによっては、Androidビームをご利用になれません。また、送受信できるデータはアプリによって異なります。
- すべてのReader／Writer,P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[便利機能]→[NFC／おサイフケータイ 設定]
- パスワード設定画面が表示されたら、パスワードを設定してください。
- ［NFC／おサイフケータイ ロック］にチェックが付いている場合は、チェックを外します。

2 [Reader／Writer,P2P]にチェック

3 [Androidビーム]→画面右上のボタンをタップして[Androidビーム]を[ON]／[OFF]

❖画面に表示したコンテンツの転送

対応端末間で互いのマークをかざすだけで、画面に表示したWebサイトやコンテンツを転送できます。

1 対応端末それぞれのAndroidビーム機能を利用可能に設定

2 送信側の端末で転送するWebサイトやコンテンツを表示

3 対応端末それぞれのマークを重ね合わせる

- 対向機を検知すると通知音が鳴り、送信側の端末の画面が縮小表示され、「タップしてビーム」と表示されます。
- 送信側で共有メニューなどから操作している場合は、マークを重ね合わせるだけで自動的に転送が開始されます。
- 「ソフトウェア利用許諾契約書」が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

4 **転送する画面をタップ**

受信側の端末に、送信側で表示されていた内容が転送されます。

TransferJet通信

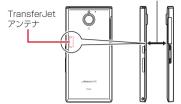
◆ TransferJet通信の利用

TransferJet通信機能が搭載された他の端末や携帯電話などと大容量のデータを高速で送受信します。

❖TransferJetについて

- 本端末のTransferJet機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は4.48GHz帯です。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- TransferJetの通信速度はご使用になる製品の組み合わせにより異なる場合があります。

❖TransferJet通信のご利用にあたって

- 他のTransferJet通信機器とは、TransferJetアンテナ同士をできるだけ近づけてください。
  3cm以内であれば通信可能です。より近い方がより速く通信できます。
- 1回の送信操作で送信できるデータの容量は最大4GBです。
- 受信したデータは内蔵ストレージ内の「transferjet」フォルダに保存されます。
- TransferJet送信機能のないアプリのデータを送信したい場合は、他のアプリを利用して送信することもできます。ただしその場合、送信したいデータをファイルとして書き出したり、受信側でデータの読み込みを行ったりする必要があります。詳しくは各アプリのヘルプなどをご覧ください。
- 本機能は日本国内かつSIMカードが取り付けられている場合のみ利用可能です。なお、国内であっても電波が送受信できない場所では、TransferJet機能は利用できません。

◆ TransferJet対応機器とのデータ送受信

ギャラリー（→P107）や電話帳などのデータを送信したり、TransferJet対応機器からデータを受信できます。

❖ TransferJet対応機器にデータを送信する

〈例〉ギャラリーのファイルを送信する

1 ギャラリーを開いて画像をタップ

2 →[すべて表示]→[TransferJet]

TransferJet機能を使ってすでにデータの送受信を行っていた場合は、表示されているをタップしても送信できます。

3 受信側の機器でTransferJet受信を起動する

4 TransferJetアンテナ同士を近づける

- 相手側の機器に初めて送信する場合は、接続可能な機器の登録画面で［OK］をタップします。

5 ファイル送信の確認画面が表示されたら[閉じる]

- エラーメッセージが表示された場合は、手順2からやり直してください。

❖ TransferJet対応機器からデータを受信する

1 TransferJet対応機器からファイルを送信

2 ホーム画面で→[TransferJet受信]

3 TransferJetアンテナ同士を近づける

- 相手側の機器から初めて受信する場合は、接続可能な機器の登録画面で［OK］をタップします。

4 ファイル着信通知でアプリケーションを選択

- ファイルの種類によっては自動的に表示／再生が開始されます。

外部機器接続

パソコンとの接続

◆ 本端末のデータをパソコンから操作

PC接続用USBケーブル T01（別売品）またはmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows Vista、Windows 7、Windows 8／8.1に対応しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

- 本端末でmicroSDカードがマウントされていない場合は、パソコンからmicroSDカードを認識できません。その場合は、ホーム画面で⠿→［設定］→［端末管理］→［SDカードと保存領域］→［SDカードをマウント］をタップしてからパソコンに接続します。
- 初めて接続する場合は操作2に進みます。2回目以降の接続の場合は操作3に進みます。

2 通知パネルを開く→［メディアデバイスとして接続］→［メディアデバイス（MTP）］／［カメラ（PTP）］

3 画面の指示に従って操作

4 目的の操作を行う

✔**お知らせ**

- ［カメラ（PTP）］を選択している場合は、microSDカードを取り外しているときのみ本端末の内部ストレージのデータをパソコンから操作できます。

プリンタとの接続

◆ クラウドプリントでプリンタを接続

Googleクラウドプリント機能で、パソコンで日常使っているプリンタを接続して、本端末で表示しているギャラリーの静止画やブラウザのWebページなどを印刷することができます。また、クラウド対応プリンタの場合は、パソコンなしでインターネット接続してGoogleクラウドプリントのアカウントに関連付けしたプリンタとして接続できます。

- Googleクラウドプリントを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。
- Googleクラウドプリント機能の詳細については、GoogleのホームページでGoogleクラウドプリントのヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で⠿→［設定］→［端末管理］→［印刷］→［クラウド プリント］

2 **画面右上のボタンをタップして[クラウド プリント]をONにする**

3 **[OK]**

あらかじめGoogleアカウントでプリンタの接続設定ができている場合は、印刷時に接続できるプリンタを含むクラウドプリントメニューが表示されます。

- Googleアカウントを設定していない場合は、プリンタの検索中画面の後に表示される設定メニューの［アカウントを追加］をタップしてGoogleアカウントを設定します。
- パソコンの印刷環境で日常使っているプリンタ、またはクラウド対応プリンタの接続設定ができていない場合は、プリンタの検索中画面の後に表示されるクラウド プリント画面で［メニュー］→［プリンタを追加］をタップして接続方法を確認して接続を設定してください。

◆ Wi-Fi対応プリンタとの接続

キヤノン製とセイコーエプソン製のWi-Fi対応プリンタを検索する「Canon Print Service」と「Epson 印刷サービス プラグイン」を使って、本端末とプリンタを簡単に接続できます。その他のWi-Fi対応プリンタもPlayストアなどにGoogleクラウドプリント対応アプリがある場合は、ダウンロードして利用できます。

- あらかじめ本端末のWi-FiをONにして、Wi-Fi対応プリンタと同じアクセスポイントに接続しておきます。→P125

1 **ホーム画面で▦→[設定]→[端末管理]→[印刷]**

2 **[Canon Print Service]／[Epson 印刷サービス プラグイン]**

3 **画面右上のボタンをタップして[Canon Print Service]／[Epson 印刷サービス プラグイン]をONにする**

4 **[OK]**

- 接続可能なプリンタを検索します。

✔お知らせ

- セイコーエプソン製／キヤノン製のWi-Fi対応プリンタについては、次のホームページでご確認ください。
  〈キヤノン〉canon.jp/pixus
  〈セイコーエプソン〉http://www.epson.jp/products/colorio/
- Wi-Fi対応プリンタ側での操作については、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

◆ 印刷

1 **ギャラリーの画像詳細画面／ブラウザ画面などで[メニュー]→[印刷]**

接続したプリンタの印刷設定画面が表示されます。

- クラウドプリントの場合、プリンタの代わりに［Googleドライブに保存］／［PDF形式で保存］を選択すると、印刷データをGoogleドライブに保存したり、PDFデータを作成したりできます。

2 **各項目を設定**

- 部数や用紙サイズなどを設定します。

3 **[印刷]**

✔お知らせ

- 印刷可能なデータは、使用しているアプリの印刷機能への対応状況により異なります。

DLNA対応機器との接続

本端末に保存されている静止画、動画、音楽のコンテンツを、DLNA対応のテレビやパソコンで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD（NAS）のコンテンツを、本端末で再生できます。

- DLNA対応機器と接続するにはWi-Fiネットワーク接続が必要です。→P125
- DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべてのDLNA対応機器間との接続を保証するものではありません。
- 本端末はDTCP-IPに対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との連携を保証するものではありません。

◆ DiXiM Serverの設定

本端末のコンテンツを、ホームネットワーク上で公開するための設定を行います。

1 ホーム画面で→[DiXiM Player]

- Wi-Fi設定の確認画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

2 →[アプリの設定]→[DiXiM Serverの設定]

- ［DiXiM Server］の確認画面が表示されたら、［はい］をタップします。

3 各項目を設定

DiXiM Server：チェックを付けると、サーバー機能がオンになります。
サーバー名：DLNA対応機器に表示される名前を変更します。
アクセス権の設定：［アクセス権の初期設定］にチェックを付けると、DLNA対応機器から本端末へのアクセスを許可します。チェックを外すと、［接続機器の一覧］でチェックを付けたDLNA対応機器のみアクセスが許可されます。
保存先設定：DLNA対応機器からアップロードされるコンテンツの保存先を設定します。microSDカードまたは本体メモリに保存できます。
公開フォルダ設定：接続機器に公開するコンテンツのフォルダを設定します。
Wi-Fi設定：Wi-Fiネットワークの接続を設定します。
非表示になったメッセージ：起動したときにメッセージを表示するかを設定します。
自動終了設定：［自動終了しない］に設定したり、自動終了するまでの時間を設定したりします。
画面ロック中の動作：画面ロック解除の認証が必要な場合でも、サーバーの動作を継続するかを設定します。

◆ 本端末のコンテンツをDLNA対応機器で再生

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 DLNA対応機器側で操作
- 本端末のDiXiM Serverにアクセスしてコンテンツを再生します。

✔お知らせ
- 本端末のカメラで撮影した動画などは、F-04G以外のDLNA対応機器で再生できない場合があります。

◆ 本端末のコンテンツを配信

本端末のコンテンツをDLNA対応機器に配信し、本端末で再生の操作ができます。
- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。また、DLNA対応機器側でも本端末からの制御を許可しておきます。

1 ホーム画面で▦→[DiXiM Player]

2 サーバー一覧で本端末のサーバー名を選択

3 ≡→[アプリの設定]→[コンテンツタップ時の動作]→[別の機器で再生]

4 [再生先機器の選択方法]→[その都度選ぶ]／[あらかじめ決めておく]
- ［その都度選ぶ］を選択した場合は、操作6に進みます。

5 [既定の再生先機器]→再生先のDLNA対応機器を選択

6 ◁(バック)→再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択
- 操作4で［その都度選ぶ］を選択した場合は、リモート再生機器一覧から再生先を選択してください。

◆ DLNA対応機器のコンテンツを本端末で再生

- あらかじめDLNA対応機器側でコンテンツを公開し、本端末からのアクセスを許可してください。

1 ホーム画面で▦→[DiXiM Player]

2 サーバー一覧でDLNA対応機器のサーバー名を選択

3 ≡→[アプリの設定]→[コンテンツタップ時の動作]→[この端末で再生]
- ［コンテンツタップ時の動作］で［別の機器で再生］を選択し、再生先の機器を選択して別のDLNA対応機器で再生することもできます。

4 ◁(バック)→再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択

5 プレイヤー画面で再生

- 録画再生中にをタップして［連続再生］をONに設定すると、録画されているコンテンツをリスト順に連続して再生できます。
- プレイヤーとしてコンテンツの再生をしているときに再生先を切り替えると、コンテンツの続きから再生します。

✔お知らせ

- コンテンツ選択画面でコンテンツをロングタッチすると、表示されるメニューからコンテンツの再生や削除、ダウンロードおよび別の機器で再生ができます。ただし、DLNA対応機器によっては著作権保護されたコンテンツがダウンロードできない場合があります。

◆ デジタル録画番組を再生

レコーダーなどのDLNA対応機器に録画したデジタル録画番組を本端末に保存し、再生することができます。

- DLNA対応機器はコンテンツのアップロードに対応している必要があります。
- あらかじめDLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 ホーム画面で→［DiXiM Player］

2 →［はい］

3 DLNA対応機器からアップロードを実行

- ［保存先設定］で設定した保存先に、コンテンツが保存されます。→P171

4 →［持ち出し番組］→持ち出し番組一覧で再生するコンテンツを選択

その他の機器との接続

◆ USBマスストレージとの接続

USBメモリやUSB接続の外付けハードディスクドライブなどを周辺機器接続用USBケーブル（市販品）で本端末に接続して、データのやりとりができます。

- すべてのUSB機器との動作を保証するものではありません。
- ご使用になる周辺機器接続用USBケーブルについては、接続するUSB機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBマスストレージのUSBコネクタをUSBケーブルのソケットに差し込む

2 目的の操作を行う

✔お知らせ

- ACアダプタ付きのUSBマスストレージは、ACアダプタを接続してください。接続しないと外部ストレージと認識されません。
- ブラウザ、カメラ、テレビ（フルセグ／ワンセグ）などと同時に使用中は、ホスト機能停止の警告が表示される場合があります。その場合は、使用中の機能を停止してから操作してください。

❖USBマスストレージの取り外し

- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]

2 [SDカードと保存領域]→[USBストレージのマウント解除]

3 USBケーブルを取り外す

◆ MHL接続でテレビに表示

本端末とHDMI／MHL端子付きテレビを接続して、テレビに動画、画像などを表示します。

- MHLに対応したテレビと接続するには、MHLケーブル（市販品）が必要です。
- HDMI端子付のテレビと接続するには、次のケーブルが必要です。
  - HDMIケーブル（市販品）（HDMIプラグ（Type A）に対応したHDMI規格認証品（カテゴリー 2推奨））
  - HDMI変換ケーブル L01（別売品）またはHDMI変換ケーブル SC01（別売品）
- HDMI変換ケーブルをご利用になる場合は、microUSB接続ケーブル（別売品）またはACアダプタ 05（別売品）などとの接続が必要です。接続方法については、HDMI変換ケーブルの取扱説明書をご覧ください。
- すべてのHDMI機器との動作を保証するものではありません。

1 HDMIケーブルとHDMI変換ケーブルを接続

- HDMI変換ケーブルの接続方法については、HDMI変換ケーブルの取扱説明書をご覧ください。

2 テレビのHDMI端子にHDMIケーブルを接続

- HDMI端子への接続方法や入力の切り替え、音量の調整などについてはテレビの取扱説明書をご覧ください。

3 本端末の外部接続端子にHDMI変換ケーブルを接続

- 本端末の電源が入っている状態で接続してください。
- テレビ表示中にHDMIケーブルが抜けると、一定時間接続待機状態になります。

✔お知らせ

- HDCP非対応の機器と接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。
- MHL出力開始時、接続するテレビによっては入力が切り替わらず映像が表示されない場合があります。その場合、テレビのリモコンなどで入力を切り替えてください。
- 接続するテレビによっては本端末から出力するデータが画面に収まらない場合があります。その場合、テレビの表示設定を変更してください。
- HDMIケーブルを接続中に、HDMIケーブルを持って本端末を持ち上げないでください。
- テレビに表示しないときは、HDMIケーブルを取り外してください。
- MHL接続利用時には、お客様の利用環境によって電波状態に影響がでる場合があります（モバキャス放送含む）。

◆Wi-Fi接続でWi-Fi Miracast対応機器に表示

本端末とWi-Fi Miracast対応機器をWi-Fi接続して、テレビやディスプレイなどに動画、画像などを表示します。

1 ホーム画面で■→[設定]

2 [Wi-Fi]→[Miracast]→[Miracast]をONにする

3 検出されたWi-Fi Miracast対応機器をタップ

Wi-Fi Miracast対応機器と切断：接続済みの機器をタップ→［接続を解除］

✔お知らせ

- HDCP非対応の機器と接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。また、コンテンツによっては、コンテンツプロバイダから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から外部出力が抑止されていたりするものがあります。
- 接続中に電話着信があった場合、着信画面が接続した機器にも表示されます。
- 一部のアプリでは、接続した機器にコンテンツが表示され、本端末で再生などの操作ができます。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

- 本端末は、クラス5になります。LTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外でご利用になる前に、以下をあわせてご覧ください。
  - ドコモのホームページ

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)	LTE
電話	○	○	○	×※2
SMS	○	○	○	○
メール※1	○	○	○	○
ブラウザ※1	○	○	○	○

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をオンにしてください。→P177
※2 電話は3Gでのご利用となります。

✔お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、通知パネル（→P45）で電波状態のパネルスイッチをタップして表示される詳細表示で確認できます。

海外でご利用になる前に

◆ 出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。

- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆ 事前設定

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を開始にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます。日本国内から（→P65）、海外から（→P180）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動的に選択］に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆ 海外で利用するための設定

- SIMロックを解除して他社のSIMカードを使用しデータ通信を行う場合は、アクセスポイント（APN）を設定してから操作してください。→P130

❖ データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を「ON」にする必要があります。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[データ通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]**

2 **[データローミング]→注意画面の内容を確認して[OK]**

❖通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]→[通信事業者]

利用可能なネットワークを検索して表示します。

- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、[データ通信を有効にする]をOFFにして再度実行してください。→P130

2 通信事業者のネットワークを選択

❖ネットワークモードの設定

1 ホーム画面で▦→[設定]→[データ通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]

2 [LTE/3G/GSM(自動)]/[LTE/3G]/[3G/GSM]/[3G]/[GSM]

✔お知らせ

- 滞在先で[GSM]に設定した場合は、日本に帰国後、[GSM]以外に設定してください。

❖日付と時刻

[日付と時刻]の[日付と時刻の自動設定]、[タイムゾーンを自動設定]にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P157

❖お問い合わせについて

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

◆滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で

2 [ダイヤル]→＋(「0」をロングタッチ)→「国番号-地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号」を入力

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外に関わらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

3

- ［国際ダイヤルアシスト］の［自動変換機能］にチェックを付けている場合、日本への発信は日本国内のときと同様に市外局番から入力→→［変換後の番号で発信］をタップします。

◆滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で

2 [ダイヤル]→電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）から入力してください。
- 電話をかける相手がWORLD WING利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）を入力）電話をかけてください。

3

◆滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✔お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

❖相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミング利用時の設定や、国際電話を利用するための設定を行います。

◆ 海外での発着信設定

海外での着信を規制したり、着信をお知らせする通知の設定やローミングガイダンスの設定をしたりします。
- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で→→[通話設定]→[海外設定]

2 目的の操作を行う

ローミング時の着信を規制：[ローミング時着信規制]→［規制開始］／［規制停止］／［設定確認］
- ［規制開始］を選択した場合は［全着信規制］／［テレビ電話／64Kデータ着信規制］→［OK］をタップし、ネットワーク暗証番号を入力します。
- ［規制停止］を選択した場合は［OK］をタップし、ネットワーク暗証番号を入力します。

ローミング時の着信を通知：[ローミング着信通知]→［通知開始］／［通知停止］／［通知設定確認］
- 電源が入っていないときや圏外にいたときの着信が、電源が入った後や圏内になったときにSMSで通知されます（無料）。
- ［通知開始］または［通知停止］を選択した場合は［OK］をタップします。

ローミングガイダンスの設定：[ローミングガイダンス]→［サービス開始］／［サービス停止］／［設定確認］
- ［サービス開始］または［サービス停止］を選択した場合は［OK］をタップします。

国際ダイヤルアシストの設定：[国際ダイヤルアシスト]→各項目を設定
- ［自動変換機能］にチェックを付けると、自動変換が有効になります。
- ［国番号］を選択すると、国際電話をかけるときの国番号の登録や追加などができます。
- ［国際プレフィックス］を選択すると、国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号の登録や追加などができます。

◆ ネットワークサービス（海外）

海外から留守番電話などのネットワークサービスを設定します。
- あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。
- 海外から操作した場合、ご利用の国の日本向け通話料がかかります。
- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で→→[通話設定]→[海外設定]→[ネットワークサービス]

2 サービスを選択

遠隔操作（有料）：［OK］をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
番号通知お願いサービス（有料）：［OK］をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。

ローミング着信通知（有料）：［OK］をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
ローミングガイダンス（有料）：［OK］をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
留守番電話サービス（有料）：項目を選択して［OK］をタップし、音声ガイダンスに従って操作します。
転送でんわサービス（有料）：項目を選択して［OK］をタップし、音声ガイダンスに従って操作します。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- ［モバイルネットワーク］の［ネットワークモード］を［LTE/3G/GSM（自動）］に設定します。→P178
- ［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動的に選択］に設定します。→P178

付録／索引

トラブルシューティング（FAQ）

◆ 故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P191
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

● 本端末の電源が入らない

電池切れになっていませんか。

● 画面が動かない／電源が切れない

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に⏻を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

※ 強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

● 充電ができない（お知らせLEDが点灯しない、または点滅する）

- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末に正しく接続されていますか。→P31
- 卓上ホルダ（付属品）を使用する場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが卓上ホルダと正しく接続されていますか。→P29
- 卓上ホルダ（付属品）を使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- PC接続用USBケーブル T01（別売品）やmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）などをご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してお知らせLED（赤色）が消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作・画面

●タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P32
- スリープモードになっていませんか。⏻を押して解除してください。→P46
- チャイルドロックが有効になっていませんか。→P49
- ［手袋タッチ］にチェックを付けているときに、手袋をした指を垂直に立てて操作すると動作しにくい場合があります。指を寝かせて指の腹をタッチパネルに接触させて操作してください。→P151

●電池の使用時間が短い

- 複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。
  - 実行中のアプリを終了→P49
  - ◁（バック）でアプリを終了
- 電池の消費を抑える設定などARROWSについてのFAQや便利な使いかたについては、@Fケータイ応援団またはARROWS@（http://atfe.fmworld.net/at/）をあわせてご覧ください。
- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

●ドコモnanoUIMカードが認識されない

ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P27

●タッチパネルをタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話やテレビの視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

●端末が熱くなり、電源が切れる

複数のアプリの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止したり、画面の明るさを調整したりすることがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

●ディスプレイが暗い

- 次の設定を変更していませんか。
  - 非常用節電モード→P34
  - 画面の明るさ→P122
  - スリープ→P123
- 本端末の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなることがあります。

●ディスプレイがちらつく
画面の明るさの［明るさを自動調整］にチェックを付けていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P122

●ディスプレイに残像が残る
しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●時計がずれる
長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の［日付と時刻の自動設定］／［タイムゾーンを自動設定］にチェックが付いていることを確認し、電波のよい所で電源を入れ直してください。→P157

●端末動作が不安定
- ご購入後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
  次のどちらかの方法でセーフモードを起動してください。
  - 電源が入っている状態で、携帯電話オプションメニューが表示されるまで⏻を押し続ける→［再起動］をロングタッチ→［OK］
  - 電源を切った状態で⏻を2秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えたらすぐに音量キーの下を押し続ける

  セーフモードが起動すると画面左下に［セーフモード］と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。
※お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

●タップしても正しく操作できない
- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。
- 水中で操作していませんか。
- 指で直接タッチパネルに触れて操作してください。
- チャイルドロックが有効になっていませんか。→P49

●本端末の動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない
本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリを削除してください。→P82、P154

●アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こる）
無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→P154

●データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない
電源を入れ直してください。→P32

■ 通話・音声

● をタップしても発信できない

機内モードを設定していませんか。→P134

● 通話中、相手の声が聞こえにくい／相手の声が大きすぎる

通話音量を調節してください。また、はっきりボイス、ゆっくりボイスをONにすると相手の声が聞き取りやすくなります。→P62

● 通話ができない（場所を移動してもの表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを取り付け直してください。→P27、P32
- 電波の性質により「圏外ではない」「電波状態はを表示している」状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P66
- ネットワークモードの種類（LTE／3G／GSM）を変更していませんか。→P178
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

● 着信音が鳴らない

- 音量の［着信音の音量］を0にしていませんか。→P119
- 次の機能を起動していませんか。
  - マナーモード→P119
  - 機内モード→P134
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P66
- 次の設定を0秒にしていませんか。
  - 伝言メモの［着信呼出設定］→P65
  - 留守番電話サービスの［呼出時間設定］→P65
  - 転送でんわサービスの［呼出時間］→P65

● 電話がつながらない

- ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P27
- 市外局番から入力していますか。
- 機内モードを設定していませんか。→P134

■ メール

● メールを自動で受信しない

- 非常用節電モードを設定していませんか。→P34
- Eメールのアカウント設定で同期頻度を［自動確認しない］に設定していませんか。→P74

■ テレビ・カメラ

● テレビの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い所にいませんか。
  TV／FMトランスミッタアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。→P88
- 視聴場所に合ったチャンネルリストを使用していますか。→P99

● カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 本端末のカメラにはオート撮影機能が搭載されていますが、静止画撮影時はタッチオートフォーカスの機能を利用してもピントを合わせることができます。→P103

■ おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない

- おまかせロックを起動するとステータスバーにまたはが表示され、NFC／おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- NFC／おサイフケータイ ロックを起動していませんか。→P85
- 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P84、P85

■ 海外利用

●海外で、が表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページで確認してください。
- ネットワークモードの種類を［LTE/3G/GSM（自動）］に変更してください。→P178
- 通信事業者を［自動的に選択］に設定してください。→P178
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P32

●海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

●海外で電話がかかってこない

ローミング時着信規制を［規制開始］にしていませんか。→P180

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

●海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→P177

■ データ管理

●microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P160

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

●画像を表示しようとすると［サムネイルなし］と表示される／画像一覧でグレーの枠が表示される

画像データが壊れている場合に［サムネイルなし］やグレーの枠が表示される場合があります。

■ Bluetooth機能

●Bluetooth通信対応機器と接続ができない/サーチしても見つからない

Bluetooth通信対応機器（市販品）側を検出できる状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して、再度機器登録を行う場合には本端末とBluetooth通信対応機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

●カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 地図・GPS機能

●オートGPSサービス情報が設定できない

- 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。オートGPSの低電力時動作設定により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、低電力時動作設定を［停止しない］に設定するか、充電をすることで設定できるようになります。→P28、P153
- オートGPS動作設定にチェックを付けてください。→P153
- GPS機能がOFFになっていませんか。GPS機能がOFFの場合、オートGPSは停止します。→P153

■ その他

●USBマスストレージに保存したデータが表示されない

USBマスストレージを取り付け直してください。

●市販の外部機器（USBマウス、キーボードなど）が認識されない

microUSB用変換アダプタ（市販品）を使用している場合は、microUSB用変換アダプタと外部機器を接続後、本体に接続してください。

◆ エラーメッセージ

●空き容量低下
端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。
設定画面を起動して不要なアプリを選択し、「アンインストール」を押してアプリを削除してください。

端末の空き容量が低下している場合に表示されます。［設定画面］をタップして不要なアプリを削除してください。また、実行中のアプリを終了したり、アプリのキャッシュを消去したりすることで、端末の空き容量を増やすことができます。→P49、P154

●全音声サービスがブロックされています/音声サービスがブロックされています/緊急サービスがブロックされています/データサービスがブロックされています

音声回線/パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク/パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●虹彩デバイスを起動できません

虹彩認証用カメラが正常に動作できない場合に表示されます。電源を入れ直しても虹彩認証用カメラが利用できなくなった場合は、お近くのドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

●PINロック解除コードがロックされました
ドコモnanoUIMカードがPUKロックされた状態でPINロック解除コードを入力すると表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→P136

●SIMカードが挿入されていません
ドコモnanoUIMカードが正しく取り付けられているかを確認してください。→P27

●SIMカードはロックされています。
PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P145

●SIM card 異常
SIMカードが取り外されました。端末を再起動します。
ドコモnanoUIMカードのICが汚れなどで正常に読み込めないときや、電源が入っている状態でドコモnanoUIMカードを取り外したときに表示されることがありますが、故障ではありません。ドコモnanoUIMカードのICは定期的に清掃してください。また、電源が入っている状態ではドコモnanoUIMカードを取り外さないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモnanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話
0120-783-360
受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）
- 本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で→［遠隔サポート］→［このスマートフォンから発信する］→をタップします。

2 ホーム画面で→［遠隔サポート］
- 初めて利用する場合は、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾書に同意いただく必要があります。

3 ［遠隔サポートの接続画面に進む］→［同意する］

4 ドコモからご案内する接続番号を入力

5 接続後、遠隔サポートを開始

本端末の初期化

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。本端末にお客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除き削除されます。

- SDカードの暗号化解除については「SDカードの暗号化」をご覧ください。→P146
- SDカードのデータ消去については「microSDカードのデータ消去（フォーマット）」をご覧ください。→P155

1 **ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[バックアップとリセット]**

2 **[データの初期化]→[携帯端末をリセット]**

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。

3 **[すべて消去]**

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- 初期化中に電源を切らないでください。

✔お知らせ

- プライバシーモード中に端末の初期化を行うと、プライバシーモード設定をしているmicroSDカード内のデータにはアクセスできなくなります。microSDカードを取り付けた状態でプライバシーモードを無効にしてから、初期化を行ってください。→P143
- 初期化後、タッチパネル操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P182）。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ステレオイヤホン端子・液晶などの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ステレオイヤホン端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
- ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書巻末の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の受話口／スピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

◆ ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、ネットワークに接続してアップデートが必要かを確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードし、インストールする機能です。
アップデートが必要な場合には、ステータスバーの（ソフトウェアアップデート）やドコモのホームページにてご案内いたします。

- ソフトウェアアップデートには、以下の内容などが含まれます。本端末を安全でより快適にご利用いただくため、必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。
  - 機能の向上や追加
  - 操作性の向上
  - 品質改善
  - セキュリティパッチの最新化

✔お知らせ

- アップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

❖注意事項

- アップデートを行うと、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- アップデートの際、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的に当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- FOMA／Xiでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードに通信料金は発生しません。
- パケット通信を利用したアップデートにはドコモ契約のドコモnanoUIMカードが必要です。なお、アップデートの内容によってはパケット通信を利用した場合、spモードの契約が必要になる場合があります。
- インストール中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- インストール中は、すべてのキー操作が無効となり、途中で中止することはできません。
- アップデートが完了すると再起動がかかります。
- アップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- アップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- アップデート中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- アップデートには時間がかかることがあります。
- 以下の場合はアップデートができません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき
  - 親機としてテザリングをしているとき
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - 必要な電池残量がないとき
  - 本体メモリに必要な空き容量がないとき
  - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- インストールを行う前に、すべてのアプリを終了してください。
- 本端末の電池残量がフル充電の状態で行ってください。
- アップデート中は電源を切らないでください。
- ダウンロード中は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- Wi-Fiでダウンロードを開始した場合は、Wi-Fi環境から移動せずにダウンロードを完了してください。Wi-Fi接続の切断によりダウンロードが中断すると、FOMA／Xiで通信ができていても画面上に「ダウンロードが中断されました。【理由】・圏外」と表示される場合があります。その場合は、Wi-Fi環境でもう一度ダウンロードを実行してください。
- アップデートが不要な場合は、［アップデートの必要はありません。このままご利用ください。］と表示されます。

◆ ソフトウェアのアップデート

本端末にアップデートが発生すると自動で更新ファイルがダウンロードされ、インストールが予約されます。その後ステータスバーに（ソフトウェアアップデート）が通知されます。

お買い上げ時は、自動でインストールを予約する設定が［ON］に設定されています。

- アップデートの内容によってはインストールが予約されず、お客様自身でインストールを実行していただく必要がございます。通知パネルを開く→通知をタップ→［インストール］をタップしてください。

■ 自動アップデート設定を変更する

1 ホーム画面で[icon]→[設定]→[端末管理]→[端末情報]→[ソフトウェアアップデート]→[自動アップデート]を[ON]／[OFF]

- [自動アップデート] をOFFにした場合、「ステータスバーにアイコンが表示されない場合」(→P193)の操作を行ってください。

■ インストール予約時刻を変更する

お客様自身で予約された時刻を変更することができます。

すぐにインストールを実行する：通知パネルを開く→通知をタップ→ [今すぐ開始]

予約された時刻を変更する：通知パネルを開く→通知をタップ→ [開始時刻変更] →時刻を入力→ [OK]

※ 予約されている時刻から変更しない場合は [OK] を選択することでホーム画面に戻ることができます。

■ ステータスバーにアイコンが表示されない場合

以下の操作でアップデートを実行できます。

1 ホーム画面で[icon]→[設定]→[端末管理]→[端末情報]→[ソフトウェアアップデート]→[アップデートを開始]

ダウンロードが開始されます。

2 インストールを開始するメッセージが表示されたら[OK]

- [OK] をタップしない場合でも、約10秒後にインストールが実行されます。
- アップデートの内容によっては [アップデートを開始] をタップ後、アップデートの実施について確認画面が表示されます。
- 確認画面が表示されたら、次の手順に従ってください。

① **実施方法を選択**

今すぐ実施（Wi-Fiのみ）：Wi-Fi接続により、即時に更新ファイルをダウンロードします。

予約して実施（Wi-Fi/Xi）：Wi-Fi接続またはXi／FOMAにより、自動的に予約された時刻に更新ファイルをダウンロードします。

- Xi／FOMAによるダウンロードができない場合、[予約して実施（Wi-Fiのみ）] と表示されます。

② **目的の操作を選択**

ダウンロードしてインストール：ダウンロード完了後、自動でインストールが実行されます。

ダウンロードのみ：更新ファイルのダウンロードが完了しても、自動でインストールは実行されません。インストールする場合、お客様がインストールを実行する必要があります。

✔お知らせ

- 本端末のソフトウェアが最新の場合には、[アップデートの必要はありません。このままご利用ください。] と表示されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは最長14日間保持されます。ダウンロードを再開する場合は、通知パネルの[icon](ダウンロードが中断されました）から再開できます。
- [予約して実施（Wi-Fi/Xi)] を選択した場合、ダウンロードの時刻は自動的に設定されます。開始時刻の変更はできません。自動で設定された時刻にダウンロードされたくない場合は、[ソフトウェアアップデート] → [戻る] をタップした後、[今すぐ実施（Wi-Fiのみ)] を選択して更新ファイルをダウンロードしてください。

◆ アプリのアップデート

- アップデート後、アプリのアップデートがあるかどうかをご確認ください。アプリのアップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。

■ 通知アイコンからアップデートする

アップデート完了後、再起動し、通知アイコン(アップデートが完了しました)が表示されます。通知パネルを開く→［アップデートが完了しました］→［OK］をタップし、アップデート一覧でアプリのアップデートを行ってください。

■ Playストアからアップデートする

ホーム画面で［Playストア］→［］→［マイアプリ］より各アプリのアップデートを行ってください。

✔お知らせ

- 各アプリのOSバージョン対応状況については、アプリの提供元へご確認ください。

主な仕様

■本体

品名		F-04G
サイズ		高さ約146mm×幅約70mm×厚さ約8.8mm（最厚部：約10.5mm）
質量		約155g
内蔵メモリ		ROM：32GB RAM：3GB
連続待受時間※1、2	FOMA／3G	静止時（自動）：約400時間
	GSM	静止時（自動）：約320時間
	LTE	静止時（自動）：約360時間
連続通話時間※2、3	FOMA／3G	約890分
	GSM	約870分
	VoLTE（音声通話）	約1200分
ワンセグ連続視聴時間※4		約430分
フルセグ連続視聴時間※4		約280分
モバキャス連続視聴時間※4		約320分
充電時間※5		ACアダプタ 05：（単独）約150分、（卓上ホルダ F50使用時）約150分 DCアダプタ 04：約180分

ディスプレイ	種類	TFT（IPS）
	サイズ	約5.2inch
	発色数	16777216色
	解像度	横1440ピクセル×縦2560ピクセル（WQHD）
撮像素子	種類	アウトカメラ：裏面照射積層型CMOS インカメラ：裏面照射型CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1/2.4inch インカメラ：1/6.9inch
カメラ有効画素数		アウトカメラ：約2150万画素 インカメラ：約240万画素
カメラ記録画素数（最大時）		アウトカメラ：約2070万画素 インカメラ：約210万画素
デジタルズーム	静止画	アウトカメラ：最大約8.0倍（80段階）
	動画	アウトカメラ：最大約8.0倍（80段階）

静止画記録サイズ		アウトカメラ： 20M最高画素 5248×3936 15Mワイド 5248×2960 8Mワイド 3840×2160 画面ぴったり 2560×1440 SNS 2048×1536 ケータイメール 640×480※6 インカメラ： 2M最高画素 1920×1080 1.7M 1520×1152 ケータイメール 640×480
動画記録サイズ		アウトカメラ： 4K 3840×2160※7 画面ぴったり 2560×1440 FullHD 1920×1080 HD 1280×720 ケータイメール 640×480 インカメラ： FullHD 1920×1080 HD 1280×720 ケータイメール 640×480
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠※8
Bluetooth機能	バージョン	4.1※9
	出力	power class 1
	対応プロファイル※10	HFP、HSP、DUN、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、PAN※11、HDP、ANP、FMP、PASP、PXP、TIP、HOGP

イヤホンマイクジャック	φ3.5mmイヤホンジャック、4極
表示言語	日本語／英語
入力言語（文字入力）	日本語／英語／韓国語／中国語
入力言語（音声入力）	Google音声検索機能による

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
なお、内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。
※2 通話やインターネット接続をしなくてもアプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
※3 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
※4 ワンセグ／フルセグ／モバキャス連続視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。
※5 充電時間とは、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電し、約10分後に電源を入れて充電したときの目安です。高温、低温時に充電すると、充電時間は長くなります。
※6 連写モード時のみ設定できます。
※7 ご利用中に本体の温度が上昇するとカメラを終了することがあります。
※8 IEEE802.11nは、2.4GHz/5GHzに対応しています。
※9 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※10Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
※11PAN-NAP、PANUに対応しています。

■内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.75V
公称容量	3120mAh

❖本端末で撮影した静止画と動画のファイル形式について

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	.jpg
動画	MP4	.mp4

❖静止画の保存枚数（目安）

撮影サイズ	本体	microSDカード（1GB）
8Mワイド 3840×2160	約8300枚	約410枚

❖動画の録画時間（目安）

撮影サイズ	本体	microSDカード（1GB）
FullHD 1920×1080	約181分	約540秒

※ 1件あたりの最大録画時間は約36分です。

❖ワンセグの録画時間（目安）

- 本端末／microSDカードの空き容量や、録画する番組の内容（データ放送の容量など）によって変化します。

本体	microSDカード（1GB）
約6270分	約320分

※ 外部メモリの1件あたりの最大録画時間は約640分です。

❖フルセグの録画時間（目安）

- 本端末／microSDカードの空き容量や、録画する番組の内容（データ放送の容量など）によって変化します。

本体	microSDカード（1GB）
約150分（フルセグBMLデータ録画なし：約200分）	約8分（フルセグBMLデータ録画なし：約10分）

※ 外部メモリ（128GB）の1件あたりの最大録画時間は約1024分（フルセグBMLデータ録画なし：約1280分）です。

❖本端末で使用できるファイルについて

本端末の「KingsoftOffice」アプリは、次のファイルの新規作成・閲覧・編集（保存）に対応しています。

種類／拡張子		新規作成	閲覧	編集（保存）
文書ファイル（Writer）	.wps	×	○	○※1
	.wpt	×	○	○※1
	.doc	○	○	○※1
	.docx	○	○	○※1
	.dot	×	○	○※1
	.docm	×	○	○※1
	.dotm	×	○	○※1
	.dotx	×	○	○※1
表計算ファイル（Spreadsheets）	.et	×	○	○※2
	.ett	×	○	○※2
	.xls	○	○	○※2
	.xlsx	○	○	○※2
	.xlt	×	○	○※2
	.xlsm	×	○※3	○※2
	.csv	○	○	○※2
プレゼンテーションファイル（Presentation）	.dps	×	○	○※4
	.dpt	×	○	○※4
	.ppt	×	○	○※4
	.pptx	○	○	○※4
	.pot	×	○	○※4
	.potx	×	○	○※4

種類／拡張子		新規作成	閲覧	編集（保存）
その他	.txt	○	○	○※1
	.ps	×	×	○※5
	.xml	×	○	○※1
	.htm	×	○	○※1
	.html	×	○	○※1
	.pdf	×	○	○※6

※1 .doc/.docx/.pdf/.txtいずれかの選択した形式で保存できます。
※2 .xls/.xlsx/.csvいずれかの選択した形式で保存できます。
※3 マクロプログラムの動作には非対応です。
※4 保存時は.pptxに変換されます。
※5 Writer／Spreadsheets／Presentationの印刷画面から出力できます。
※6 Writerの保存画面／Spreadsheetsの印刷画面から出力できます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-04Gの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.297W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.280W/kg※2です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
ドコモのホームページ
https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/
※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 Xi/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model F-04G mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.
This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves[*1] and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.
The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use at the ear is 0.297 W/kg and when worn on the body is 0.280 W/kg[*2]. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.
The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.
This mobile phone can be used in positions other than against your ear. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This

mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.
The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."
Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm
Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.
Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/
FUJITSU LIMITED Website:
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/ (in Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with Xi/FOMA.

◆ Declaration of Conformity

The product "F-04G" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR[*1] limits[*2] for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR[*1] value, when tested for compliance against the standard was 0.347 W/kg for HEAD and 0.272 W/kg[*3] for BODY. While there may be differences between the SAR[*1] levels of various phones and at various positions, they all meet[*4] the EU requirements for RF exposure.

*1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

*2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.

*4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves. This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit

established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.34 W/kg, and when worn on the body, is 0.89 W/kg*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F04G).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines.
Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

* Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning
This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>
Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.

Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆ 商標

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「デコメール®」「トルカ」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「おサイフケータイ」「かざしてリンク」「iD」「公共モード」「エリアメール」「マチキャラ」「spモード」「Xi」「Xi／クロッシィ」「dメニュー」「dマーケット」「dミュージック」「dTV」「ｉコンシェル」「しゃべってコンシェル」「eトリセツ」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「あんしんスキャン」「あんしん遠隔サポート」「フォトコレクション」「マイマガジン」「LIVE UX」および「トルカ」ロゴ「おサイフケータイ」

ロゴ「iD」ロゴ「エリアメール」ロゴ「dmenu」ロゴ「dマーケット」ロゴ「ｉコンシェル」ロゴ「しゃべってコンシェル」ロゴ「eトリセツ」ロゴ「あんしん遠隔サポート」ロゴ「フォトコレクション」ロゴ「ドコモメール」ロゴ「ICタグ・バーコードリーダー」ロゴ「ドコモバックアップ」ロゴ「メディアプレイヤー」ロゴ「電話帳」ロゴ「データ保管BOX」ロゴ「スケジュール」ロゴ「メモ」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Copyright© 2015 DigiOn, Inc. All rights reserved.
  デジオン、DigiOn、DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。
- StationTV®は株式会社ピクセラの登録商標です。

- TouchSense® Technology and MOTIV™ Integrator Licensed from Immersion Corporation and protected under one or more of the following United States Patents: 5844392, 5959613, 6088017, 6104158, 6147674, 6275213, 6278439, 6300936, 6424333, 6424356, 6429846, 7091948, 7154470, 7168042, 7191191, 7209117, 7218310, 7369115, 7592999, 7623114, 7639232, 7656388, 7701438, 7765333, 7779166, 7821493, 7969288 and additional patents pending.
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google、Android、Google Play およびその他のマークはGoogle Inc.の商標です。
- Bluetooth® smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- aptXはCSR社の登録商標です。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby Processingの技術を使用しています。
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。

- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Direct、MiracastはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Allianceの商標です。
  DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
  本機のDLNA認証は富士通株式会社が取得しました。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- MHLおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。

- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」及び「NOTTV」「mmbi」ロゴは、株式会社mmbiの登録商標です。
- EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- 本製品の一部に、Adobe Mobile Print and Scan SDKを使用しています。
  ©2013-2015 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2015 All Rights Reserved.
- DynastreamおよびANTは、Garmin社及び関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

  ANT+™、ANT+ロゴおよびANT+ CAPABLEロゴは、Garmin社及び関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- TransferJetおよびTransferJetロゴは一般社団法人TransferJetコンソーシアムがライセンスしている商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

◆ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で→［設定］→［端末管理］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
  オープンソースライセンスに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 **他社SIMカードを取り付ける**

2 **SIMロック解除コードを入力**

3 **[ロック解除]**

✔お知らせ

- SIMロックの解除状態については、ホーム画面で → [設定] → [端末管理] → [端末情報] → [端末の状態] をタップすると、[SIMロック状態] でご確認いただけます。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなど静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

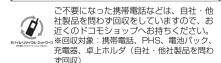
かかってきた電話に応答しない設定や端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）→P65
　電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●バイブレーション→P118
　電話がかかってきたことを振動でお知らせします。

●マナーモード→P119
　着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します（ただし、シャッター音は消せません）。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P65

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

オンラインでの各種お手続き・ご契約内容の確認など

本端末から　dメニュー →「お客様サポート」→「ドコモオンライン手続き」

パソコンから　My docomo (https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/) →「住所や契約内容の変更手続きがしたい」

●システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。

●「ドコモオンライン手続き」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「docomo ID／パスワード」が必要です。

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号　**-81-3-6832-6600***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-04Gからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」をロングタッチします）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号　**-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　(年中無休)

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　https://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。

危険です、
歩きスマホ。

Li-ion 00

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

’15.5(1版)
CA92002-9081